



公立大学法人 和歌山県立医科大学

教育研究開発センター 事業実績報告書

令和5年度



目 次

組織図	3
刊行にあたって	4
1. 教育研究開発センター	
規程・要項	
(1) センター規程	5
(2) 運営委員会・部会委員	20
(3) 教育研究開発センター業務方針	24
2. 遠隔講義の取組み	
遠隔講義サポーター制度の変遷	28
3. I R 部門	
I R 部門医学部委員会・I R 部門会議	32
令和5年度 I R レポート	40
4. 令和5年度事業実績	
1. 医学部	
開催した部会一覧	48
カリキュラム専門部会	50
医学教育分野別評価	72
開催した F D 一覧	100
ベストティーチャー賞・ベストクリニカルティーチング賞	104
教育研究開発センター担当講義	105
令和5年度教育研究開発センターによる6年次原級留置生に対する学習支援	109
学生実習について	111
VRを活用した医学教育	114
和歌山 S P の会	117
2. 保健看護学部	
開催した委員会一覧	122
開催した F D 一覧	124

発行した冊子	126
--------	-----

3. 薬学部

開催した委員会一覧	128
F D 研修	129

5. 臨床技能研修センター

(1) 運営規程	132
(2) 利用方法	137
(3) 備品一覧	139
(4) 利用実績	144

自己評価委員会

運営委員会

教育研究開発センター

2023年4月

センター長(学長が指名する本学の教授)

副センター長(センター長が指名する医学部、保健看護学部及び薬学部の専任教員)

教育研究開発部門

IR部門

部門長 (センター長兼務) 副部門長 (部門長が指名する 本学の専任教員)	部門長 (センター長が 指名する本学の 専任教員) 副部門長 (部門長が指名する 本学の専任教員)
1. 教務 2. カリキュラム	
教育研究開発部門部会 代表者会議(具申された意見について審議) 部会長、副部会長、各学部長、各学部委員会及び 専門委員会の委員のうち各委員会の長からそれぞ れ推薦された者 カリキュラム専門部会: カリキュラムの実施体制 カリキュラム編成・改善、開発 カリキュラム全般、その他 医学部委員会 委員は部会長の推薦 保健看護学部委員会 薬学部委員会 教養教育専門委員会 部会長、各学部長、医学部教養・医学教育大講座 の教員、保健看護学部教養担当教員及び薬学部 教養担当教員の中から部会長が推薦	データ収集、管理、分析、情報提供(学生成 績、カリキュラム、卒業後のキャリア) 部門長、副部門長、部門の専任教職員、 医学部教員、保健看護学部教員、薬学部 教員、事務局職員 IR検討委員会 部門長(委員長)、副部門長(副委員 長)、医学部長、保健看護学部長、薬学 部長、学生部長、入試センター長、教育 研究開発センター教員、その他部門長 が必要と認めたもの
臨床技能教育部会: 臨床技能教育の方針及び研究 臨床技能教育全般、その他 代表者会議 医学部委員会 保健看護学部委員会 薬学部委員会	
FD部会: 授業内容・方法の改善及び開発 セミナー、講習会及び教員研修の 企画・実施、授業改善全般、その他 代表者会議 医学部委員会 保健看護学部委員会 薬学部委員会	学部委員会 必要に応じて学部委員会をおく 医学部委員会 IR部門長、医学部所属IR部門副部門長、医 学部所属IR部門専任教員、医学部教員、学 生課職員

教育研究開発センター 教職員

センター長・教授	村田 顕也
副センター長・准教授	谷本 貴志
講 師	佐々木 洋子
助 教	森 めぐみ
助 教	池田 奈津子
学長特命助教	中津川 洋平
特別研究員	平野 隆則
看護師	1 名
職員	3 名

令和5年度実績報告書の刊行にあたって

教育研究開発センター長

教授 村田 顕也

本学医学部では、令和4年度に教務学生委員会（委員長：医学部長）が教育プログラムの管理（Do）と改善の実行（Action）を、プログラム評価委員会医学部委員会（委員長：学生部長）が教育プログラムを評価するシステムを構築いたしました。

教育プログラムの策定（Plan）は、従来通りカリキュラム専門部会（部会長：教育研究開発センター長）が担当し、令和5年度から教育プログラムのPDCAサイクルが本格的に稼働いたしました。学年代表や学生自治会の役員がカリキュラム専門部会医学部委員会やプログラム評価委員会に委員として、教務学生委員会にオブザーバーとして参画し、教育プログラムの策定に主体的に参加しています。

共用試験の公的化に伴い、基礎医学を1年次から、臨床医学を3年次から開始しました。令和4年度改訂版の医学教育モデル・コア・カリキュラムに対応した授業科目（IT医療、データサイエンス、ゲノムなど）や地域枠・県民枠の学生を対象とした地域マインド教育Ⅰ～Ⅳやキャリア形成の授業科目が開講されるなど令和5年度入学生を対象とした新カリキュラムが開始しました。

令和5年度は、医学教育分野別評価2巡目の受審年度でした。自己点検報告書作成のために、医学教育分野別評価ワーキンググループ（グループ長：医学部長）が組織され、9領域で教育プログラム内容を精査し報告書を作成し、11月の実地調査にのぞみました。

IR部門も、医学部委員会では、教育活動に関するデータを集積、管理、分析し、令和5年度も入試成績解析、在学生の教育方針の理解度調査、FD講習会の理解度調査、入学試験の枠別のCBT・卒業試験・国家試験成績の継続的解析を実施し、IRレポートにまとめました。全学IR部門会議では、3学部共通の授業科目であるケアマインド教育の教育効果をエンパシースケールで検討いたしました。

研究面では、文部科学省の令和3年度補正予算「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」を利用した①現場体験型VR ②3D-CT VRによる臨床実習を各科で実施し、VR教材も順次作成し、「和歌山県立医科大学の特色ある医療人育成教育」を実施しています。

近年、医学教育を取り巻く環境が劇的に変化しています。教育研究開発センターの業務も、教育研究開発部門、IR部門、センター3部会に加えて、学部学生の講義・実習やリメディアルなど多様化しています。学内外の皆様のご協力を賜り本学の学生教育に邁進する所存です。どうか今後ともご協力、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

教育研究開発センター関係規程等管理簿

※規定集掲載分を除く。

2023 年 4 月 1 日更新

規程名称	制定日／改正日	番号	備考
和歌山県立医科大学教育研究開発センター自己評価委員会規程	平成 18 年 7 月 1 日	和医大教研開セ規程第 1 号	制定
	令和 2 年 4 月 1 日	和医大教研開セ規程第 3 号	一部改正
	令和 3 年 4 月 1 日	和医大教研開セ規程第 5 号	一部改正
和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会規程	平成 18 年 7 月 1 日	和医大教研開セ規程第 2 号	制定
	令和 2 年 4 月 1 日	和医大教研開セ規程第 4 号	一部改正
	令和 3 年 4 月 1 日	和医大教研開セ規程第 6 号	一部改正
	令和 4 年 4 月 1 日	和医大教研開セ規程第 7 号	一部改正
	令和 5 年 3 月 30 日	和医大教研開セ規程第 86 号	一部改正
和歌山県立医科大学教育研究開発センター一部会長等会議運営要項	平成 18 年 7 月 1 日	和医大教研開セ要項第 1 号	制定
	平成 22 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 7 号	一部改正
	令和 2 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 10 号	一部改正
和歌山県立医科大学教育研究開発センターカリキュラム専門部会における医学部委員会、保健看護学部委員会、薬学部委員会及び教養教育専門委員会運営要項	平成 18 年 7 月 1 日	和医大教研開セ要項第 2 号	制定
	平成 25 年 5 月 28 日	和医大教研開セ要項第 8 号	一部改正
	令和 2 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 11 号	一部改正
	令和 3 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 15 号	一部改正
	令和 5 年 3 月 30 日	和医大教研開セ要項第 19 号	一部改正
和歌山県立医科大学教育研究開発センター入試制度検討部会における医学部委員会及び保健看護学部委員会運営要項	平成 18 年 7 月 1 日	和医大教研開セ要項第 3 号	制定
	令和 2 年 3 月 31 日		廃止
和歌山県立医科大学教育研究開発センター臨床技能教育部会における医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会運営要項	平成 18 年 7 月 1 日	和医大教研開セ要項第 4 号	制定
	令和 2 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 12 号	一部改正
	令和 3 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 16 号	一部改正
和歌山県立医科大学教育研究開発センター教育評価部会における医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会運営要項	平成 18 年 7 月 1 日	和医大教研開セ要項第 5 号	制定
	平成 27 年 7 月 1 日	和医大教研開セ要項第 9 号	一部改正
	令和 2 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 13 号	一部改正
	令和 3 年 4 月 1 日	和医大教研開セ要項第 17 号	一部改正
	令和 4 年 3 月 31 日		廃止

規程名称	制定日／改正日	番号	備考
和歌山県立医科大学教育研究開発センターFD部会における医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会運営要項	平成18年7月1日	和医大教研開セ要項第6号	制定
	令和2年4月1日	和医大教研開セ要項第14号	一部改正
	令和3年4月1日	和医大教研開セ要項第18号	一部改正

和歌山県立医科大学教育研究開発センター規程

制 定 平成18年4月1日和医大規程第14号

最終改正 令和5年3月30日和医大規程第85号

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立医科大学組織運営規則（平成18年4月1日和医大規則第4号）第22条の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における医学・保健看護学・薬学教育の研究、開発及び企画並びに入試制度の研究を行うことにより、本学の医学・保健看護学・薬学教育活動の円滑な推進と不断の改善に寄与することを目的とする。

(組織)

第3条 センターには、センター長及び副センター長を置く。

2 センター長は、学長が本学の教授のうちから指名する。

3 副センター長は、センター長が指名する医学部、保健看護学部及び薬学部の専任教員をもって充て、その任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

4 副センター長は、センター長の業務を補佐し、センター長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 センターには、教育研究開発部門及びIR部門を置き、各部門に部門長及び副部門長を置く。

6 教育研究開発部門長は、センター長が兼務し、IR部門長は、センター長が指名する本学の専任教員をもって充て、その任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

7 各部門の副部門長は、当該部門長が指名する本学の専任教員をもって充て、その任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

8 各副部門長は、当該部門長の業務を補佐し、部門長に事故があるときは、その職務を代理する。

(業務)

第4条 センターにおいては、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 医学・保健看護学・薬学教育システム全般に関わる研究、開発及び企画

(2) 医学・保健看護学・薬学教育の内容・方法及び授業改善（FD）に関わる研究、開発及び企画

- (3) 医学・保健看護学・薬学教育のカリキュラムに関わる研究、開発及び企画
 - (4) 医学・保健看護学・薬学教育の臨床技能教育に関わる研究、開発及び企画
 - (5) 医学・保健看護学・薬学教育に関わる様々なデータ、情報の収集、管理及び分析並びにこれらの活動を通じ、教育の推進及び改善を図るための研究、開発及び企画
 - (6) 入試制度の研究
 - (7) その他センターの目的を達成するため、必要な事項
- (教育研究開発部門)

第5条 教育研究開発部門に次の各号に掲げる部会を置く。

- (1) カリキュラム専門部会
- (2) 臨床技能教育部会
- (3) F D部会

2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(I R部門)

第6条 I R部門の組織及び運営について必要な事項は、別に定める。

(自己評価等)

第7条 センターは、和歌山県立医科大学学則（平成18年和歌山県立医科大学規則第1号）第2条の定めるところにより、センターに係る点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

2 前項の自己評価については、本学の職員以外を含めた者による検証を受けるよう努めるものとする。

3 第1項の自己評価を行うため、和歌山県立医科大学教育研究開発センター自己評価委員会（以下「自己評価委員会」という。）を置く。

4 自己評価委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究等の状況の公表)

第8条 センターは、センターの教育研究及び組織運営の状況について、定期的に公表する。

(運営委員会)

第9条 センターに、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置き、センターの教育又は研究に関する重要事項を審議させる。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務等)

第10条 センターの庶務は、事務局学生課において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、令和2年4月1日からの任期については、令和3年3月31日までの1年間とする。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター自己評価委員会規程

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ規程第1号
最終改正 令和 3年4月1日 和医大教研開セ規程第5号

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター規程第7条第4項の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター自己評価委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター（以下「センター」という。）の研究活動等の点検及び評価、センターが関与する本学の医学・保健看護学・薬学教育に係る教育評価の実施とその結果の公表に関し、必要な事項を審議する。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) センター運営委員会委員の中からセンター長が推薦した者
- (4) センターの各部会長の中からセンター長が推薦した者
- (5) その他センター長が必要と認めた者

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(庶務等)

第6条 委員会の庶務は、事務局学生課において処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、平成18年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会規程

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ規程第2号

最終改正 令和5年3月30日 和医大教研開セ規程第86号

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター規程第5条第2項の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター（以下「センター」という。）の各部会の業務、組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(各部会の業務)

第2条 カリキュラム専門部会においては、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) カリキュラム及び実施体制に関すること。
- (2) カリキュラムの編成、改善及び開発に関すること。
- (3) カリキュラム全般に関すること。
- (4) 教養教育のあり方、企画・立案及び実施体制に関すること。
- (5) その他必要事項に関すること。

2 臨床技能教育部会においては、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 臨床技能教育の方針及び研究に関すること。
- (2) 臨床技能教育全般に関すること。
- (3) その他必要事項に関すること。

3 FD部会においては、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 授業内容・方法の改善及び開発に関すること。
- (2) セミナー、講習会及び教員研修の企画・実施に関すること。
- (3) 授業改善全般に関すること。
- (4) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 各部会は、次の各号に掲げる部会員で組織する。

- (1) 専任の教員のうちからセンター長が推薦する者
- (2) その他センター長が必要と認めた者

2 前項第1号の委員の任期は、3年とし、再任することができる。ただし、欠員が生

じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

- 3 各部会に医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会（以下「各学部委員会」という。）を置く。
- 4 カリキュラム専門部会に教養教育専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。
- 5 各学部委員会及び専門委員会の組織、運営等については、別に定める。

（部会長）

第4条 各部会に部会長及び副部会長を置く。

- 2 部会長、副部会長は、センター長が指名する。
- 3 部会長は、各部会における業務を処理する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代行する。

（代表者会議）

第5条 代表者会議は、各学部委員会及び専門委員会から具申された意見について審議するものとする。

- 2 代表者会議は、部会長が招集し、その議長となる。
- 3 代表者会議の構成員は、部会長、副部会長、各学部長、各学部委員会及び専門委員会の委員のうち各委員会の長からそれぞれ推薦された者とする。
- 4 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立する。
- 5 部会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務等）

第6条 各部会の庶務は、事務局学生課において処理する。

（補則）

第7条 この規程に定めるもののほか、各部会の運営に関し必要な事項は、各部会で定める。

附 則

この規程は、平成18年7月1日から施行する。

（経過措置）

平成18年7月1日に選任された第3条第1項に掲げる部会員の任期については、同条第2項の規定にかかわらず、平成18年7月1日から平成20年3月31日までとする。

附 則

- 1 この規定は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、令和2年4月1日からの任期については、令和3年3月31日までの1年間とする。

附 則

この規定は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、令和5年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会長等会議運営要項

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ要項第1号

最終改正 令和 2年4月1日

(趣旨)

第1条 この要項は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会規程第7条第2項の規定に基づき、部会長等会議の組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(部会長等会議)

第2条 部会長等会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) センター長

(2) 各部会長

(3) その他センター長が必要と認めた運営委員会委員

2 センター長は、部会長等会議を招集し、その議長となる。

3 部会長等会議は、運営委員会の要請に基づき、各部会相互に連携または調整が必要とされる事項及び特定の審議事項を審議する。

(要項の改廃等)

第3条 この要項に疑義が生じた場合の解釈及び改廃は、センター運営委員会において行う。

(庶務等)

第4条 この要項に関する庶務は、事務局学生課において処理する。

附 則

この要項は、平成18年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センターカリキュラム専門部会における医学部委員会、保健看護学部委員会、薬学部委員会及び教養教育専門委員会運営要項

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ要項第2号

最終改正 令和5年3月30日 和医大教研開セ要項第19号

(趣旨)

第1条 この要項は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会規程（以下「センター部会規程」という。）第3条第4項の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センターのカリキュラム専門部会における医学部委員会、保健看護学部委員会、薬学部委員会及び教養教育専門委員会（以下「専門委員会」という。）の組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会は、医学部、保健看護学部及び薬学部委員会における次の事項を審議し、センター部会規程第5条の代表者会議(以下「代表者会議」という。)に意見を具申する。

- (1) カリキュラム及び実施体制に関すること。
- (2) カリキュラムの編成、改善及び開発に関すること。
- (3) カリキュラム全般に関すること。
- (4) その他必要事項に関すること。

2 専門委員会は、大学全体の教養教育に係る次の事項を審議し、代表者会議に意見を具申する。

- (1) 教養教育のあり方、教養教育の改革に関すること。
- (2) 教養教育の企画、立案に関すること。
- (3) 教養教育の実施体制に関すること。
- (4) その他必要事項に関すること。

(委員)

第3条 医学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の医学部教員の中から和歌山県立医科大学教育研究開発センターカリキュラム専門部会部会長（以下「部会長」という。）が推薦する。

2 保健看護学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の保健看護学部教員の中から部会長が推薦する。

3 薬学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の薬学部教員の中から部会長が推薦する。

4 専門委員会の委員は、部会長、各学部長、医学部教養・医学教育大講座の教員、保健看護学部教養担当教員及び薬学部教養担当教員の中から部会長が推薦する。

(委員長)

第4条 各委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立する。

3 委員会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(学生の参画)

第6条 各委員会の委員長は、必要があると認める場合は、カリキュラム策定のため、当該委員会に学生委員として学生の代表者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務等)

第7条 委員会の庶務は、医学部委員会及び専門委員会にあっては、事務局学生課、保健看護学部委員会にあっては、保健看護学部事務室、薬学部委員会にあっては、薬学部事務室において処理する。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会で定める。

附 則

この要項は、平成18年7月1日から施行する。

(経過措置)

当分の間、保健看護学部委員会における審議については、この要項にかかわらず、保健看護学部教務学生委員会規程（平成16年4月1日和医大規程第96号）で規定された保健看護学部教務学生委員会の審議をもって替えるものとする。

附 則

この要項は、平成25年5月28日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター臨床技能教育部会における
医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会運営要項

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ要項第4号

最終改正 令和3年4月1日 和医大教研開セ要項第16号

(趣旨)

第1条 この要項は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会規程（以下「センター部会規程」という。）第3条第4項の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センターの臨床技能教育部会における医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会の組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会は、医学部、保健看護学部及び薬学部委員会における次の事項を審議し、和歌山県立医科大学教育研究開発センター臨床技能教育部会長に意見を具申する。

- (1) 臨床技能教育の方針及び研究に関すること。
- (2) 臨床技能教育全般に関すること。
- (3) その他必要事項に関すること。

(委員)

第3条 医学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の医学部教員の中から部会長が推薦する。

2 保健看護学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の保健看護学部教員の中から部会長が推薦する。

3 薬学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の薬学部教員の中から部会長が推薦する。

(委員長)

第4条 各委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立する。

3 委員会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務等)

第6条 委員会の庶務は、医学部委員会にあっては、事務局学生課、保健看護学部委員会にあっては、保健看護学部事務室、薬学部委員会にあっては、薬学部事務室において処理する。

(補則)

第7条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会で定める。

附 則

この要項は、平成18年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センターFD部会における医学部委員会、
保健看護学部委員会及び薬学部委員会運営要項

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ要項第6号

最終改正 令和 3年4月1日 和医大教研開セ要項第18号

(趣旨)

第1条 この要項は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会規程（以下「センター部会規程」という。）第3条第4項の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センターのFD部会における医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会の組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 医学部委員会、保健看護学部委員会及び薬学部委員会は、医学部、保健看護学部及び薬学部委員会の次の事項を審議し、和歌山県立医科大学教育研究開発センターFD部会長に意見を具申する。

- (1) 授業内容・方法の改善及び開発に関すること。
- (2) セミナー、講習会及び教員研修の企画・実施に関すること。
- (3) 授業改善全般に関すること。
- (4) その他必要事項に関すること。

(委員)

第3条 医学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の医学部教員の中から部会長が推薦する。

2 保健看護学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の保健看護学部教員の中から部会長が推薦する。

3 薬学部委員会の委員は、センター部会規程第3条第1項第1号及び第2号に定められた部会員の薬学部教員の中から部会長が推薦する。

(委員長)

第4条 各委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立する。

3 委員会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務等)

第6条 委員会の庶務は、医学部委員会にあっては、事務局学生課、保健看護学部委員会にあっては、保健看護学部事務室、薬学部委員会にあっては、薬学部事務室において処理する。

(補則)

第7条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会で定める。

附 則

この要項は、平成18年7月1日から施行する。

(経過措置)

当分の間、保健看護学部委員会における審議については、この要項にかかわらず、保健看護学部FD委員会規程（平成16年4月1日和医大規程第100号）で規定された保健看護学部FD委員会の審議をもって替えるものとする。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター I R 部門規程

制 定 令和4年3月17日和医大規程第

107号

(目的)

第1条 この規程は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター規程第7条の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター I R 部門（以下「I R 部門」という。）の組織及び運営に関する事項を定め、もって医学部、保健看護学部及び薬学部の教育の質保証や質の向上を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この規程における I R (Institutional Research) とは、第1条の目的を達成するため、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）の教育活動に関するデータの収集、管理、分析及び情報提供し、本学の意思決定を支援するための調査研究を行うことをいう。

(業務)

第3条 I R 部門は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生の成績に関するデータ収集、管理、分析及び情報提供に関すること。
- (2) カリキュラムや教育活動に関するデータ収集、管理、分析及び情報提供に関すること。
- (3) 卒業後のキャリアに関するデータ収集、管理、分析及び情報提供に関すること。

(4) 学長からの諮問のあった事項に関すること。

(5) その他目的を達成するために必要な業務。

(組織)

第4条 I R部門は、次に掲げる教職員をもって組織する。

(1) 部門長

(2) 副部門長

(3) 部門の専任教職員

(4) 医学部教員

(5) 保健看護学部教員

(6) 薬学部教員

(7) 事務局職員

(委員会)

第5条 第2条各号の業務を審議するため、I R部門にI R検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 部門長

(2) 副部門長

(3) 医学部長

(4) 保健看護学部長

(5) 薬学部長

(6) 学生部長

(7) 入試センター長

(8) 教育研究開発センター教員

(9) その他部門長が必要と認めた者

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は部門長をもって充て、副委員長は副部門長をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(学部委員会)

第8条 I R部門に、必要に応じて学部委員会を置くことができる。

2 前項の学部委員会の組織、運営、情報管理等については、別に定める。

(庶務)

第9条 I R部門の庶務は、事務局学生課において処理する。

(雑則)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、I R に関し必要な事項は、I R 部門が別に定める。

附 則

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター I R 部門医学部委員会規程

制 定 令和 4 年 3 月 17 日和医大規程第

108 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター I R 部門規程第 8 条第 2 項の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター I R 部門医学部委員会（以下「医学部委員会」という。）の組織、運営及び情報管理等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) I R (Institutional Research) とは、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）医学部

の教育の質保証や質の向上を図るため、教育活動に関するデータの収集、管理、分析及び情報提供し、調査研究を行うことをいう。

(2) 部局長とは、公立大学法人和歌山県立医科大学部局長等選考規程(平成 27 年和医大規程第

33 号。)第 2 条に規定する役職をいう。

(業務)

第 3 条 医学部委員会は、次に掲げる業務を行う。

(1) 医学部生の成績に関するデータ収集、管理、分析及び情報提供に関すること。

(2) 医学部のカリキュラムや教育活動に関するデータ収集、管理、分析及び情報提供に関すること。

(3) 医学部卒業生のキャリアに関するデータ収集、管理、分析及び情報提供に関すること。

(4) 学長からの諮問のあった事項に関すること。

(5) その他目的を達成するために必要な業務。

(組織)

第 4 条 医学部委員会は、次に掲げる教職員をもって組織する。

(1) 和歌山県立医科大学教育研究開発センター I R 部門（以下「I R 部門」という。）長

(2) 医学部所属 I R 部門副部門長

(3) 医学部所属 I R 部門専任教員

(4) 医学部教員

(5) 学生課職員

(I R情報の適正管理)

第5条 I R部門長は、本学が保有する情報資産のうち、I Rを推進するうえで必要な情報をI R情報として特定する。

- 2 医学部委員会は、I R情報の収集、管理、分析及び情報提供にあたって、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号。）、和歌山県個人情報保護条例（平成14年和歌山県条例第66号。）、和歌山県個人情報の安全管理に関する基本的な考え方、和歌山県個人情報保護条例の施行に関する公立大学法人和歌山県立医科大学規程（平成18年和医大規程第130号。）、公立大学法人和歌山県立医科大学個人情報保護安全管理措置要綱、公立大学法人和歌山県立医科大学文書処理規程（平成19年和医大規程第13号。）並びに和歌山県立医科大学医学情報ネットワーク利用規程（平成11年和医大規程24号。）、和歌山県立医科大学ネットワーク及び情報システムに関わる情報セキュリティ基本方針、和歌山県立医科大学ネットワーク及び情報システムに関わる情報セキュリティ管理要綱実施マニュアル（以下「個人情報保護関係規程並びに情報セキュリティ関係規程」という。）を遵守しなければならない。

- 3 前項のほか、医学部委員会に必要な事項は別に定める。

(部局の協力)

第6条 部局長は、I R部門長に対し、I R情報の提供及び情報の有効活用に関し、人的・物的資源の協力を行うものとする。

(I R情報の収集、管理及び提供)

第7条 医学部委員会は、本規程第1条の趣旨に基づく使用目的以外でI R情報の提供を依頼してはならない。

- 2 医学部委員会は、I R情報をI Rのためのデータベース（以下「IRシステム」という。）に集約したうえで管理し、分析・編集する。I Rシステムの運用については、情報セキュリティ関係規程の定めるところによる。

- 3 医学部委員会は、収集したI R情報を有効活用できるよう、学長、部局長の要請に応じ、データ分析結果ファイル等を提供しなければならない。ただし、部局長に他部局のI R情報を含むデータ分析結果ファイル等を提供する場合には、部局長は、当該他部局長の了解を得たうえで提供を依頼しなければならない。

(I R情報の活用)

第8条 I R部門長は、I R情報を活用し、医学部教育の質保証や質の向上の強化を図るものとする。

- 2 部局長は、I R情報を活用して所掌業務の見直しや改善を行うものとする。

- 3 学長、部局長は、I R情報の活用にあたっては、個人情報保護関係規程並びに情報セキュリティ関係規程を遵守しなければならない。

(庶務等)

第9条 医学部委員会の庶務は、事務局学生課において処理する。

(その他)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、本学の I R 推進に関し必要な事項は、医学部委員会が別に定める。

附 則

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

教育研究開発センター運営委員会委員 (令和 5 年度) ※令和 6 年 3 月 31 日時点

委員長	村田 顕也	教育研究開発センター長
	谷本 貴志	教育研究開発センター 副センター長
	水田 真由美	教育研究開発センター 副センター長
	平田 収正	教育研究開発センター 副センター長
	伊東 秀文	医学部長
	森岡 郁晴	保健看護学部長
	太田 茂	薬学部長
	中田 正範	学生部長
	平井 秀一	入試センター長
	中尾 直之	病院長
	谷口 善郎	事務局 事務局長

センター部会委員 (令和 5 年度) ※令和 6 年 3 月 31 日時点

◆ カリキュラム専門部会

部会長	村田 顕也	教育研究開発センター長	
副部会長	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	平田 収正	薬学部	教授
医学部委員	村田 顕也	教育研究開発センター長	
	廣田 麻子	教養・医学教育大講座	教授
	平井 秀一	教養・医学教育大講座	教授
	森川 吉博	解剖学第 2 講座	教授
	改正 恒康	生体調節機構研究部	教授
	藤吉 朗	衛生学講座	教授
	北野 雅之	内科学第 2 講座	教授
	伊東 秀文	脳神経内科学講座	教授
	神人 正寿	皮膚科学講座	教授
	中尾 直之	脳神経外科学講座	教授
	井篁 一彦	産科・婦人科学講座	教授
	廣西 昌也	紀北分院総合内科学	教授
	上野 雅巳	地域医療支援センター長	教授

保健看護学部委員	森	めぐみ	教育研究開発センター	助教
	森岡	郁晴	保健看護学部長	
	井上	みゆき	保健看護学部	教授
	岩村	龍子	保健看護学部	教授
	岡本	恭子	保健看護学部	学長特命教授
	辻	あさみ	保健看護学部	教授
	服部	園美	保健看護学部	教授
	前馬	理恵	保健看護学部	教授
	増田	匡裕	保健看護学部	教授
	水越	正人	保健看護学部	教授
	水田	真由美	保健看護学部	教授
	宮井	信行	保健看護学部	教授
	池田	理恵	保健看護学部	教授
	橋爪	洋	保健看護学部	教授
	池田	敬子	保健看護学部	准教授
	山東	資子	保健看護学部	准教授
薬学部委員	太田	茂	薬学部長	
	平田	收正	薬学部	教授

◆ 臨床技能教育部会

部会長	川股	知之	麻醉科学講座	教授
副部会長	森岡	郁晴	保健看護学部長	
	須野	学	薬学部	教授

医学部委員

OSCE部会

村田	顕也	教育研究開発センター長	
川股	知之	麻醉科学講座	教授
園村	哲郎	放射線医学講座	教授
井口	幹崇	内科学第2講座	准教授
中西	正典	内科学第3講座	准教授
柑本	康夫	泌尿器科学講座	准教授
西林	宏起	脳神経外科学講座	准教授
田中	才一	眼科学講座	准教授
水本	一弘	医療安全推進部	准教授
森	めぐみ	教育研究開発センター	助教

CBT部会

中田	正範	学生部長	
村田	顕也	教育研究開発センター長	
藤吉	朗	衛生学講座	教授
西尾	真智子	微生物学講座	教授
江幡	正悟	病理学講座	教授

中西 正典	内科学第3講座	准教授
山野 貴司	内科学第4講座	講師
川井 学	外科学第2講座	准教授
古田 浩人	内科学第1講座	准教授
南 佐和子	総合周産期母子医療センター	准教授
森 めぐみ	教育研究開発センター	助教

保健看護学部委員	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	岩村 龍子	保健看護学部	教授
	岡本 恭子	保健看護学部	学長特命教授
	辻 あさみ	保健看護学部	教授
	水田 真由美	保健看護学部	教授
薬学部委員	太田 茂	薬学部長	
	須野 学	薬学部	教授

◆ FD 部会

部会長	森岡 郁晴	保健看護学部長	
副部会長	村田 顕也	教育研究開発センター長	
	須野 学	薬学部	教授
医学部委員	藤吉 朗	衛生学講座	教授
	廣田 麻子	教養・医学教育大講座	教授
	井原 義人	生化学講座	教授
	藤井 隆夫	リウマチ・膠原病科学講座	教授
	森 めぐみ	教育研究開発センター	助教
保健看護学部委員	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	井上 みゆき	保健看護学部	教授
	岡本 恭子	保健看護学部	学長特命教授
	橋爪 洋	保健看護学部	教授
	前馬 理恵	保健看護学部	教授
薬学部委員	太田 茂	薬学部長	
	須野 学	薬学部	教授

◆ 教育研究開発センター自己評価委員会

委員長	伊東 秀文	医学部長
	森岡 郁晴	保健看護学部長
	太田 茂	薬学部長
	平井 秀一	入試センター長
	中尾 直之	病院長
	中田 正範	学生部長

森	めぐみ	教育研究開発センター	助教
首藤	太一	大阪公立大学 総合医学教育学	教授
大江	嘉幸	前和歌山市教育委員会	教育長

令和5年度 教育研究開発センター 業務方針（〇責任者）

- 2大Project
 - 1) 医学教育分野別評価（〇村田、谷本、佐々木、森、池田）
 - 2) 6年留年生補講（村田、谷本、〇森、池田）

 - 高大接続
 - 1) 県内外高校訪問（〇村田、谷本）
教員＋学生課学務班＋卒後臨床研修センター＋在校生
 - 2) ときめきサイエンスによる研究室見学と和歌山医大紹介（村田、〇森）
 - 3) 予備校講演会と予備校との連携（河合、駿台）（〇谷本、村田）

 - 入学試験（IR）（〇谷本、中津川）
 - 1) 本年度試験の解析（4月中に入試制度検討部会あり）
 - 2) 本年度試験の総括（昨年度との相違）
 - 1次合格者と2次合格者の関連
 - 1次試験、2次試験の最終合格の寄与度
 - 県民枠A, B, Cの解析
 - 3) 入試制度検討（入試制度検討部会）
 - 推薦入試のあり方
 - 入試枠のあり方
 - 入学試験問題作成のあり方
 - 他大学の入試の検討

 - 外部委員（村田）
 - 1) 国家試験委員
 - 2) OSCE 課題委員（神経）

 - 和歌山県立医科大学中期計画 村田
- （基盤）
- 教育研究開発部門（〇村田、森、池田）
カリキュラム編成
 - 1) コアカリキュラムに基づく全授業コマ数の検討
 - 2) コマ数に基づくカリキュラム改編
横断的講義・縦断的講義（学年・科目を超えて）
プロフェッショナルリズム教育を高学年にも
倫理教育（1年 倫理 5－6年臨床倫理）

- IR 部門 (○谷本、中津川)
 - 1) 教育プログラム評価委員会
 - 2) 分野別評価資料作成

- 教育研究開発センター部会
 - 1) カリキュラム検討部会 (○村田)
 - 2) 臨床技能部会 (CBT、OSCE)
 - 3) FD 部会

- 遠隔講義サポート (○平野、中津川)
 - 1) 3 学部の Teams 枠作りなど運営基盤構築
 - 2) 1 年生への試験配信
 - 3) 授業録画講義の保存方法 (Stream からの変更)
 - 4) 講義動画の Moodle 連携

- 講義システム (Post コロナ) (○平野、中津川)

ICT を踏まえた講義形態の検討

 - 1) Moodle の活用方法
 - 2) コンピューター資料配付

- 学生成績管理システム構築 (○中津川)
 - 1) 教務学務システムとの連携
 - 2) 学生カルテの作成
 - 3) 共通評価表の電子化

(実務)

- 成績不良者対策 (村田、○谷本)

各学年留年者の特性解析 (入試から見直す)

- 1) 問題学生の早期発見 出席システムの導入
- 2) 留年生フォローシステム (担任制の教科)
- 3) 各学年下位 20 人対応方法 (各科目でのリメディアル教育)

- 学生のメンタル調査 (○池田、村田、谷本、佐々木、森)

- 1) 健康管理センターと連携して 1 年生へのアンケートと面談

- 国家試験対策 (森、池田、○谷本)

- 1) 卒業試験解析

- 講義実習関連 (○森、佐々木、池田)

- 1) CBT 問題新作問題検討 (3 月)
- 2) Post CC OSCE の独自課題作成 (5-6 月)
- 3) Post CC OSCE 運営 (7 月)
- 4) 6 大学試験問題作成 (4-9 月)
- 5) 医学概論 I と Early Exposure の連携 (4-7 月) (佐々木)
- 6) Pre CC OSCE (本試験・再試験)
学生・教員説明会
- 7) 高齢者福祉施設研修 (2 月-3 月) (佐々木)
- 8) 基礎配属 e ラーニング、報告会

- 感染症人材育成事業 (○谷本、平野、中津川)

- 1) VR (360 度カメラ、Holoeyes) 教材作成
- 2) 全学への普及

- 和歌山 SP の会 (○佐々木、森、池田)

- 1) 組織運営 (メンバーコントロール)
- 2) 新規会員勧誘
- 3) SP 標準化問題
- 4) 認定 SP 養成の勉強会
- 5) SP との定期的な意見交換会
- 6) 試験以外への SP さん活動

遠隔講義の取り組み

遠隔講義サポーター制度の変遷

教育研究開発センター
特別研究員 平野隆則

本学では令和2年5月から Microsoft Teams を使った遠隔講義を導入した。これに伴い、各キャンパスに遠隔講義用の部屋と必要な機材を用意し、地元企業に委託契約し、ICT 教育サポーター（以下、サポーター）を配置している。今年度のサポーターの勤務と業務内容を以下に示す。

サポーター勤務時間

8 時 30 分～17 時 30 分の間で講義時間に合わせて配置。

合計勤務時間を表 1 に示す。

	合計時間	医学	保健看護	薬学
2023年4月	359	162.5	160	36.5
5月	321	151	160	10
6月	338	153.5	177	7.5
7月	212.5	98.5	111.5	2.5
8月	95	63	32	0
9月	203.5	115	86	2.5
10月	294	113.5	168	12.5
11月	303	138	160	5
12月	244.5	116.5	128	0
2024年1月	244	92	152	0
2月	35	19	16	0
3月	110	104	6	0

表 1 ICT 教育サポーター勤務時間表

業務概要

4 月は新入生ガイダンスや新学期開始に伴う遠隔講義の準備、設定作業などが中心に依頼した。遠隔講義の全体研修を実施していないため、新任者には個別でサポーターに対応してもらった。

5 月 8 日に新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されたが、本学では新型コロナ陽性や濃厚接触者、感染が疑われる症状などを訴える学生から連絡があった際に、講義を遠隔会議で配信する「ハイブリッド講義」を継続した。また 6 月 9 日には天候悪化のため警報が発令され、遠隔講義に切り替えられた。自宅待機者や天候の急変は突発的な対応が必要となるため、サポーターの待機が必要になった。

遠隔講義は減少したが、配付資料や課題提出、アンケート実施、出席確認など、引き続き Teams が利用された。教員から依頼があれば、配付資料のアップロード、課題の設定、講義中に使うフォームの作成など、対面講義の ICT 支援に対応した。

2023（令和 5）年 10 月には Teams V2 がリリースされ、操作方法やユーザーインターフェースに大きな変更があった。マニュアルの改訂や問い合わせへの対応、アプリの切り替えなど、各種サポート業務が発生した。

別途、E ラーニングシステムを利用する講義や実習があり、これらの登録や入力確認もサポーターに依頼している。

医学部では、VR ゴーグルを使った教材作成を行っており、これらの補助業務やゴーグルの充電、アップデート、コンテンツ導入などを依頼した。

2024（令和 6）年 1 月から本学の統合 ID の運用が始まり、教職員および学生に配布されていたアカウント●●@wakayama-med.ac.jp が Microsoft や Google に連携された。これに伴い、令和 6 年度 4 月の講義から、令和 2 年に配布した遠隔講義専用アカウントから切り替えが必要になった。従来使用していたチームやフォームが引き継げず、新たな環境構築の対応を行った。アカウントが 1 人 1 アカウントになり、所属アカウントが廃止された。セキュリティも強化され、多要素認証が必須となり、マニュアルの改訂や運用の見直しを全面的に行った。

毎年、年度ごとに授業チームを作成し、教職員と学生を登録し、出席フォームや課題提出用フォームを用意する必要がある。学部ごとに開講時期が異なるため、11 月～3 月に渡って新年度講義の準備を依頼した。

ハイブリッド講義実施方法（講義配信）

ハイブリッド講義の実施方法は、保健看護学部、薬学部、医学部 1 年の講義は主に教員が操作する PC で配信した。講義室からの配信時には教員が必要とすれば講義室で配信を補助してもらった。教員からの希望があれば、映像・音声チェック、録画対応など、教員の支援を行った。臨床医や学外の講師など講義を担当する教員が多い紀三井寺キャンパスでは、すぐ講義を始められるよう、講義室にハンディーカムを設置し、撮影した映像を

キャプチャーユニットで PC に取り込み、Teams に配信した。ハンディーカムを使った配信は教員への負担が少ない反面、機材準備や設定に時間がかかる。また、ハイブリッド講義では、教員は目の前にいる学生の対応も必要になるため、配信の不具合に気づきにくい。サポーターには機材運用に加え、遠隔受講する学生とのコミュニケーションも取り支援してもらった。

サポーター業務の一例（一部抜粋）

< 医学部 >

- 4 月 4 日 新入生ガイダンス動画編集、マニュアル作成
- 6 月 27 日 授業対応（遠隔 1、スタジオ 1）、人権講義配信 1 件
- 9 月 29 日 問い合わせ（スタジオ）1 件、VR 実習セッティング&教材テスト
- 2 月 21 日 エスコート実習サポート（ハイブリッド 6）、車いす体験の撮影
- 3 月 26 日 問い合わせ 3 件、新チーム所有者設定、PC セッティング、新テナントのアカウント設定とマニュアル作成（二段階認証、ログイン、MacOS）

< 保健看護学部 >

- 4 月 10 日 授業対応（講義室 1）、問い合わせ 2 件、チームメンバー登録作業
- 6 月 30 日 授業対応（講義室 1、遠隔 5）、問い合わせ 1 件、動画編集
- 9 月 5 日 授業準備（Forms 作成）、マニュアル作成
- 1 月 9 日 問い合わせ 1 件、PC 設定作業、新テナント検証作業

< 薬学部 >

- 4 月 17 日 三学部合同配信テスト、レクチャー 2 件
- 6 月 27 日 授業対応（ハイブリッド）、PC アップデート作業
- 9 月 26 日 授業対応（録画データ処理）、学生用 PC アップデート作業

本年度のサポーター制度を振り返って

講義の大半が対面講義に回帰したものの、一部の講義は遠隔やハイブリッド、講師が学外から接続する配信授業など、コロナ禍以前の実施形態には戻らなかった。対面講義では今まで以上に ICT ツールが利用されるようになり、その支援業務が新たに発生した。専門性が高い業務が増えたことで、サポーターの業務範囲も教育の ICT 活用全般に広がり、サポーターの必要性は令和 5 年度も変わらなかった。変化する教育現場のニーズに柔軟に対応し、安定した教育環境を維持するために、ICT 教育サポーターは事務局と、教育研究開発センターと協働し、教育支援を行った。

令和 5 年度事業実績

IR部門

令和5年度第1回

教育研究開発センターIR部門医学部委員会

■ 日 時：令和5年12月22日（金） 17：30～

■ 場 所：基礎教育棟1階 非常勤講師控室

<<議 題>>

1. 2023年11月IRレポート紹介

2. 現在取り組んでいる調査

3. 今後の独自調査の意向

4. 委員の推薦

5. その他

教育研究開発センター I R 部門 医学部委員会名簿

令和5年12月22日現在

任期：令和4年4月1日～令和7年3月31日

	部門の構成	氏 名	役 職	備 考
1	部門長	谷本 貴志	准教授	教育研究開発副センター長
2	副部門長	村田 顕也	教授	教育研究開発センター長
3	医学部教員	江幡 正悟	教授	病理学
4		西川 彰則	准教授	輸血部、医療情報部長
5		田中 晴喜	講師	教養・医学教育大講座
6	学生課職員	福田 道代	課長	

令和5年度第1回 IR 部門医学部委員会 議事要旨

日時：令和5年12月22日（金）17：30～18：10

場所：基礎教育棟1階 非常勤講師控え室

参加者：部門長）谷本、副部門長）村田、

医学部教員）江幡（病理学講座）、西川（医療情報部）、

学生課職員）福田、

オブザーバー）中津川（教育研究開発 C・IR 部門員）、学生課職員）平松、川口

（敬称略・順不同）

資料：【資料1】教育研究開発センターIR レポート

【資料2】医学部の PDCA

【資料3－1】教育研究開発センターIR 部門規程

【資料3－2】教育研究開発センターIR 部門医学部委員会規程

【補足資料】滋賀医科大学チラシ

1. 2023年11月 IR レポート紹介

【資料1】について谷本 IR 部門長が説明。

分野別評価でも IR 部門が活動していることを認識していただいた。今年度の振り返りを行いたい。

・コンピテンシー到達度調査を行った。

・7つの大項目と細かな項目から成る学生の評価を各学年ごとに示した。本来はひとりの学生の6年間の推移をみていくべきだが、そこまでデータが揃っていないので、学年別に計算した。語学が下がっているところがあることが分かった。また、教員と学生との相関をみると、食い違っている部分があった。

→委員：教員は200人いるが、評価は誰が行うのか？

→谷本 IR 部門長：臨床実習でいえば、評価は最終の診療科が個人の手で行う。

→村田 IR 副部門長：診療科ごとに教員がいるとなればレギュレーションは難しいと思う。基礎配属は2ヶ月かけて行うが、臨床実習はワンポイントを見ている。

→委員：評価者の尺度が違うことは課題と思う。

⇒コンピテンシー到達度調査は継続して行う。

2. 現在取り組んでいる調査・今後の独自調査の意向について

【資料2】を用いて谷本 IR 部門長が説明。

・委員会からの調査依頼についても取り組む。新学長・新委員長から依頼があればやっていきたい。

→中津川 IR 部門員：入学後の解析は進めてきた。入試の成績と入学後の成績の結びつき、卒業後の進路についてももう少し情報が入れば整理していきたい方針。

- ・分野別評価で卒業後の進路を指摘されたが、卒業後の実績が把握できない。
→委員：インセンティブがないとできない。卒業生での活躍に競争原理があるほうがいい。

3. 委員の推薦について

【資料3-1、3-2】により谷本 IR 部門長が説明。

- ・中津川 IR 部門員が医学部委員会委員ではなかったため、IR 部門医学部委員会規程第4条(4) 医学部教員 として、医学部委員会委員に任命する。
→異議なし。
- ・統計の専門教員の後任は決まり次第依頼する。
→異議なし。

4. その他

【補足資料】により谷本 IR 部門長が説明。

- ・滋賀医大でも IR 室のレポートがある。ファクトシートの素案は作成したい。
→村田 IR 副部門長：成績はトップ 10 人と、下位の 10 人は変わらず、中間が入れ違う。また 5・6 年生は成績の順番は変わらない。4 年生までをいかに学力をあげることが問題であるが、そのことについては公開できていない。
 - ・コンピテンシーのアンケートは今年も行う。
→委員：成績の相関を見ることも重要だが、4 年生までに学習スタイルを確立することが必要。授業をでているのか、何時間勉強しているのか、教科書を買っているのか、その教科書に対して何時間勉強しているのか、をモニターするべき。勉強の仕方が分かっていない学生がいる。
 - 村田 IR 副部門長：奈良医大では学生白書を作成した。調査を公開し、少ないことに気づけば焦ると思う。教育研究開発センターが行うのか、IR 部門が行うのかは分からないが生活調査は大事である。面談のときに使える。
 - 委員：医療でいうところの PRO (Patient Reported Outcome) と同じで患者の日々の状態をフォローしていくところと同じ。勉強の状態を時系列でみていく。
 - 谷本 IR 部門長：年 4 回程度自己入力させるとよい。
 - 委員：1 年生で確立させたい。
 - 谷本 IR 部門長：10 項目で絞る。
 - 委員：「みんなチャレ」のようなアプリで行動変容を起こすようにしたい。
- ⇒成績データの把握は続け、生活・自己学習の調査の素案を作る。Google フォームを利用予定。

令和5年度第1回教育研究開発センターIR部門会議

■ 日 時：令和6年1月24日（水） 17：00～

■ 場 所：紀三井寺キャンパス 図書館棟3階 研修室

<<議 題>>

1. 2023年11月医学教育分野別評価受審報告
2. 2023年11月IRレポート紹介
3. 現在取り組んでいる調査
4. 今後の独自調査の意向
5. その他

【資料】

- ・IR部門会議全体資料

資料1：IRレポート

資料2：エンパシースケール調査（2022.2023.）

資料3：エンパシースケール説明

資料4：ファクトシート例1

資料5：ファクトシート例2

和歌山県立医科大学

教育研究開発センター I R 部門

令和5年7月1日現在

任期：令和4年4月1日～令和7年3月31日

	部門の構成	氏 名	役 職	備 考
1	部門長	谷本 貴志	准教授	教育研究開発副センター長
2	副部門長	村田 顕也	教授	教育研究開発センター長
3		水越 正人	教授	保健看護学部
4		平田 收正	教授	薬学部
5	医学部教員	江幡 正悟	教授	病理学
6		西川 彰則	准教授	輸血部、医療情報部長
7		中津川 洋平	学長特命 助教	教育研究開発センター
8	保健看護学部	池田 敬子	准教授	
9	教員	岡本 光代	准教授	
10	薬学部教員	須野 学	教授	臨床
11		伊藤 達也	教授	医療情報薬学
12	事務局職員	福田 道代	課長	学生課長
13		田尻 雅也	室長	保健看護学部事務室
14		尾崎 保	室長	薬学部事務室

令和5年度第1回 IR 部門会議 議事要旨

日時：令和6年1月24日（水） 17：00～18：00

場所：図書館棟3階 研修室

参加者：部門長）谷本、

医学部副部門長）村田、保健看護学部副部門長）水越、薬学部副部門長）平田、

医）中津川、保看）岡本、薬）伊藤、

事務局職員）福田、田尻、尾崎

薬学部事務室職員）奥野、学生課職員）平松、川口

（敬称略・順不同）

資料：IR 部門会議全体資料

資料1：IR レポート

資料2：エンパシースケール調査（2022,2023.）

資料3：エンパシースケール説明

資料4：ファクトシート例1

資料5：ファクトシート例2

1. 2023年11月医学教育分野別評価受審報告

全体資料を用いて谷本 IR 部門長が、2023 年 11 月に受審した医学分野別評価、PDCA サイクルの説明、IR の立ち位置について説明を行った。

- ・IR は PDCA サイクルの中央に位置している。

2. 2023年11月 IR レポート紹介

資料1を用いて谷本 IR 部門長が説明。

- ・谷本部門長：（CBT と科目の相関について）科目に対し、アドバイスや改善を促していきますか？

→村田副部門長：本来はフィードバックを返すべき。

- ・副部門長：PDCA サイクルがあるが、この解析により改善を提案していくのか？

→村田副部門長：IR なので、データを出すところまでだと考えている。

→副部門長：大事な解析なので、サイクルは我々（各学部）で行わないといけない。

我々は自分達ですればよいのか？

→村田副部門長：各学部の IR 部門である。各学部で PDCA を回してよい。

- ・副部門長：（寄与度について）共通試験と二次試験の配点が違うが、共通は共通、二次は二次で分けた方がよいのではないか？

→中津川教員：配点が低いのは当然寄与度も低い。そのまま影響度が現れるようにしている。

- ・副部門長：（カリキュラム変更における解析について）各臨床に対してのフィードバックはしたのか？

→村田副部門長：教育プログラム評価委員会、教務学生委員会レベルは知っている。
各臨床に対しフィードバックしないといけないが、その場合は教
務学生委員会の名前で返すようになる。

・村田副部門長：医学部は分野別評価受審に合わせ組織を改編した。プランと評価を
別組織にしている。教務学生委員会を実行部隊にしている。

→副部門長：各学部独自に PDCA サイクルをとらないといけない。

3. 現在取り組んでいる調査

全体資料・資料2、資料3を用いて谷本 IR 部門長が説明。

- ・ IR レポートの内容は医学部では毎年行う。
- ・ 3 学部のケアマインド授業におけるアンケート解析（エンパシースケール）を行っ
た。
- ・ 医学部では入試成績と入学後、卒業時実績との相関も行う。

4. 今後の独自調査の意向

全体資料を用いて谷本 IR 部門長が説明。

- ・ 谷本部門長：IR 部門医学部委員会で生活・学修実態について知っておく必要があ
るとの話がでた。独自のシートを使おうとしているが、薬学部の河合塾
のシステムはどうになりましたか？保健看護学部はどうですか？

→副部門長：使えないことはないが、足りないため広島大学の作成した方に連絡を
している。答えはもらっていない状況。状況を把握することについては
良いが、IR 的には足りないと思う。

→副部門長：調査については保健看護学部単独では動かない。

- ・ 谷本部門長：IR レポートのようにするのか実態調査でよいのかだが、入力項目が
多いと学生が入力してくれないこともある。

5. その他

全体資料を用いて谷本 IR 部門長が説明。

- ・ 医学部委員会では6月までに学修・生活調査を行い、7月までにファクトシート（父
兄を対象に来年度の入試説明会で配布したい。）を作成する予定。
- ・ 来年度の会議は5月に集まって原案を確認してもらいたい。
→異議なし。

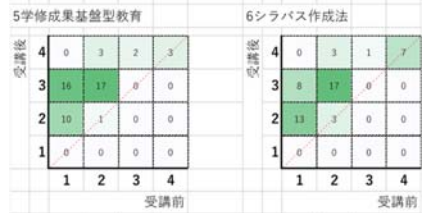
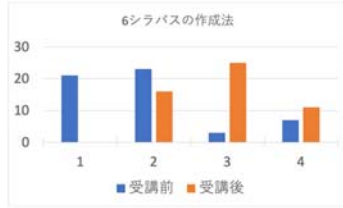
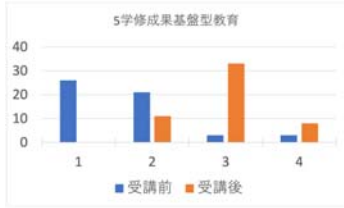
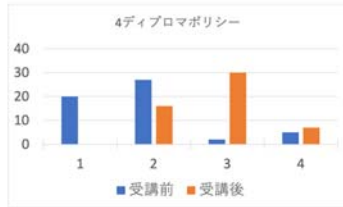
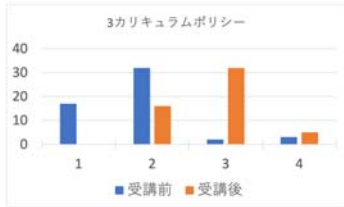
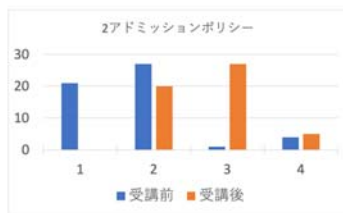
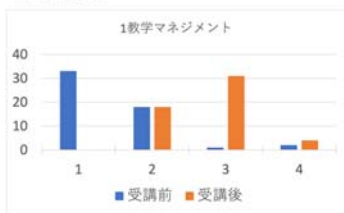
令和5年度 IRLレポート

No.	内容	調査依頼元	実施時期	対象時期	概要	備考
7	FD講習会理解度調査(2023.03.24)	教育プログラム評価委員会	2023.04	2023.04	FD講習会の理解度アンケートを集計し、講習前後の参加者のFDに対する理解度が向上していることを確認した。	
9	R5入試 入試枠別 試験成績	入試委員会・入試制度検討委員会	2023.06.02-05	2023	R5年入試成績について、入試枠ごとに得点率の平均値、最高値、最低値を算出した。	資料非公開
10	R5入試 入試科目寄与度	入試委員会・入試制度検討委員会	2023.06.12	2023	R5年入試成績について、各科目の寄与度を算出。	資料非公開
11	教育方針の理解度 (R5 1年生)	教育プログラム評価委員会	2023.05.15	2023	Formsによる教育方針の理解度アンケートの集計。オリエンテーション前後の理解度の比較。	
12	教育方針の理解度 (R5 4年生)	教育プログラム評価委員会	2023.06.23	2023	Formsによる教育方針の理解度アンケートの集計。現在と入学前の理解度の比較。	
13	教育方針の理解度 (R5 2年生)	教育プログラム評価委員会	2023.07.14	2023	Formsによる教育方針の理解度アンケートの集計。現在と入学前の理解度の比較。	
14	教育方針の理解度 (R5 1, 2, 4年生) 分野別評価向け資料	教育プログラム評価委員会	2023.07.14	2023	各項目のパーセンテージをまとめ、分野別評価のための資料を作成した。	
15	FD講習会理解度調査(2023.04.26)	教育プログラム評価委員会	2023.07.14	2023	2023.03.24実施のFD講習会の理解度アンケートと同様に、2回目講習会のアンケートを集計した。	
16	FD講習会理解度調査(2023.3・4月合算) 分野別評価向け資料	教育プログラム評価委員会	2023.07.14	2023	2023.03と04のアンケートを合算して集計しなおした。	
17	入学試験成績の解析	入試委員会・入試制度検討委員会	2023.09	2018-2023	2018-2023年の入試成績を解析し、科目ごとの寄与度(可否とのつながりの強さ)を算出し、配点の決定指針についての情報を提供した。	資料非公開
18	2015-2017入学者入学区分別 卒試・CBT・国試 成績	独自	2023.10.	2015-2022	直近の卒業生3学年の卒試・CBT・国試の成績を入学区分ごとにまとめた。	資料非公開
19	2015-2017入学者入学区分別 国試ストレート合格率 成績	独自	2023.10.	2020-2022	直近の卒業生3学年の国試ストレート合格者を入学区分ごとにまとめた。	資料非公開
20	2015-2017入学者入学区分別 卒業後の研修先	独自	2023.10.	2020-2022	直近の卒業生3学年の卒業後の研修先(主に県内外)を入学区分ごとにまとめた。	資料非公開
21	2015-2017入学者入学区分別 入試成績	独自	2023.10.	2015-2017	直近の卒業生3学年の入試の成績を入学区分ごとにまとめた。	資料非公開
22	2022, 2023 ケアマインド エンバシースケールの推移	独自	2023.12.	2023	ケアマインドで行った3回のアンケートを集計しエンバシースケールの推移をまとめた。	

FD講習会 教員アンケート調査 受講前後の理解度

レポート007

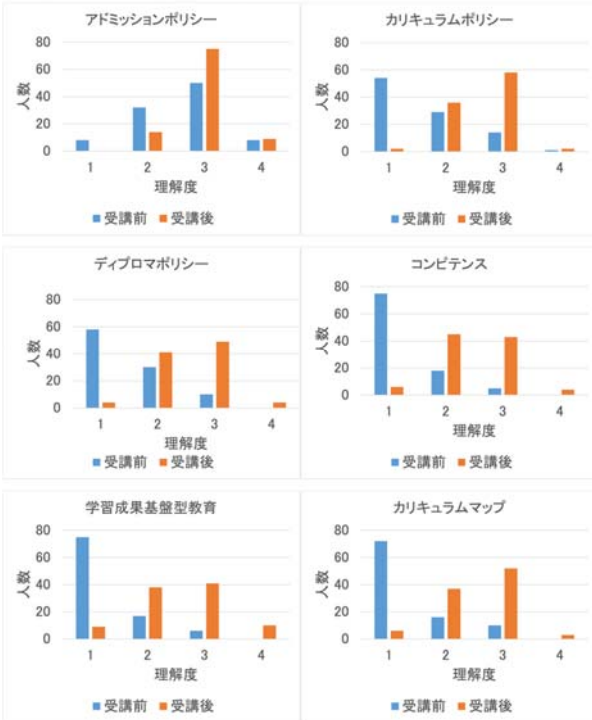
習熟度の分布



令和5年 新1年生オリエンテーション 教育方針理解度アンケート集計結果

レポート011

R5年度1年生 教育方針理解度の分布



受講前後の理解度

「アドミッションポリシー」

受講後	4	3	2	1
受講前	0	23	45	3
4	0	2	2	5
3	4	23	45	3
2	4	7	3	0
1	0	0	0	0

「カリキュラムポリシー」

受講後	4	3	2	1
受講前	1	21	12	0
4	1	0	0	1
3	25	21	12	0
2	27	7	2	0
1	1	1	0	0

理解度

- 1: 知らない
- 2: 知っているが
内容の理解は不十分
- 3: 理解している
- 4: 他人に説明できる

「ディプロマポリシー」

受講後	4	3	2	1
受講前	2	13	7	0
4	2	2	0	0
3	29	13	7	0
2	25	14	2	0
1	2	1	1	0

「コンピテンス」

受講後	4	3	2	1
受講前	2	5	4	0
4	2	2	0	0
3	34	5	4	0
2	36	8	1	0
1	3	3	0	0

「学習成果基盤型教育」

受講後	4	3	2	1
受講前	6	5	1	0
4	6	4	0	0
3	31	5	5	0
2	31	6	1	0
1	7	2	0	0

「カリキュラムマップ」

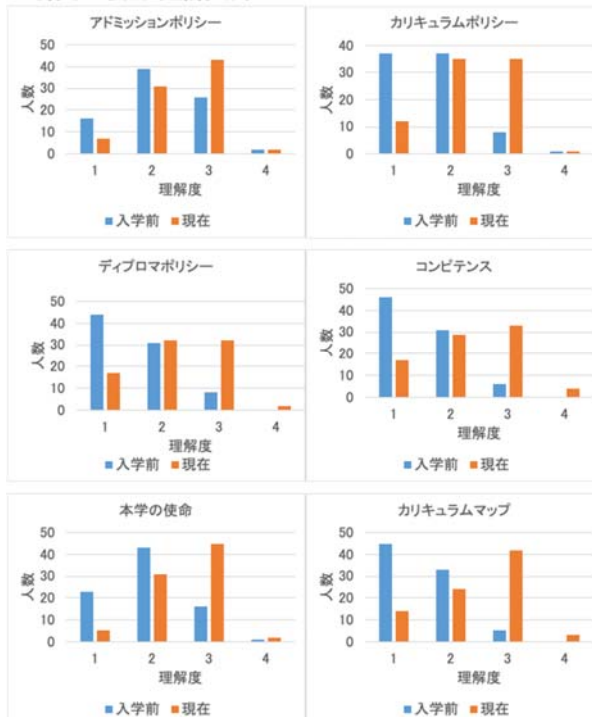
受講後	4	3	2	1
受講前	2	5	4	0
4	1	2	0	0
3	34	5	4	0
2	36	8	1	0
1	3	3	0	0

※各マスの中の数字は人数

令和5年 4年生 教育方針理解度アンケート集計結果

レポート012

R5年度4年生 教育方針理解度の分布



受講前後の理解度

「アドミッションポリシー」

現在	4	3	2	1
入学前	1	23	14	1
4	1	0	1	0
3	5	23	14	1
2	6	14	10	1
1	4	2	1	0

「カリキュラムポリシー」

現在	4	3	2	1
入学前	0	20	2	1
4	0	0	1	0
3	12	20	2	1
2	18	13	4	0
1	7	4	1	0

理解度

- 1: 知らない
- 2: 知っているが
内容の理解は不十分
- 3: 理解している
- 4: 他人に説明できる

「ディプロマポリシー」

現在	4	3	2	1
入学前	1	14	4	0
4	1	1	0	0
3	15	14	3	0
2	14	14	4	0
1	14	2	1	0

「コンピテンス」

現在	4	3	2	1
入学前	0	12	2	0
4	0	4	0	0
3	19	12	2	0
2	15	12	2	0
1	12	3	2	0

「本学の使命」

現在	4	3	2	1
入学前	9	24	11	1
4	1	1	0	0
3	9	24	11	1
2	10	16	5	0
1	3	2	0	0

「カリキュラムマップ」

現在	4	3	2	1
入学前	2	12	2	0
4	2	4	0	0
3	19	12	2	0
2	15	12	2	0
1	12	3	2	0

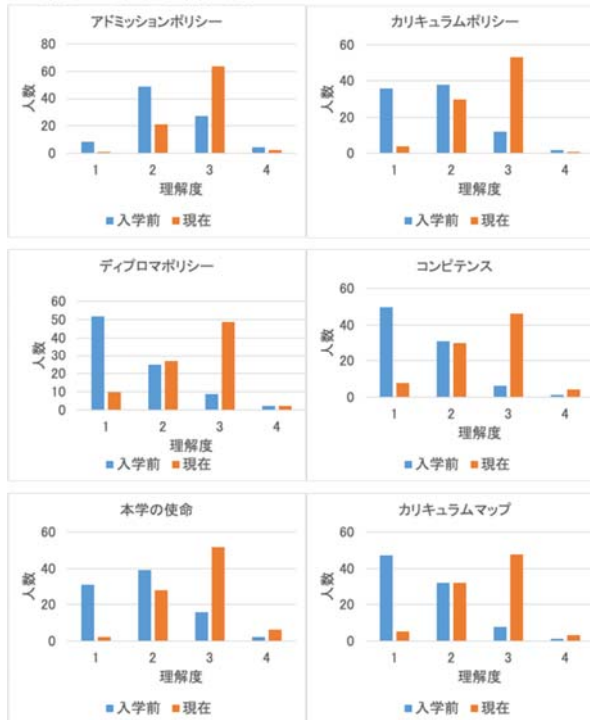
※各マスの中の数字は人数

回答: 83人

令和5年 2年生
教育方針理解度アンケート集計結果

レポート013

R5年度2年生 教育方針理解度の分布



受講前後の理解度

「アドミッションポリシー」					
現在	4	0	1	0	1
	3	3	36	23	2
	2	4	12	4	1
	1	1	0	0	0
	1	2	3	4	
入学前					
「カリキュラムポリシー」					
現在	4	0	0	1	0
	3	20	24	8	1
	2	14	13	2	1
	1	2	1	1	0
	1	2	3	4	
入学前					
「ディプロマポリシー」					
現在	4	0	1	1	0
	3	27	15	6	1
	2	17	9	0	1
	1	8	0	2	0
	1	2	3	4	
入学前					
「コンピテンス」					
現在	4	1	3	0	0
	3	24	17	5	0
	2	19	10	0	1
	1	6	1	1	0
	1	2	3	4	
入学前					
「本学の使命」					
現在	4	1	0	4	1
	3	14	29	9	0
	2	14	10	3	1
	1	2	0	0	0
	1	2	3	4	
入学前					
「カリキュラムマップ」					
現在	4	2	3	0	0
	3	24	17	5	0
	2	19	10	0	1
	1	6	1	1	0
	1	2	3	4	
入学前					
※各マスの中の数字は人数					

理解度

- 1: 知らない
- 2: 知っているが
内容の理解は不十分
- 3: 理解している
- 4: 他人に説明できる

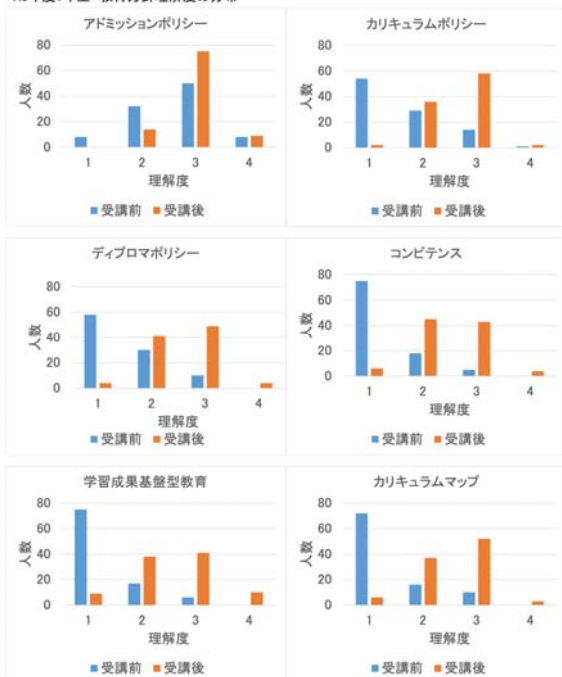
回答: 88人

令和5年 1, 2, 4年生
教育方針理解度アンケート集計結果

レポート014

R5年度1年生 教育方針理解度

R5年度1年生 教育方針理解度の分布



受講前後の理解度

「アドミッションポリシー」					
受講後	4	0	2	2	5
	3	4	23	45	3
	2	4	7	3	0
	1	0	0	0	0
		1	2	3	4
受講前					

「カリキュラムポリシー」					
受講後	4	1	0	0	1
	3	25	21	12	0
	2	27	7	2	0
	1	1	1	0	0
		1	2	3	4
受講前					

「ディプロマポリシー」					
受講後	4	2	2	0	0
	3	29	13	7	0
	2	25	14	2	0
	1	2	1	1	0
		1	2	3	4
受講前					

「コンピテンス」					
受講後	4	2	2	0	0
	3	34	5	4	0
	2	36	8	1	0
	1	3	3	0	0
		1	2	3	4
受講前					

「学習成果基盤型教育」					
受講後	4	6	4	0	0
	3	31	5	5	0
	2	31	6	1	0
	1	7	2	0	0
		1	2	3	4
受講前					

「カリキュラムマップ」					
受講後	4	1	2	0	0
	3	34	5	4	0
	2	36	8	1	0
	1	3	3	0	0
		1	2	3	4
受講前					

※各マスの中の数字は人数

理解度

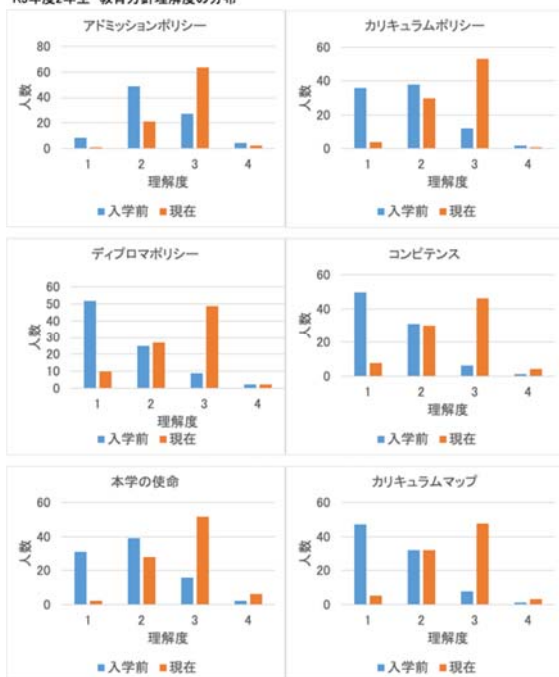
- 1: 知らない
- 2: 知っているが
内容の理解は不十分
- 3: 理解している
- 4: 他人に説明できる

回答: 98人

※各マスの中の数字は人数

R5年度 2年生 教育方針理解度

R5年度2年生 教育方針理解度の分布



受講前後の理解度

「アドミッションポリシー」						「カリキュラムポリシー」					
現在	4	0	1	0	1	現在	4	0	0	1	0
	3	3	36	23	2		3	20	24	8	1
	2	4	12	4	1		2	14	13	2	
	1	1	0	0	0		1	2	1	1	0
	1	2	3	4			1	2	3	4	
	入学前						入学前				
「ディプロマポリシー」						「コンピテンス」					
現在	4	0	1	1	0	現在	4	1	3	0	0
	3	27	15	6	1		3	24	17	5	0
	2	17	9	0	1		2	19	10	0	1
	1	8	0	2	0		1	6	1	1	0
	1	2	3	4			1	2	3	4	
	入学前						入学前				
「本学の使命」						「カリキュラムマップ」					
現在	4	1	0	4	1	現在	4	2	3	0	0
	3	14	29	9	0		3	24	17	5	0
	2	14	10	3	1		2	19	10	0	1
	1	2	0	0	0		1	6	1	1	0
	1	2	3	4			1	2	3	4	
	入学前						入学前				
※各マスの中の数字は人数											

※各マスの中の数字は人数

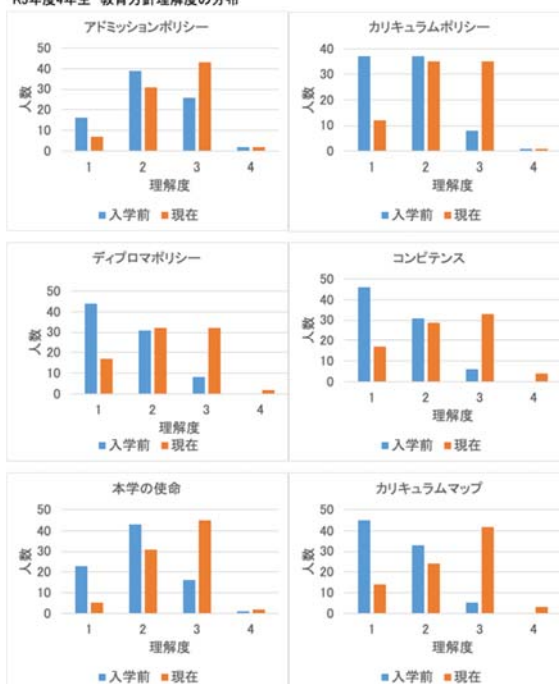
理解度

- 1: 知らない
- 2: 知っているが
内容の理解は不十分
- 3: 理解している
- 4: 他人に説明できる

回答: 88人

R5年度 4年生 教育方針理解度

R5年度4年生 教育方針理解度の分布



受講前後の理解度

「アドミッションポリシー」					
現在	4	1	0	1	0
	3	5	23	14	1
	2	6	14	10	1
	1	4	2	1	0
	1	2	3	4	
	入学前				

「カリキュラムポリシー」					
現在	4	0	0	1	0
	3	12	20	2	1
	2	18	13	4	0
	1	7	4	1	0
	1	2	3	4	
	入学前				

「ディプロマポリシー」					
現在	4	1	1	0	0
	3	15	14	3	0
	2	14	14	4	0
	1	14	2	1	0
	1	2	3	4	
	入学前				

「コンピテンス」					
現在	4	0	4	0	0
	3	19	12	2	0
	2	15	12	2	0
	1	12	3	2	0
	1	2	3	4	
	入学前				

「本学の使命」					
現在	4	1	1	0	0
	3	9	24	11	1
	2	10	16	5	0
	1	3	2	0	0
	1	2	3	4	
	入学前				

「カリキュラムマップ」					
現在	4	2	4	0	0
	3	19	12	2	0
	2	15	12	2	0
	1	12	3	2	0
	1	2	3	4	
	入学前				

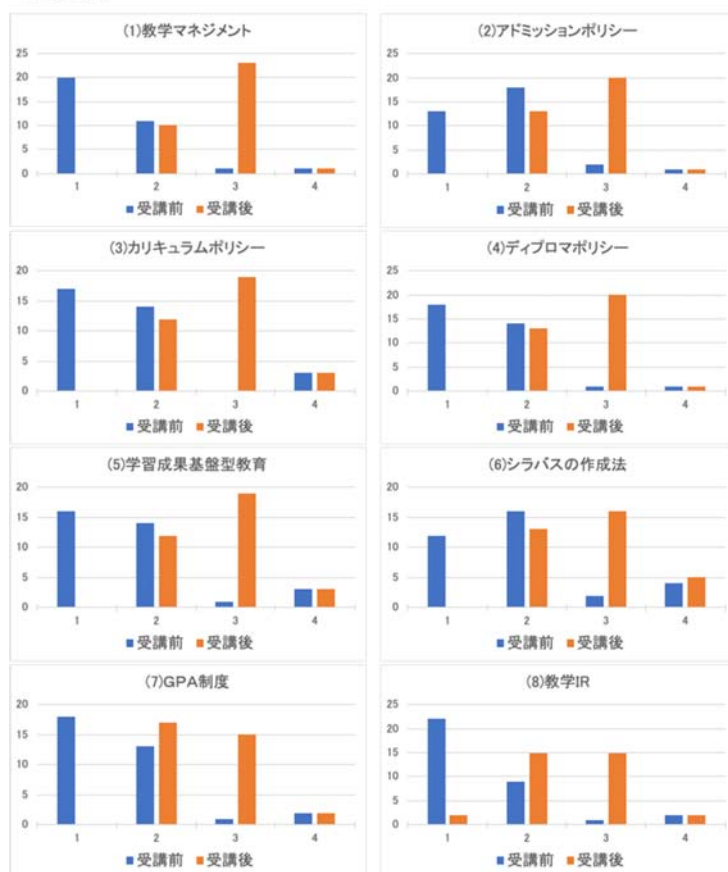
※各マスの中の数字は人数

理解度

- 1: 知らない
- 2: 知っているが
内容の理解は不十分
- 3: 理解している
- 4: 他人に説明できる

回答: 83人

習熟度の分布



(1) 教学マネジメント

受講後	4	0	0	0	1
3	14	7	1	0	
2	6	4	0	0	
1	0	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前

(2) アドミッションポリシー

受講後	4	0	0	0	1
3	7	11	2	0	
2	6	7	0	0	
1	0	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前

(3) カリキュラムポリシー

受講後	4	0	0	0	3
3	11	8	0	0	
2	6	6	0	0	
1	0	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前

(4) ディプロマポリシー

受講後	4	0	0	0	1
3	10	9	1	0	
2	8	5	0	0	
1	0	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前

(5) 学習成果基盤型教育

受講後	4	0	0	0	3
3	8	10	1	0	
2	8	4	0	0	
1	0	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前

(6) シラバスの作成法

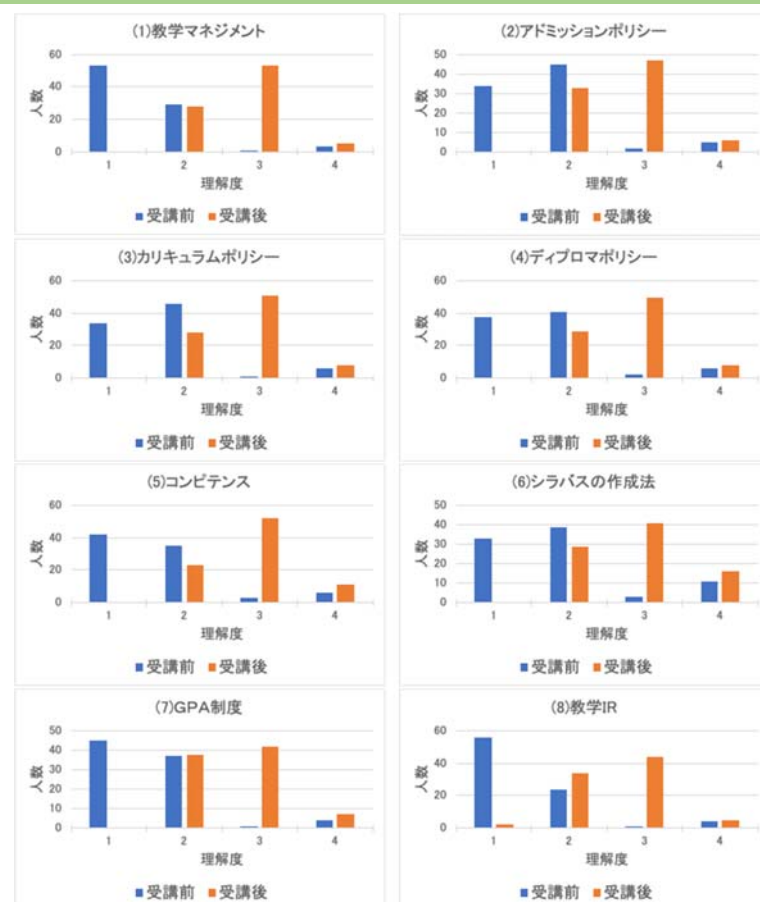
受講後	4	0	1	0	4
3	6	8	2	0	
2	6	7	0	0	
1	0	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前

(7) GPA制度

受講後	4	0	0	0	2
3	9	5	1	0	
2	9	8	0	0	
1	0	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前

(8) 教学IR

受講後	4	0	0	0	2
3	10	4	1	0	
2	10	5	0	0	
1	2	0	0	0	
	1	2	3	4	受講前



理解度の分布

理解度

1: 知らない

2: 知っている

3: 今後、講義や実習で活用、実践したい

4: すでに講義や実習で活用、実践している

有効回答数

(1) 教学マネジメント	86
(2) アドミッションポリシー	86
(3) カリキュラムポリシー	87
(4) ディプロマポリシー	87
(5) コンピテンス	86
(6) シラバスの作成法	86
(7) GPA制度	87
(8) 教学IR	85

(1) 教学マネジメント



(2) アドミッションポリシー



講習会前後の理解度

理解度

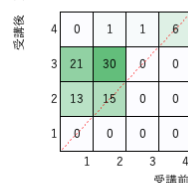
- 1: 知らない
- 2: 知っている
- 3: 今後、講義や実習で活用、実践したい
- 4: すでに講義や実習で活用、実践している

有効回答数

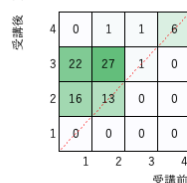
(1) 教学マネジメント	86
(2) アドミッションポリシー	86
(3) カリキュラムポリシー	87
(4) ディプロマポリシー	87
(5) コンピテンス	86
(6) シラバスの作成法	86
(7) GPA制度	87
(8) 教学IR	85

※各マスの中の数字は人数

(3) カリキュラムポリシー



(4) ディプロマポリシー



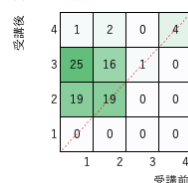
(5) コンピテンス



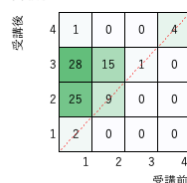
(6) シラバスの作成法



(7) GPA制度

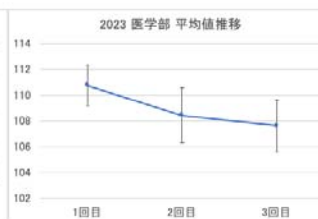
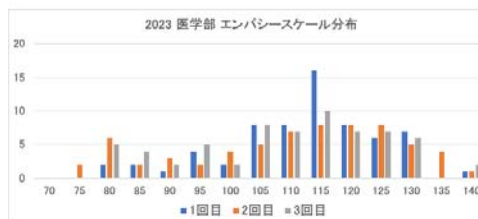


(8) 教学IR



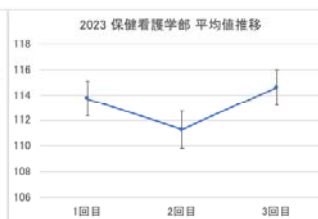
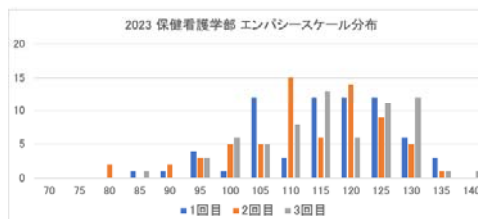
2022, 2023年 ケアマインドエンパシースケールの推移

2023年 3学部 エンパシースケール



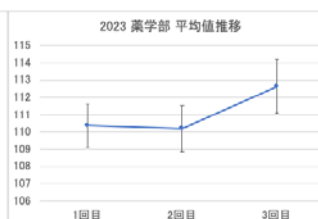
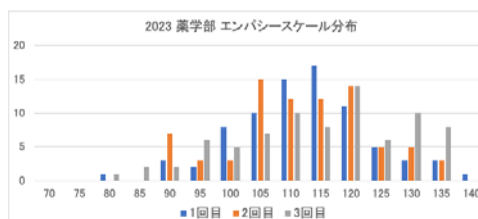
1回目-2回目	変数1	変数2
t検定: 一対の標本による平均の検定ツール		
平均	110.753846	108.446154
分散	161.875962	290.032212
観測数	65	65
ピアソン相関	0.73641466	
仮説平均との差異	0	
自由度	64	
t	1.63461829	
P(T<t) 片側	0.05565654	
t 境界値 片側	1.66901303	
P(T<t) 両側	0.11131308	
t 境界値 両側	1.99772965	

1回目-3回目	変数1	変数2
t検定: 一対の標本による平均の検定ツール		
平均	110.753846	107.615385
分散	161.875962	257.334135
観測数	65	65
ピアソン相関	0.68868745	
仮説平均との差異	0	
自由度	64	
t	3.15334043	
P(T<t) 片側	0.01733701	
t 境界値 片側	1.66901303	
P(T<t) 両側	0.03507403	
t 境界値 両側	1.99772965	



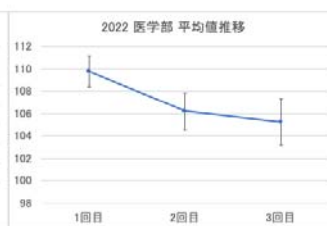
1回目-2回目	変数1	変数2
t検定: 一対の標本による平均の検定ツール		
平均	113.716419	111.208657
分散	127.569878	142.047942
観測数	67	67
ピアソン相関	0.51168647	
仮説平均との差異	0	
自由度	66	
t	1.74483444	
P(T<t) 片側	0.04283405	
t 境界値 片側	1.66827051	
P(T<t) 両側	0.0856681	
t 境界値 両側	1.99656442	

1回目-3回目	変数1	変数2
t検定: 一対の標本による平均の検定ツール		
平均	113.716419	114.597015
分散	127.569878	132.153324
観測数	67	67
ピアソン相関	0.70731331	
仮説平均との差異	0	
自由度	66	
t	-0.8265632	
P(T<t) 片側	0.20573148	
t 境界値 片側	1.66827051	
P(T<t) 両側	0.41146296	
t 境界値 両側	1.99656442	



1回目-2回目	変数1	変数2
t検定: 一対の標本による平均の検定ツール		
平均	110.367089	110.189873
分散	125.64557	138.07887
観測数	79	79
ピアソン相関	0.69686797	
仮説平均との差異	0	
自由度	78	
t	0.37594179	
P(T<t) 片側	0.43039783	
t 境界値 片側	1.66462464	
P(T<t) 両側	0.86079566	
t 境界値 両側	1.99084707	

1回目-3回目	変数1	変数2
t検定: 一対の標本による平均の検定ツール		
平均	110.367089	112.632011
分散	125.64557	192.389159
観測数	79	79
ピアソン相関	0.61520235	
仮説平均との差異	0	
自由度	78	
t	-1.7889132	
P(T<t) 片側	0.03875557	
t 境界値 片側	1.66462464	
P(T<t) 両側	0.07751114	
t 境界値 両側	1.99084707	

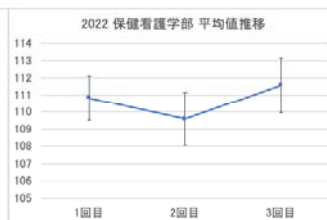
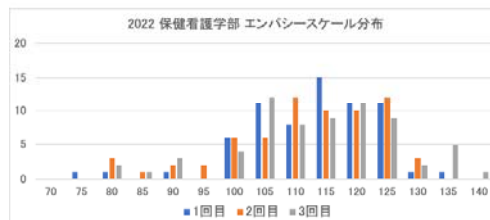


1回目-2回目
t検定: 一对の標本による平均の検定ツール

	変数 1	変数 2
平均	109.783333	106.233333
分散	118.54548	166.215819
観測数	60	60
ピアソン相関	0.53538755	
仮説平均との差異	0	
自由度	59	
t	2.37145759	
P(T<=t) 片側	0.01050055	
t境界値 片側	1.67109303	
P(T<=t) 両側	0.0210011	
t境界値 両側	2.00099538	

1回目-3回目
t検定: 一对の標本による平均の検定ツール

	変数 1	変数 2
平均	109.783333	105.25
分散	118.54548	258.15678
観測数	60	60
ピアソン相関	0.61060358	
仮説平均との差異	0	
自由度	59	
t	2.74986062	
P(T<=t) 片側	0.00395107	
t境界値 片側	1.67109303	
P(T<=t) 両側	0.00790214	
t境界値 両側	2.00099538	

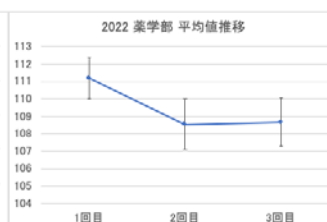
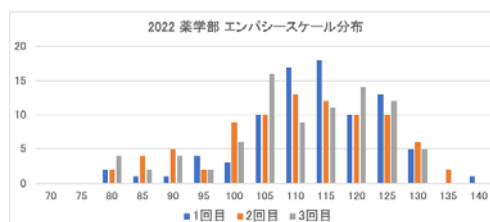


1回目-2回目
t検定: 一对の標本による平均の検定ツール

	変数 1	変数 2
平均	110.820896	109.597015
分散	113.179557	154.304839
観測数	67	67
ピアソン相関	0.60400648	
仮説平均との差異	0	
自由度	66	
t	0.96467351	
P(T<=t) 片側	0.1691149	
t境界値 片側	1.66827051	
P(T<=t) 両側	0.3382298	
t境界値 両側	1.99656442	

1回目-3回目
t検定: 一对の標本による平均の検定ツール

	変数 1	変数 2
平均	110.820896	111.552339
分散	113.179557	172.281321
観測数	67	67
ピアソン相関	0.58740994	
仮説平均との差異	0	
自由度	66	
t	-0.5432861	
P(T<=t) 片側	0.29438155	
t境界値 片側	1.66827051	
P(T<=t) 両側	0.5887631	
t境界値 両側	1.99656442	



1回目-2回目
t検定: 一对の標本による平均の検定ツール

	変数 1	変数 2
平均	111.176471	108.541176
分散	119.932773	179.465546
観測数	85	85
ピアソン相関	0.66399918	
仮説平均との差異	0	
自由度	84	
t	2.37596258	
P(T<=t) 片側	0.00988919	
t境界値 片側	1.65319668	
P(T<=t) 両側	0.01977838	
t境界値 両側	1.98860967	

1回目-3回目
t検定: 一对の標本による平均の検定ツール

	変数 1	変数 2
平均	111.176471	108.658824
分散	119.932773	160.27507
観測数	85	85
ピアソン相関	0.61300403	
仮説平均との差異	0	
自由度	84	
t	2.21083672	
P(T<=t) 片側	0.01488246	
t境界値 片側	1.65319668	
P(T<=t) 両側	0.02976492	
t境界値 両側	1.98860967	

令和5年度事業実績

医学部

開催した部会一覧

カリキュラム専門部会

第1回

開催日時：令和5年6月5日(月)

- 議 事：・カリキュラムツリー・マップについて
- ・アセスメントポリシーについて
 - ・本学の教育理念や使命について
 - ・シラバスのナンバリングについて
 - ・各教科のコンピテンシー到達レベルについて
 - ・単位数一覧表（2年生以降）について
 - ・卒業時と卒後研修終了時の学修成果の比較
 - ・中国語の後任教員（非常勤講師）について
 - ・オープンキャンパスについて
 - ・その他

第2回

開催日時：令和5年9月25日(月)

- 議 事：・医学部の使命（医学部の使命が本学の教育理念と医学部の教育目標の2つであること）について
- ・次年度カリキュラムについて
 - ・その他

第3回

開催日時：令和5年10月24日(火)

- 議 事：・教務学生委員会からの提言について
- ・国際的な活動の内容の記載についての卒業時コンピテンシーの改善
 - ・医学部の使命について
 - ・本学教育理念「人類の健康と福祉」が「国際的な視野」に該当するかの検討
 - ・選択臨床実習においてさらに経験できるようプログラムの作成を検討
 - ・次年度カリキュラムについて
 - ・その他

第4回

開催日時：令和5年12月7日(木) ※メール審議

- 議 事：・1年生のカリキュラムについて

自己評価委員会

開催日時：令和 6 年 3 月 14 日(木)

議 事：・令和 4 年度事業実績報告について

令和5年度第1回

教育研究開発センターカリキュラム専門部会（医学部委員会）

■ 日 時：令和5年6月5日（月） 18：00～

■ 場 所：図書館棟3階・研修室

<<議 題>>

1. カリキュラムツリー・マップについて
【資料1】カリキュラムツリー（案）
2. アセスメントポリシーについて
【資料2】アセスメントポリシー（案）
3. 本学の教育理念や使命について
【資料3】本学の教育理念・使命
4. シラバスのナンバリングについて
【資料4－1】シラバス ナンバリング状況
【資料4－2】シラバス 表示案
5. 各教科のコンピテンシー到達レベルについて
【資料5】コンピテンシー到達レベル
6. 単位数一覧表（2年生以降）について
【資料6】2年生以降の単位数一覧表
7. 卒業時と卒後研修終了時の学修成果の比較
【資料7－1】卒前と卒後の到達目標対応表
【資料7－2】臨床実習の到達目標、方略及び評価
8. 中国語の後任教員（非常勤講師）について
【資料8】非常勤講師 内申書
9. オープンキャンパスについて
【資料9】オープンキャンパス スケジュール（案）
10. その他

令和5年度カリキュラム専門部会委員名簿

敬称略

教育研究開発センター長	村 田 顕 也
教養・医学教育大講座 教授	廣 田 麻 子
教養・医学教育大講座 教授	平 井 秀 一
解剖学第2 教授	森 川 吉 博
生体調節機構研究部 教授	改 正 恒 康
衛生学 教授	藤 吉 朗
内科学第2 教授	北 野 雅 之
脳神経内科学 教授	伊 東 秀 文
皮膚科学 教授	神 人 正 寿
脳神経外科学 教授	中 尾 直 之
産科・婦人科学 教授	井 籠 一 彦
紀北分院総合内科学 教授	廣 西 昌 也
地域医療支援センター長	上 野 雅 巳
教育研究開発センター 助教	森 め ぐ み

学生委員（2年生）	A
学生委員（2年生）	B
学生委員（3年生）	C
学生委員（4年生）	D
学生委員（5年生）	E
学生委員（6年生）	F
学生委員（6年生）	G

令和5年度第1回カリキュラム専門部会（医学部部会） 議事要旨

日時：令和5年6月5日（月） 18：00～

場所：図書館棟3階 研修室

参加者：部会長）村田、教養）平井・廣田、二解）森川、生体調節）改正、衛生学）藤吉、二内）北野、脳内）伊東、脳外）中尾、産婦）井篁、地域医 C）上野、教研 C）森
学生委員 2年生委員、2年生委員、3年生委員、4年生委員、5年生委員、6年生委員
（敬称略・順不同）

資料

- 【資料1】カリキュラムツリー（案）
- 【資料2】アセスメントポリシー（案）
- 【資料3】本学の教育理念・使命
- 【資料4－1】シラバス ナンバリング状況
- 【資料4－2】シラバス 表示案
- 【資料5】コンピテンシー到達レベル
- 【資料6】2年生以降の単位数一覧表
- 【資料7－1】卒前と卒後の到達目標対応表
- 【資料7－2】臨床実習の到達目標、方略及び評価
- 【資料8】非常勤講師 内申書
- 【資料9】オープンキャンパス スケジュール（案）

1. カリキュラムツリーについて

資料1について村田部会長が説明。

→山東大学の箇所を1年生～6年生（夏休み）に修正、CBT・OSCEを追記する。

【学生委員の意見】

・カリキュラム前倒し変更の周知・臨床英語の時期について

4年生委員：今年からCBTが10月に早まったが知らされたのが遅かった。1年前には教えてほしいです。

村田部会長：去年の10月頃はまだカリキュラムが決まっていなかった。

4年生委員：なぜ10月に早くしなければならなかったのですか？

村田部会長：4年生には別途CBT・OSCEの説明会を行います。先に話しますと、今まではOSCEは学内で成績を評価していましたが、これからは公的化により共用試験実施機構で評価されることになりました。いままで再試験は1週間程度で行えていましたが、再試験も機構で評価される

のでその時期を考えると OSCE が前倒しになり 11 月頃になりました。それに伴って、CBT も前倒しになり、CBT は 10 月になりました。他大学も同じような時期で行っていますので、レベル的には他大学に合わせた形です。

4 年生委員：CBT に関係ない臨床英語は CBT 前に入っているが、なぜですか？

村田部会長：関係の有無ではっきり分けたというわけではないので、臨床英語は 4 年生の授業として知っておいてほしいと考えています。コマ数の都合ということもあります。

委員：臨床英語以外にも変化はあり、我々もコマ数が削られたりしているので理解していただきたい。早く知らせてほしいというのは分かります。

村田部会長：臨床英語については意見として大切なので、変えていきたいと思う。

・ CBT と通常の試験勉強について

委員： どんどん試験をしながら CBT の勉強を行うのは大変ですか？

4 年生委員：今は毎週テストがある。とりあえず毎週テストのため勉強しているので CBT 対策の時間がとれません。

村田部会長：コマ数確保のため今年度から試験期間をなくしています。

2. アセスメントポリシーについて

資料 2 について村田部会長が説明。

→特に意見無し。承認。

3. 本学の教育理念や使命について

資料 3 について村田部会長が説明。

村田部会長：国内や国際的な保健医療の観点で、例えば WHO や医系技官については授業で行っているが、コンピテンスには抜けているように思える。そういった観点で教育目標等を見直したが、教育理念では「人類の健康福祉の向上」で触れていて、教育目標では、「国際的に活躍できる人材」と書かれている。保健医療に貢献するいうようなことがコンピテンスには抜けているように感じた。他に意見はありませんか。学生は理念について理解しておいてほしい。

→特に意見なく、教育理念・教育目標・ポリシーについて確認した。

4. シラバスのナンバリングについて

資料 4-1・4-2 について村田部会長が説明。

どういつながりがあるか、到達目標をどう達成しているかを学生に分かりやすく示すため、シラバスにナンバリング・コンピテンシーレベルを記入した。

→特に意見なし。承認。

5. 各教科のコンピテンシー到達レベルについて

資料5について村田部会長が説明。

村田部会長：コンピテンスレベルは学生は見ていて分かりますか？

→6年生委員：読み方は分かるけれど、細かすぎてこんなにいるのかなと思う。

意味は分かります。

委員：他診療科との調和が取れていないところが気になる。全体像を見せていないからだと思う。

→再度、コンピテンシーレベルを各科目に投げ返し、確認してもらう。

6. 単位数一覧表（2年生以降）について

資料6について村田部会長が説明。

→意見無し。承認。

7. 卒業時と卒後研修終了時の学修成果の比較

資料7について村田部会長が説明。

・厚生労働省からの履修してほしい能力について対応表を作った。

村田部会長：到達目標と臨床実習の関連性を記したが、イメージはつきますか？

6年生委員：理解できる。

5年生委員：どういう意味があるのかを知りたい。

村田部会長：臨床実習、卒後教育と中身がどんどん深くなっていく。卒前・卒後・生涯教育と、医学を学ぶことについて終わらずに学びが深くなるということです。

4年生委員：4年生はまだ実習はしていないが、関連付けられているということは理解できる。

8. 中国語の後任教員（非常勤講師）について

※個人情報の為、学生委員は退出

資料8について、委員が説明。

→特に意見なし。6月教授会にて審議の予定。

9. オープンキャンパスについて

資料9について村田部会長が説明。

村田部会長：オープンキャンパスは例年プログラムが変わらずに実施しているが、学生目線で、希望はありますか？高校生の時参加はしましたか？

2年生委員、2年生委員、3年生委員、4年生委員、5年生委員、6年生委員：
参加していない。(〇〇委員は以前在学生体験談として発表側で参加。)推薦入試の学生がメインとなる。一般入試の学生はセンターで決めるため、行かない。

委員：例年、系統解剖実習室の見学を行っていて、昔はアピールポイントになったが、今はそうでもない。興味がないのではないだろうか？

2年生委員：解剖室を見るだけでは興味を感じないと思います。

2年生委員：同じく興味を感じないと思います。

委員：ドクターヘリはどうだろうか？

委員：臨床では限界がある。

委員：危ないということもある。

委員：抜本的に新しいやり方が必要なのではないか。

委員：入試の説明は学生はよく聞いているような印象がある。

→オープンキャンパスプログラムについては引き続き検討中。

令和5年度第2回

教育研究開発センターカリキュラム専門部会（医学部委員会）

■ 日 時：令和5年9月25日（月） 18：30～

■ 場 所：図書館棟3階・会議室

<<議 題>>

1. 医学部の使命（医学部の使命が本学の教育理念と医学部の教育目標の2つであること）について

【資料1－1】教育理念・教育目標

【資料1－2】卒業時コンピテンス一覧表

【資料1－3】医学教育分野別評価 該当部分

2. 次年度カリキュラムについて

【資料2】令和6年度カリキュラム 案

【参考】 令和5年度カリキュラム

3. その他

令和5年度第2回カリキュラム専門部会（医学部部会） 議事要旨

日時：令和5年9月25日（月） 18：30～

場所：図書館棟3階 研修室

参加者：部会長）村田、教養）平井・廣田、二解）森川、生体調節）改正、衛生学）藤吉、二内）北野、皮膚）神人、脳外）中尾、産婦）井篁、地域医C）上野、蒸野（オブザーバー）、

学生委員 2年生委員、2年生委員、（3年生委員代理）、6年生委員 （敬称略・順不同）

資料

【資料1－1】教育理念・教育目標

【資料1－2】卒業時コンピテンス一覧表

【資料1－3】医学教育分野別評価 該当部分

【資料2】令和6年度カリキュラム 案

【参考】令和5年度カリキュラム

1. 医学部の使命（医学部の使命が本学の教育理念と医学部の教育目標の2つであること）について

資料1－1～1－3について村田部会長が説明。

- ・教授会でも申し上げたが、医学部の使命が本学の教育理念と教育目標ということを決めた。以前の中期計画に沿っているので、現在の内容とそぐわない部分がないか、議論したい。
- ・国際的健康、医療の観点は理念から読み取れるか。国際保健は理念・教育目標に書いてはいるが少ないのではないか。国際貢献についてはコンピテンシーの「社会貢献」や「ボランティア活動」のところに該当するのではないか。
- ・委員：入試では志望目的に海外の希望を感じるので大事。教研審で取り扱うのか？
→村田部会長：中期計画策定委員として作っている。意見は反映させるべきだが、先に動いている。今は書き込まないかもしれないが、教育として取り入れることは大切。
→委員：教研審では決まらないのでカリキュラム専門部会やプログラム評価委員会でじっくり案を練ればよいと思う。
- ・委員：B1.3.3「保健医療機関」とは？
→村田部会長：行政の保健所を想定。地域医療は考えられているが、海外についても教育目標と理念でつなげられればと考えている。国際貢献を視野に入れる。結論は急がないが、議論する必要がある。

【学生委員の意見】

- ・使命について感じていることはあるか？

2年生委員1：受験した際には読んだが、入学してからはあまり読まない。

2年生委員2：ケアマインドでしていることは分かるが、理解しているかどうかを考えたことはない。

6年生委員：入学前には意識した。使命に則した授業があれば良いと思う。学生側ではそのための努力はしていない。

→村田部会長：壁に貼っているが、広報不足を感じている。

→委員：改正先生の基礎配属など海外貢献や、今やっているものをアピールするのも良い。

→村田部会長：改正先生、藤吉先生、神人先生等の海外のつながりをどうみせていくか、今後の議論が必要。

→医学部の使命が本学の教育理念と医学部の教育目標であることを委員会として確認した。教育理念と教育目標については内容を議論したが、今後も継続的に行っていくことを確認した。

2. 次年度について

資料2について学生課各学年担当等が説明。

・1年生

- ・4月5日（金）が入学式。月曜日は祝日や振替休日が多いため、前半だと月曜1～5限を6／5・6／6に移動。健康診断は移動予定有り。

- ・夏休みを1週間短縮。

→2年生委員：化学Aと英語Iaを入れ替えたほうがよい。英語IaはTOEFL等履修免除者もいるため、2限がない学生が60人程度いる。

→委員：もともと2限が化学だったが、3限以降が化学実習でずっと続いてしまうため。単位認定で受けない人は例年20人程度。

→2年生委員：50人はこの授業を受けない。

→意見として、可能性を検討する。

・2年生

- ・慰霊祭前に系統解剖実習を開始。

→委員：データサイエンス・ITは2年？

→村田部会長：コアカリとして入れておかなくてはならない。

・3年生

- ・あまり変化なし

→3年生委員：詰めた分はどうなっているのか？

→村田部会長：再試験をなくした。

→3年生委員：5月から毎週テストだった。次年度案をみても詰まっている。テスト

を隔週にするのはどうか。

→村田部会長：仕方ないところがある。再試験の検証も必要。

→委員：多分増えている。勉強できていない。去年よりもタイトな印象を受ける。

→委員：授業中テスト勉強をしていると聞いたことがある。

→委員：実習中にテストを入れるとそうになってしまう。

・ 4 年生

・ 令和 5 年度との増減はない。3 年生に移動させたため、始まる時期が変わった。

・ 健康診断を移動。

→委員：公衆衛生の実習と 3 年生の基礎配属が被っている。

→委員：自分のところでも被っているところはある。

→委員：修正できなくても一応対応はできる。

・ 4 年学生委員からの意見（当日欠席・事前に意見連絡あり）について

村田部会長が解説。

・ 公開は 10 月にしていたが、C B T を早める連絡が遅かったという意見がでた。

・ 出席自体の点数化は文科省の流れがあり難しい。

・ 試験の重さとカリキュラムの組み方として、4 年生の再試験の人数は以前と変わっていない。

→委員：「試験の重さ」について、実際の C B T ・ 国家試験の内容で比率をだせばよいのでは？すぐに出るものではないが、分析して、診療科・基礎などどのくらいのパーセンテージなのかを考えると学生にとってプラスになる。コマ数や教える濃度を合わせるとよい。最先端の授業も必要だが、学生にとっては大切だから、学生への考慮が必要。

→村田部会長：それも考えないといけない。枠の中で考えていく。

・ 5 ・ 6 年生

・ 今回は 3 週間。院外はコロナがあったので 4 月以降にする。今年度と同じ。

→ 6 年生委員：選択ポリクリが 3 週なのは良かった。

また、4 年生で今は詰まっても過去問があればやりやすいのすごく良いことだと思う。

→村田部会長：過去問を知ると出題が難しくなるのではという学生の意見もある。

→ 6 年生委員：わからないものをそのままにするのはもやもやする。結果的により勉強することに繋がる。

・ 委員：以前はコロナで手術室に入れない人もいたが、いまはしっかり回っている。

やりたい科があれば長期的にやらせてあげたい。ただ、自由度が高いので各科の差がでてしまう。

→村田部会長：全科回るのも大事と考えている。

3. その他

- ・第3回、(予備として第4回)を行い、カリキュラム案は12月の教授会に出す。

【追加事項】

- ・メール審議にて、承認多数のため5・6年ポリクリ案を教務学生委員会へ議題として提出することを決定した。

令和5年度第3回

教育研究開発センターカリキュラム専門部会（医学部委員会）

■ 日 時：令和5年10月24日（火） 18：30～

■ 場 所：基礎教育棟1階 非常勤講師控え室

<<議 題>>

1. 教務学生委員会からの提言について

- ・ 国際的な活動の内容の記載についての卒業時コンピテンシーの改善
- ・ 医学部の使命について
 - ・ 本学の教育理念「人類の健康と福祉」が「国際的な視野」に該当するかの検討
- ・ 選択臨床実習においてさらに経験できるようプログラムの作成を検討

2. 次年度カリキュラムについて

3. その他

令和5年度第3回カリキュラム専門部会（医学部部会） 議事要旨

日時：令和5年10月24日（火）18：30～

場所：非常勤講師控え室

参加者：部会長）村田、教養）平井・廣田、二解）森川、生体調節）改正、皮膚）神人、
脳外）中尾、産婦）井篁、教研開 C）森

学生委員 2年生委員、3年生委員、5年生委員、6年生委員 （敬称略・順不同）

資料

【資料】PDCA サイクル表（立ち位置の確認）

【資料1－1】令和5年度第3回教育プログラム評価委員会医学部部会からの提言（令和5年度第6回教務学生委員会での資料提出分）

【資料1－2】医学部の使命（本学の教育理念・医学部の教育目標）・アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー

【資料1－3】卒業時コンピテンス一覧表（「社会貢献」④に案提示）

【資料1－4（参考資料）】令和5年度までの本学中期目標

【資料2】令和5年度6年生・令和4年度5年生が臨床実習時に経験した症候・症例

【資料2－1】令和6年度カリキュラム 案

【資料2－2】令和5年度カリキュラム

1. 教務学生委員会からの提言について

【資料】PDCA サイクル表および【資料1－1～1－3】について村田部会長が説明。

・委員・学生委員に対し、PDCA サイクルにおけるカリキュラム専門部会の立ち位置の確認

村田部会長：【資料】PDCA サイクル表を確認していただきたいが、カリキュラムは授業コマだけではなく、本学の使命や本学の教育方法をどうするのかということも含んでいる。カリキュラムのことは、カリキュラム専門部会が決めるということになり PLAN という位置にある。色々なカリキュラムを策定・改訂するのはこの部会で立案する。立案したものは教務学生委員会へ提言する。教務学生委員会で審議していただき、いったりきたりで意見するかもしれないが、最終的に教授会へ承認いただく。また、教育研究審議会へいく。教務学生委員会の名前の元で行う。案を立てる意味の DO はカリキュラム専門部会だが、実行する責任者は教務学生委員会であり、その名前でカリキュラムは動いている。動いたカリキュラムが実際にう

まくいっているか CHECK が入るところがあり、それが教育プログラム評価委員会である。この委員会は独立した組織になっていて、学生部長が委員長を務めている。プログラム評価委員会ではいろいろなアンケートが出てくるが、IR 部門が精査をする。そのデータを基にして、教育プログラム評価委員会は現行のカリキュラムの問題について教務学生委員会に提言する。本来であれば教務学生委員会の中で出てきた案について実行すれば良いが、教務学生委員会委員の先生方もカリキュラムの細かいことは分からないので、最終的には教授会に問うて下りてくる場合もあるし、教務学生委員会の中で判断をすることもあり、カリキュラム専門部会に提言することになる。それが PDCA サイクルとなる。本学でカリキュラムのコマ数だけではなく全てのことを決めるのがこのカリキュラム専門部会である。学生が入っているのはカリキュラム専門部会、教育プログラム評価委員会。実行の PLAN と CHECK に学生は入っている。教務学生委員会では委員長が参考意見を聞くという形であり、委員長が伊東先生になってからは学生に来て貰っている。教務学生委員会は成績などを取り扱っているため議題により学生に集まっていた。学生はどの委員会も何らかの形で参加している。今日もカリキュラムの全般についてお話をうかがうことになります。

・医学部の使命について

- ・ 本学の教育理念「人類の健康と福祉」が「国際的な視野」に該当するかの検討

村田部会長：医学部の使命について、本学の教育理念と医学部の教育目標の 2 つであることは、9 月 25 日の第 2 回カリキュラム専門部会で確認され、その後教育プログラム評価委員会、教務学生委員会でも妥当との判断となった。しかし、状況の変化やプログラム内容に応じて、見直していく必要があり、教務学生委員会では教育プログラム評価委員会からの提言をもとに国際的な視野の観点から、教育理念、コンピテンシーポリシーの検討していくこととされた。今日カリキュラム専門部会で議論する。

【資料 1－1】は教育プログラム評価委員会で評価された内容でありそれが教務学生委員会にて承認されていることから、教育プログラム評価委員会そのもののデータを示している。

【資料 1－2】では、医学部の 3 つのポリシーのディプロマポリシー 4「国際的視野を有し、地域での医療ができるもの」、アドミ

ッションポリシー4「国際的にも活躍できる医師を育成します。」が記載されている。教育目標教育理念に合致しているか。教育目標には「国際的にも活躍できる人材」と書かれているので、そう読めるという意見がある。教育理念については「人類の健康福祉」という文で国際的という文言がないことが、教育プログラム評価委員会で問題となり、教務学生委員会でも認められ、カリキュラム専門部会で議論を開始して欲しいということになった。教育理念・教育目標が国際的という面で十分に満たしているか。教育理念は3学部でやっていくことになるが、医学部のカリキュラム専門部会でまずは案を作れたらよいと考える。このことについて意見をいただきたい。教育目標からは読み取りれるが、教育理念に対しては読み取れるか。読み取れない場合は少し変えた方がよいのではないかという議論をカリキュラム専門部会で行って欲しいというのが教務学生委員会からの申し送りである。

委員：「人類」は国際的なニュアンスを含んでいる。整合性を取った方が望ましいなら直接的で学生がわかりやすいようにしたらよいと思う。

【学生委員の意見】

6年生委員：教育理念の「人類」は言われたら読めるが、「人類の健康福祉」と言われたときに国際的に活躍できる人材が連想されるかは正直いうと微妙な判定だと思う。

→村田部会長：国境なき医師団、国連、WHO など高校の時点でやりたいという話はある。学生では国際的なことに貢献したいという子はいますか？

→6年生委員：全員ではないが、一定数いる。英語の試験を受ける人もいる。

5年生委員：「人類の健康福祉」という文で研究という面の文言と感ずるので、研究で発表なら国際的で当てはまる。研究なら周りには一定数いる。

3年生委員：英語と言うことなら、英語を話したいという子は周りにはいっぱいいて、海外基礎配属に行く子も周りには多かった。基礎配属以外に自分で方法を見つけて単発で英語を話すために海外へ行く子もいる。

→学生の話より、検討が必要。原案を作りながら検討する。頻繁に変わるわけにはいけないため時間をかけて議論していく方針について承認された。

- ・選択制臨床実習においてさらに経験できるようプログラムの作成の検討
- 村田部会長：【資料2】について、5年・6年が経験した症候・症例である。
コアカリキュラムでは37、38症例の経験をするように言われている。年代で症例に差がある。
- 委員： グラフを見るに卒業までに件数を沢山見れていると思った。
- 村田部会長：平均27症候である。それをさらによくして行くにはどうすればよいかというのは今後の議論となる。

【学生の意見】

- 6年生委員：レポートを書いたことについて当てはまるのか、オペを見学して当てはまるのかが基準があいまいだった。6年生でまとめてアンケートしたので曖昧という部分もある。5年でアンケートをとって6年生の選択実習前にこのアンケートを見ていれば、6年で症候を考えながら科を選択できる子が増えたのではないかと思う。
- 村田部会長：症候を自分で記録し、考えるためにポートフォリオを渡しているが、記載していますか？
- 5年生委員：少し（ぐらいいとどまる）。
- 村田部会長：どうやったら書いてくれるのかというところも問題である。
このグラフを見てどう感じますか？年度による違いはありますか？
- 5年生委員：自分は順番的に内科を回れていないので主要な症候が見れていないが、5年生の経験した症候を見て、6年生の科を選択できたほうがよいように感じる。5年始めに回る科と後半で回る科は印象が違うのでそれで偏りがでているようにも思う。
- 村田部会長：6年生の選択制臨床実習を選ぶ時期にはまだ全科回れていないというところがあり、なかなか難しいが、5年生の段階でデータの集約が必要であることは分かった。
- 抜本的な変更を行うことになるため、臨床ワーキンググループを開催することも含めて継続審議とする。

- ・国際的な活動の内容の記載についての卒業時コンピテンシーの改善
- 村田部会長：コンピテンスの中に社会貢献があるが、国際的観点が抜けている。
仮として④としてコンピテンスを入れたがどうか。
- 委員： コンピテンスに数の制限はないので、学生の興味・知識を盛り込んだらよいと思う。（コンピテンスに入れることは）国際交流センターとしてもありがたい。

- 委員： コンピテンスに入れることはよいと考えるが、理念や目標について入れてしまうと、地域に限定される学生がいる。例えば WHO。能力を有するということで入れるのはよいが、地域枠の子は現実と矛盾することになってしまう。理念は「人類の健康福祉」という文面で大きくしておくほうがよいのではないか。
- 委員： 研究や学会発表も国際的な視野を持った貢献と言える。ただ理論武装は学生に対して必要になる。
- 委員： 研究は国際的貢献。今回学生からいただいた意見だと、学生は英語を学ぶことが国際的であると考えている様子が見受けられた。しかし、英語を学ぶことが国際的ということではなく、英語は単なるツールである。国際的に活躍できることと、英語が喋れることは意味が違ってくるように感じる。国際的に貢献できることとはどういうことかの定義が必要なのではないか。

→「国際的」とはどういうことかの定義も含め、継続審議とする。

2. 次年度カリキュラムについて

【資料 2－1・2－2】よりについて学生課学年担当が説明。

- ・ 1 年生（説明者：学生課）
 - ・ 4 月 23 日は健康診断。健康管理センターは外注に健康診断用の資料を作ってもらっているが、名簿の決定は 3 月の最後になるため、去年までは無理矢理外注にやってもらっていた。今回は健康管理センターから少なくとも（名簿提出から）3 週間空けるよう強い要望があり、健康診断を遅い日程にすることで対応することになった。
 - ・ 5 月 7 日からケアマインドをスタート。保健看護学部・薬学とも了承済み。月曜の休日が多いので水・木に振替。大講座会議で議論した。
 - ・ 体育は非常勤講師のため月曜 2 コマ連続にした。6 月 5 日・6 月 6 日連続の月曜授業を避け、6 月 5 日・6 月 13 日にした。6 月 6 日はガイダンスのため問題は無い。

→村田部会長：休みが押されていることが気になるが学則的に大丈夫か。

【学生の意見】

2 年生委員：夏休みについて、予備日を詰めると夏休みを延ばせるのではないか。

→予備日を詰めて夏休みを延ばせるか、学則に抵触しないかを確認する。

- ・ 2 年生（説明者：学生課）
 - ・ 健康診断は 4 月 26 日に移動。
 - ・ 慰霊祭前の系統解剖実習の日程を慰霊祭後に戻した。
 - ・ 令和 5 年のカリキュラムで「細胞の構造と機能」の本試験の週に講義内試験が 2 つあり週に 3 日・試験が 3 回ということになってしまった。来年度は試験日を前もって確

認し、試験が重なることがないようにした。

- ・講義日程を学生の負担を減らすために講義数を減らせないかという話があったが、担当教員から基礎医学英語はコマ数を減らしてもよいと伺っているのこれからご相談させていただきたい。

【学生の意見の反映】

- ・事前に2年生学生委員より試験日の重なりが指摘されていたので、対応。

→委員からは特に意見無く、提出案で実施を検討する。

・3年生（説明者：学生課）

- ・学生の意見では微生物学実習の日程の時に試験があつて準備ができず負担が大きかったという意見をいただいていたので微生物学実習の週に試験を入れないように調整した。そのために前期の基礎配属を削減し、微生物学実習と試験の周辺に講義予備日を加えて学生の負担が軽くなるようにした。試験の日程では、薬理学実習を微生物学実習の後にするか前にするか2案あるので、学生の意見を聞きたい。「生態と病害動物」については講義の最後の試験に変えることもできる旨改正先生より伺っているので、第2案では薬理の試験に変えている。また、案1と案2では夏休みの時期が変わっている。
- ・人権講義の日程を前に詰めた。
- ・2年生学生委員から、「3月19日の卒業式後に3年生の講義が入っているのでなくせないか（卒業生と卒業式閉会後のやりとりができない）」という意見をいただいている。対象となる法医学と調整中である。講義内の試験とすると他科目と2日連続の試験となるため空きコマに移動できないか法医学担当教員に相談する。

【学生の意見】

3年生委員：実習中に2科目勉強するのは余裕がなかった。案2で「生体と薬物」を先に終わらせたほうがよい。

→委員：新設の科目であったキャリア形成とはどういう講義でしたか？

→村田部会長：自分の将来をイメージするため、海外等先生の経験者に伺う形式。女性医師のキャリアについても行いましたよね？

→3年生委員：はい。

→委員：新設の科目であった地域マインドについてはどういう講義でしたか？

→村田部会長：地域医療支援センターが中心となり、県民卒地域卒の学生をマストとして各学年同じ日に実施した。地域医療を分かってもらう授業。ケアマインドでも地域医療は行っているが、全学年揃ってということは今まで行っていなかった。

→3年生委員：1回目は地域卒の先生の話聞いた。2回目は夏に行った病院実習の報告で同じ病院同士4学年が集まりスライドを作り発表した。

→案2で実施するよう検討。薬理学の先生と調整を進める。

・4年生（説明者：学生課）

- ・夏休みまでに予備コマが11コマがあったが、予備コマをなくすように当てはめて夏休みの始まりを1週早くした。7月17日から開始。夏休み明けは8月19日から開始。
- ・学生の意見ではCBTの準備期間を長くにとって欲しいという意見があったため、予備コマを詰めてCBT準備期間が8日間から12日間として、長くとれるようにした。
- ・OSCEの規程より本試験・再試験間を3週間あけなければならない為、12月2日・3日と4日・5日を入れ替えた。
- ・学生の意見では、病理診断の講義・試験がCBTの直前であることが負担であるという意見があったが、病理診断の授業が全ての講義を終えてからになるため移動させることが難しく、このことについては調整できていない。

【学生からの意見】

5年生委員：CBTの準備期間がちゃんととられているので、今年と比べるとすごい良いと思う。

→村田部会長：OSCEは公的化となった。今までOSCEの本学の合格点は60点であったが、全国平均は80～95点で明らかに低かった。それはCBTとOSCEを近い期間で行っていたからと考えられ、また、機構とのやりとりの時間を含めて前倒しした。今年はCBTでは6人落ちたが、OSCEの試験は終わったが結果はまだである。この前倒しについてのいきさつについて、特に3年生の学生委員は理解しておいて欲しい。

学生からの意見でCBTをいつするかということがあった。大学によっては夏休み明けに行っているところもある。今年度のカリキュラム変更でCBT・OSCEの時期は全国平均に近づいた。夏休み明けに行うことも手段のひとつだが、そうするとともに前倒ししなくてはならない。CBTを夏休み明けにすると、夏休みがCBT勉強で潰れてしまうこともあるので今回はこの方法でカリキュラムを組んでいる旨、学生委員にはお伝えしておきたい。

→とくに意見なしのため、本案を承認。

→次の日程は11月22日であるが、1年以外は今年のカリキュラムはこの方針で行う。1年生は別途検討し、他学年と関わりの無い範囲であるならばメール審議も検討する。

3. その他

村田部会長：臨床実習をどういう風な実習をしていくのか根本的な話をしたい。できるなら来年に間に合わせたいが、臨床の先生に集まっていただき、ワーキンググループを開催する可能性もある。6年生の選択実習を学生で選べるようにするには、5年生のスタートの段階で学生に周知しなければならない。

→臨床のワーキンググループの開催は11月中旬以後になるため、後日検討する。

・令和7年度の基礎配属について

委員： 系統解剖学実習が24コマ被っている。他教員も被らないようにという意見もある。エアコンをつける方向で考えているので、基礎配属と系統解剖実習が重ならないようにしてほしい。全ての実習をまず先に入れて、空いたところに講義を配置してほしい。

→検討できるかどうかは現在の状況では不明のため、今後の継続審議とする。

令和5年度第4回カリキュラム専門部会

令和5年12月7日 メール審議

議題：カリキュラム専門部会 1年生のカリキュラムについて

異議が無いため承認。

医学教育分野別評価

医学教育分野別評価ワーキンググループ

医学教育分野別評価ワーキンググループ

領域 1：使命と教育効果

領域 2：教育プログラム

領域 3：学生評価

領域 4：学生

領域 5：教員

領域 6：教育資源

領域 7：プログラム評価

領域 8：統括及び管理運営

領域 9：継続的改良

第 1 回

開催日時：令和 5 年 4 月 13 日(木)（領域 1・2・4・5・6・7・8）

※別途領域別に実施

4 月 17 日（月）：領域 1・9

4 月 18 日（火）：領域 3・4・6・8

4 月 24 日（月）：領域 2

4 月 26 日（水）：領域 5

4 月 27 日（木）：領域 9

議 事：・自己点検評価書作成について
・その他

第 2 回

開催日時：令和 5 年 5 月 17 日(水)

※別途領域別に実施

5 月 17 日（水）17:30～：領域 2

5 月 18 日（木）16:30～：領域 9

5 月 18 日（木）18:00～：領域 1

5 月 22 日（月）18:00～：領域 6

議 事：・各領域毎の内容の統一化
・各領域毎の根拠資料の策定
・その他

領域別打合せ

開催日時：令和 5 年 10 月 16 日（月）17:30～：領域 6

令和 5 年 10 月 16 日（月）18:30～：領域 9

令和 5 年 10 月 19 日（木）18:30～：領域 1

令和 5 年 10 月 23 日（月）17:30～：領域 7

令和 5 年 10 月 23 日（月）18:30～：領域 4

令和 5 年 10 月 26 日（木）17:30～：領域 3

令和 5 年 10 月 26 日（木）18:30～：領域 8

令和 5 年 10 月 30 日（月）17:30～：領域 5

令和 5 年 10 月 30 日（月）18:30～：領域 2

領域別打合せ（分野別評価に関する講演）

開催日時：令和 5 年 10 月 25 日（水） ※オンライン開催

領域別打合せ（実地調査前最終打合せ）

開催日時：令和 5 年 11 月 7 日（火）15:00～：領域 3

令和 5 年 11 月 7 日（火）16:00～：領域 2

令和 5 年 11 月 7 日（火）17:00～：領域 1

令和 5 年 11 月 7 日（火）18:00～：領域 5

令和 5 年 11 月 8 日（水）10:00～：領域 2

令和 5 年 11 月 8 日（水）16:00～：領域 4

令和 5 年 11 月 8 日（水）17:30～：領域 9

令和 5 年 11 月 9 日（木）17:00～：領域 8

令和 5 年 11 月 9 日（木）17:30～：領域 6

令和 5 年 11 月 9 日（木）18:00～：領域 7

令和5年度 医学教育分野別評価ワーキンググループ委員一覧

R5 医学教育分野別評価ワーキンググループ 委員(グループ長:伊東秀文 医学部長 コーディネーター:教育研究開発センター 村田顕也、森 めぐみ) ※リーダーは色付きセル 敬称略												
領域	所属	職名	氏名	所属	職名	氏名	所属	職名	氏名	所属	職名	氏名
1 使命と教育成果	教養・医学教育大講座	教授	神谷 隆一	麻酔科学講座	教授	川股 知之						
2 教育プログラム	生体調節機構研究部	教授	改正 恒康	衛生学講座	教授	藤吉 朗	皮膚科学講座	教授	神人 正寿	内科学第4講座	教授	田中 篤
3 学生評価	人体病理学講座	教授	村田 晋一	整形外科科学講座	教授	山田 宏	教育研究開発センター	准教授	谷本 貴志			
4 学生	学生部長	教授	中田 正範	内科学第1講座	教授	松岡 孝昭						
5 教員	法医学講座	教授	近藤 稔和	腎臓内科学講座	教授	荒木 信一						
6 教育資源	分子遺伝学講座	教授	井上 徳光	紀北分院	教授	岡田 由香						
7 プログラム評価	生化学講座	教授	井原 義人	生理学第2講座	教授	中田 正範	血液内科学講座	教授	園木 孝志	教育研究開発センター	准教授	谷本 貴志
8 統轄および管理運営	小児科学講座	教授	徳原 大介	事務局	局長	谷口 善郎						
9 継続的改良	内科学第3講座	教授	山本 信之	神経精神医学講座	教授	紀本 創兵						

令和5年度第1回医学教育分野別評価ワーキンググループ

日時：令和5年4月13日（木）18：00～
場所：基礎教育棟3階 講義室2

1 議 題

(1)医学教育分野別評価自己点検表の作成について

資料1：ワーキンググループメンバーの領域別担当者一覧
資料2 分野別ワーキングGW資料
資料3：医学教育分野別評価基準日本版V2.34
資料4：10.1 2巡目自己点検報告書フォーマット(WG用)
資料5：10.2 医学教育分野別評価進捗状況
資料6：10.3 新規根拠資料要請リスト(WG用)
資料7：10.4 報告書作成時の疑問点(WG用)
資料8：10.5 分野別評価Teamsマニュアル
資料9：配付資料リスト（根拠資料）

(2)その他

2 そ の 他

令和5年度 第1回 医学教育分野別評価ワーキンググループ 議事要旨

日時：令和5年5月17日（水）18：30～

場所：基礎教育棟 3階 講義室2

参加者：グループ長）伊東、コーディネータ）村田（顕也）、森

領域1：教養）神谷、領域2：生体）改正、衛生）藤吉、循環器）田中、領域4：二生）中田（領域7と兼任）、領域5：腎内）荒木、領域6：分子遺伝）井上、領域7：生化学）井原、血内）園木、四内）谷本、領域8：事務局）谷口

（他委員は別日にて同内容を説明

4月17日（月）17：30～ 場所：基礎教育棟3階 ゼミ室1・2 領域1：麻酔）川股、領域9：精神）紀本、

4月18日（火）17：30～ 場所：基礎教育棟3階 ゼミ室1・2 領域3：病理）村田（晋一）、整形）山田、領域4：1内）松岡、領域6：紀北）岡田、領域8：小児）徳原

4月24日（月）11：00～場所：基礎教育棟3階 ゼミ室1・2 領域2：皮膚）神人

4月26日（水）10：00～場所：基礎教育棟3階 ゼミ室1・2 領域5：法医）近藤

4月27日（木）10：00～場所：基礎教育棟3階 ゼミ室1・2 領域9：3内）山本

教研開C）中津川

学生課）笹、大谷、平松、川口（記）

（敬称略・順不同）

議題

1、自己点検評価書作成について

2、その他

・次回開催日時について

資料

・会議次第

資料1:ワーキンググループメンバーの領域別担当者一覧

資料2分野別ワーキングGW資料

資料3:医学教育分野別評価基準日本版V2.34

資料4:10.1 2巡目自己点検報告書フォーマット(WG用)

資料5:10.2 医学教育分野別評価進捗状況

資料6:10.3 新規根拠資料要請リスト (WG用)

資料7:10.4 報告書作成時の疑問点 (WG用))

資料8:10.5 分野別評価Teamsマニュアル

資料9:配付資料リスト (根拠資料)

(1) 自己点検評価書作成について

村田顕也教授より自己点検評価書を各領域ごとに作成していただくことについて説明があった。各領域内で担当を決める。また、学生課川口よりTeams内資料の参照方法、教育研究開発センター中津川学長特命助教より、Teamsの使用方法についての説明があった。

→領域別のチャンネルを作成し、そこで評価書記入を行う。締切は5月15日（月）。

(2) 次回開催日時について

5月15日以降に再度集まり、内容を確認することとする。

令和5年度第2回医学教育分野別評価ワーキンググループ

日時：令和5年5月17日（水）18：30～

場所：基礎教育棟3階 講義室2

1 議 題

(1) 各領域毎の内容の統一化

資料1 WG名簿

資料2 執筆者名簿

(2) 各領域毎の根拠資料の策定

資料3 各領域 自己点検評価書

資料4 資料目次

(3) その他

令和5年度 第2回 医学教育分野別評価ワーキンググループ 議事要旨

日時：令和5年5月17日（水） 18：30～19：00

場所：基礎教育棟 3階 講義室2

参加者：グループ長）伊東、コーディネータ）村田（顕也）、森

領域3：病理）村田（晋一）、整形）山田、領域4：二生）中田（領域7と兼任）、一内）松岡、領域5：腎内）荒木、法医）近藤、領域7：生化学）井原、血内）園木、四内）谷本、領域8：小児）徳原、事務局）谷口、

（他委員は別日にて同内容を実施

・令和5年5月17日（水） 17：30～ 場所：基礎教育棟 3階 ゼミ室

1・2

領域2：生体）改正、衛生）藤吉、循環器）田中、皮膚）神人

・令和5年5月18日（木） 16：30～ 場所：基礎教育棟 3階 ゼミ室

1・2

領域9：3内）山本、領域9：精神）紀本

・令和5年5月18日（木） 18：00～ 場所：基礎教育棟 3階 ゼミ室

1・2

領域1：麻酔）川股、教養）神谷

・令和5年5月22日（月） 18：00～場所：基礎教育棟 3階 ゼミ室1・

2

領域6：分子遺伝）井上、紀北）岡田 ）

教研開C）中津川

学生課）笹、大谷、平松、川口（記）

（敬称略・順不同）

議題

1、各領域毎の内容の統一化

2、各領域毎の根拠資料の策定

・これからの予定について

資料

・会議次第

資料1 WG名簿

資料2 執筆者名簿

資料3 各領域 自己点検評価書

資料4 資料目次 等

(1)各領域毎の内容の統一化

村田顕也教授が説明を行い、各領域別に Teams にて作成したものが提出原稿に記載されているかの確認をおこなった。

(2)各領域毎の根拠資料の策定

原稿内根拠資料記入欄に根拠資料を記載するため、各領域別に必要な根拠資料について話しあい、原稿を修正した。

(3)その他 これからの予定について

村田顕也教授から説明があった。

各領域の自己点検評価書についての記入はこれで終了し、教育研究開発センターで修正する。6月の終わり頃に原案を作り、各領域にお渡しするのでもう一度チェックいただきたい。

11月14～17日に対面調査が行われる。そのうち、15日・16日に各領域の質疑応答が行われる予定である。(領域1：40分程度 領域2：2時間程度 領域3：1時間30分程度 領域4：1時間程度 領域5：40分程度 領域6：1時間程度 領域7：1時間30分程度 領域8、9：まとめて1時間程度) 総括・追加説明のプレゼンは5分以内。スケジュールはまだ決まっておらず、15日に領域1～4、16日に領域5～9を行うことを予定しているが、施設見学など先方との都合や講義等の内部の調整が入るため目安としてスケジュールを空けておいてくださるようお願いします。今後は対面調査の対策の練習のため、11月のはじめあたりに各領域毎に集まっていただく予定。

令和5年度第3回医学教育分野別評価ワーキンググループ

日時：令和5年8月29日（火） 17：30～

場所：図書館棟3階 研修室

1 議 題

(1) 自己点検評価書について

(2) 今後のスケジュールについて

資料1 分野別評価全体スケジュール

資料2 本番スケジュール

資料3 参加者名簿

資料4 面談内容

資料5 学内見学内容

(3) その他

和歌山県立医科大学 実地調査スケジュール

11月11日現在

	1日目 11月14日(火)	2日目 11月15日(水)	3日目 11月16日(木)	4日目 11月17日(金)
8:00		宿泊施設から移動	宿泊施設から移動	
		8:30～8:57 27分 【評価員会議】 場所 管理棟 2階C会議室 移動 3分	8:30～8:57 27分 【評価員会議】 場所 管理棟 2階C会議室 移動 3分	宿泊施設から移動
9:00		9:00～9:40 40分 領域別検討会議 【領域1 使命と学修成果】 場所 管理棟2階特別会議室 移動・休憩 10分	9:00～9:40 40分 領域別検討会議 【領域5 教員】 場所 管理棟2階特別会議室 休憩 10分	9:00～13:00 4時間 【評価員会議】・昼食 場所 管理棟 2階C会議室
10:00		9:50～11:50 2時間 領域別検討会議 【領域2 教育プログラム】 場所 管理棟2階特別会議室	9:50～10:50 1時間 領域別検討会議 【領域6 教育資源】 場所 管理棟2階特別会議室 休憩 10分	
11:00			11:00～12:30 1時間30分 領域別検討会議 【領域7 プログラム評価】 場所 管理棟2階特別会議室	
12:00		11:50～12:30 40分 昼食・休憩 移動・休憩 15分	12:30～13:20 50分 昼食・休憩・移動	
13:00		12:45～13:15 30分 【見学:臨床実習】内科系病棟・外科系病棟・外来 循環器内科(病棟) 麻酔科(病棟) 脳神経内科(外来) 移動・休憩 15分	13:20～13:50 30分 【見学:研究室配属】 分子遺伝学講座研究室 法医学講座研究室 休憩 10分	
14:00	13:00～14:57 1時間57分 【評価員会議】 場所 管理棟 2階C会議室 移動 3分	13:30～15:00 1時間30分 領域別検討会議 【領域3 学生の評価】 場所 管理棟2階特別会議室	14:00～15:00 1時間 領域別検討会議 【領域8 統轄及び管理運営】 【領域9 継続的改良】 場所 管理棟2階特別会議室	13:00～13:30 30分 【講評・閉会式】 場所 管理棟2階特別会議室
15:00	15:00～15:30 30分 【開会式、全体説明】 場所 管理棟2階特別会議室 移動 15分 15:45～15:55 10分 【見学:施設】見学先 OSCE研修室 卒後臨床研修センター スキルスラボ 他 移動 10分	15:05～16:05 1時間 領域別検討会議 【領域4 学生】 場所 管理棟2階特別会議室	移動・休憩 15分 15:15～16:15 1時間 【面談:学生】 1、2年 基礎教育棟3階 ゼミ室1 3、4年 基礎教育棟3階 ゼミ室5 5、6年 基礎教育棟3階 ゼミ室7	13:30～16:00 3時間30分 【評価員会議】 場所 管理棟 2階C会議室
16:00	16:05～16:25 20分 【見学:講義】1学年・ケアマインド講義	移動・休憩 15分 16:20～17:00 40分 【面談:研修医・教員】 研修医 基礎教育棟3階 ゼミ室5 教員・基礎 基礎教育棟3階 ゼミ室1 臨床 基礎教育棟3階 ゼミ室7	宿泊施設へ移動 16:20～	16:00 評価員解散予定
17:00	宿泊施設へ移動 16:40～	宿泊施設へ移動 17:05～		
18:00	【評価員会議】 宿泊施設 会議室	【評価員会議】 宿泊施設 会議室	【評価員会議】 宿泊施設 会議室	
19:00				

見学先一覧

施設	OSCE研修室(高度医療人育成センター4階)	卒後臨床研修センター(高度医療人育成センター3階)	スキルスラボ(高度医療人育成センター2階)
講義	基礎教育棟3階ゼミ室1・2、4、5、6		
研究室配属	分子遺伝学講座研究室 (研究棟2階)	法医学講座研究室 (研究棟8階)	

和歌山県立医科大学医学部医学科 医学教育分野別評価

開会式・全体説明 次第

日 時 2023 年 11 月 14 日（火） 15：00～

場 所 管理棟 2階 特別会議室

司会：福田 道代（事務局学生課 課長）

1. 開 式

2. 挨拶 日本医学教育評価機構 主査
評価員紹介

3. 挨拶 医学部長 伊東 秀文
大学側主要参加者紹介

4. 全体説明 説明者 村田 顕也
(教育研究開発センター長)

5. 閉 式

和歌山県立医科大学医学部医学科 医学教育分野別評価

講評・閉会式 次第

日 時 2023 年 11 月 17 日（金） 13：00～

場 所 管理棟 2階 特別会議室

司会：福田 道代（事務局学生課 課長）

1. 開 式
2. 講 評 日本医学教育評価機構
3. 挨拶 学長 宮下 和久
4. 閉 式



全体説明

和歌山県立医科大学 医学部

内外合一 活物窮理

外科を行うには、内科、すなわち患者さんの全身状態を詳しく診察して、十分に把握した上で治療すべきである。

治療の対象は生きた人間であり、それぞれが異なる特質を持っている。そのため、人を治療するのであれば、人体についての基本理論を熟知した上で、深く観察して患者自身やその病の特質を究めなければならない。



曼陀羅華(チョウセンアサガオ)



本学の校章

文化元年（1804年）旧暦10月13日麻酔薬「通仙散（つうせんさん）」を完成し世界初の全身麻酔下の乳ガン摘出手術に成功。



医聖 華岡青洲（1760～1835年）

医学部の使命（B.1.1.1）

本学の教育理念	医学部の教育目標
和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。	医学部教育においては、幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成することを目標とする。

全学組織と医学部委員会

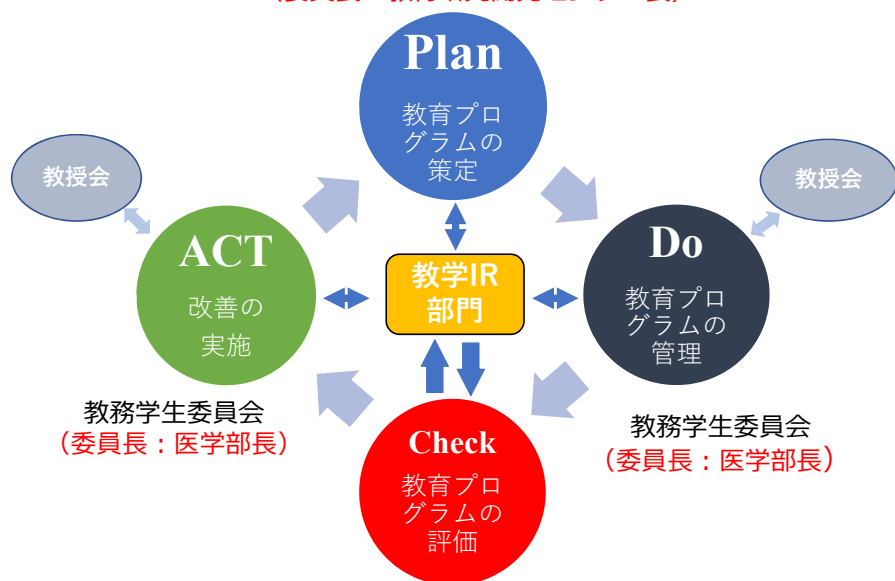
全学組織	規程	医学部	規程
カリキュラム専門部会	資料B.6.5.1_08	カリキュラム専門部会 医学部委員会	資料B.1.2.1_02
学生部委員会	必須 16	(医学部) 教務学生委員会	資料B.2.1.3_04
教育プログラム評価委員会	資料B.1.4.1_03	教育プログラム評価委員会 医学部部会	資料B.3.1.4._05
FD部会	資料B.6.5.1_08	FD部会 医学部委員会	資料B.1.2.1_04

医学部の教育に関する委員会

	カリキュラム専門部会 (医学部委員会)	教務学生委員会	教育プログラム評価委員会 (医学部部会)
部会長/ 委員長	教育研究開発センター長	医学部長	学生部長
教員 (部会長/委員長 含む)	教 養 : 2名 基礎医学 : 3名 臨床医学 : 8名	教 養 : 2名 基礎医学 : 5名 臨床医学 : 8名	教 養 : 2名 基礎医学 : 2名 臨床医学 : 6名
学生代表	自治会、学年代表 2年 : 2名 3年 : 1名 4年 : 1名 5年 : 1名 6年 : 2名	オブザーバー参加 教育プログラム評価委員会学生委員 カリキュラム専門部会学生委員	自治会学生 3年 : 1名 4年 : 2名 5年 : 1名
職員		学生課長	
外部委員			他大学教員 : 2名 (非医学含む) 県医師会 : 1名 患者団体 : 1名 県庁技監 : 1名
根拠資料	資料B.1.2.1_02	資料B.2.1.3_04	資料 B.3.1.4_05

医学部のPDCA

カリキュラム専門部会 医学部委員会
(委員長：教育研究開発センター長)



教育プログラム評価委員会 医学部部会
(外部評価委員含む) (部会長：学生部長)

	規程	報告書 資料
Plan 審議と 立案	- C及び実施体制に関する事 - Cの編成、改善、開発に関する事 - C全般に関する事	B.1.4.1_01
Do 審議と 実行	Cに関する事	Q.8.1.2_01
Check 審議と 提言	- Pの自己点検・評価の実施 - Pの検証	B.9.0.1_06
Act 審議と指示・ 改善の実施	- Cに関する事 - その他	Q.8.1.2_01

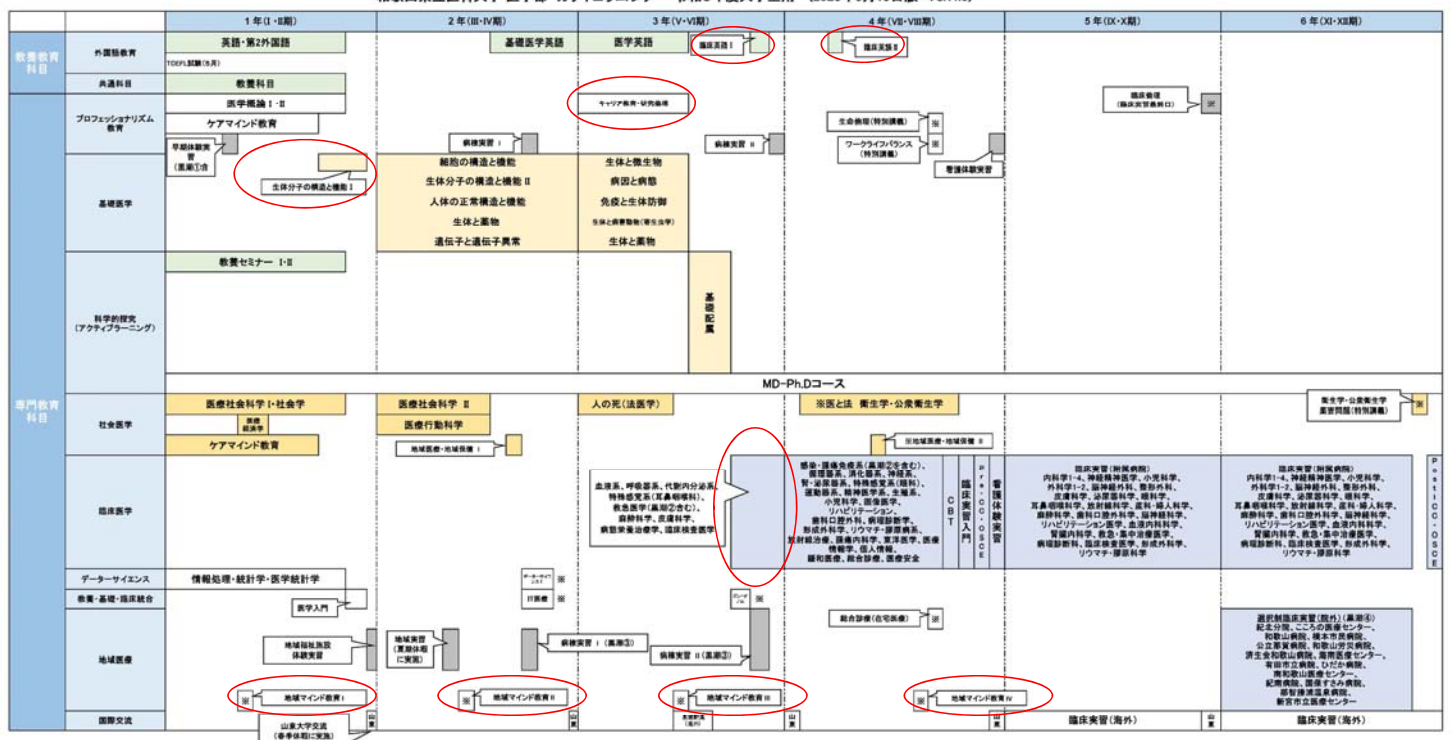
C:カリキュラム P:医学教育プログラムなど

令和4年度に検討 したカリキュラム項目 (B.7.1.2)

R4年度第3回教育プログラム評価 委員会医学部部会 (R4.9.9.)	令和4年度第7回教務学生委員会 (R4.9.15.)	R4年度第1-4回までのカリキュラム専門部会 (R4.6.28,R4.9.27,R4.10.17,R4.11.22)	令和4年度第11回教務学生委員会 (R4.12.13)	結果
Check (審議と提言)	Action (審議と指示、改善の実施)	Plan (審議と立案)	Do (審議と実行)	
教務学生委員会への提言 (資料3) 1) コンピテンシーの改訂①-③ 2) カリキュラムの改訂 ● CBT,Pre-CC OSCEの前倒しに伴う進級判定の同期化 ● キャリア形成の講義の新設 3) その他 ● GPA制度を踏まえて進級判定基準の明確化 ● 試験問題の開示 ● 成績の開示	1) コンピテンシーの変更を承認 2) カリキュラム改訂の承認 3) その他の承認 上記1)-3)に基づきカリキュラムを作成する様にカリキュラム専門部会に指示	1) コンピテンシーの改訂 ● ○○できるように表現の改訂 ● コンピテンスレベル評価を3段階(1-3)から5段階(A-F)へ変更 2) 令和5年度カリキュラムの作成 ● CBT,Pre-CC OSCEの前倒しに伴い、1-4年の講義コマを平均7%削減し、1年生に基礎医学、3年生に臨床医学の講義を開始。 ● 進級判定時期の同期化 ● キャリア教育(3年)、地域マインドI-IV(1-4年)の新設 など 3) その他 ● 評点60点を合格基準とする ● 試験問題の持ち帰り許可	カリキュラム専門部会案を承認 → 12月教授会で承認	実施 (令和5年度カリキュラムに反映された。)
議事録: 必須 35 提言: 資料B.7.4.1_06	第7回教務学生委員会決定事項 (資料 Q.8.1.2_03)	教務学生委員会の提言に基づき審議 (必須 36)	カリキュラム専門部会案を承認 (資料 Q.8.1.2_03)	実施

報告書 B.9.0.2 308-309ページを表にしました。

和歌山県立医科大学 医学部 カリキュラムツリー 令和5年度入学学生 (2023年6月19日版 Ver.4.0)



黒潮医療人養成プロジェクト(黒潮)は、①アクティブラーニングコース(地域総合医療コース) ②アクティブラーニングコース(災害・救急、感染コース)③体験実習④長期滞在型クリニカルクラークシップから構成されている。

地域医療特・県民医療特学生を主対象とし、一般特学生も選択可能とする

※:5コマ以下の講義

本学の特徴的なカリキュラム (B.2.1.1)

	学年	講義名	
プロフェッショナリズム教育	1年	ケアマインド教育（早期体験実習含む） 医学概論II 医学入門（地域福祉体験実習を含む）	P-01-16-L P-01-44-L P-02-04-L
	2年	地域実習（子供園、障害者施設） 病棟実習 I（黒潮体験実習）	M-02-06-T M-02-07-T
	3年	病棟実習 II（黒潮体験実習）	M-03-09-T
	4年	生命倫理、ワークライフバランス 看護体験実習 臨床実習入門（臨床倫理含む）	特別講義 M-04-30-T
	6年	臨床倫理（グループワーク発表）（資料B.2.4.3_04）	
キャリア教育	3年	キャリア形成	P-03-01-L
地域マインド	1年	地域マインド I	M-01-02-L
	2年	地域マインド II	M-02-12-L
	3年	地域マインド III	M-03-21-L
	4年	地域マインド IV	M-04-31-L

基礎配属（3年） (B.2.2.2)

		参考資料
配属先	基礎講座：12 先端医学研究所：2 実験施設：1 臨床：1（人体病理学）	B.1.1.2_04 （教育要項）
配属方法	学生は、第1－3希望提出（重複した場合は成績順）	
配属期間	夏休み前4コマ。夏休み後8週間（1-5限毎日） （夏休みから海外への実習は可能）	
評価方法	簡易型研究能力評価（mini-REX） 教養・基礎医学実習評価表	資料 B.7.3.1_02 資料 B.7.1.4_09
成果報告	● 報告会（2年生参加。教員と学生が内容の評価） （コロナの為令和2年から中止。） ● 報告書：現在はHP公開（以前は冊子体）	

平成28年2月から令和5年2月までのMD-Ph.Dコース修学認定者39人中12人が大学院に進学した。
そのうち3人は、進学した大学院と関連する教室を基礎配属として選択していた。

（領域6 追加事項 13 追加資料 B6.4.2_01）

臨床実習 (B.2.5.4)

令和5年度 組分け&実習表(令和5年2月6日～令和6年2月2日)

	2	W	周	期
	週			数
	氏 名			
A				
B				
C				
D				
E				
F				
G				
H				
I				
J				
K				
L				
M				
N				
O				
P				
Q				
R				
S				
T				
U				
V				
	4	W	周	期

[illegible]

期間	5年生：44週（院内） 6年生：18週（選択制）	報告書 88ページ
対象診療科	5年生：27診療科 6年生：院内：27診療科 院外：54診療科 （15臨床実習協力病院）	報告書 88ページ
経験症候数	5年生：22.3症候/1学生 6年生：15.0症候/1学生	報告書 197ページ 追加資料 B.6.2.1_01
経験症例数	5年生：61.1症例/1学生 6年生：38.3症例/1学生	報告書 197ページ 追加資料 B.6.2.1_02

(資料 B.2.5.1_02(臨床實習要項) 再掲)

B.2.5.2 B.6.2.1
臨床実習で1人の学生が経験する症候と疾患

1人の学生が経験した症候数：22.3（5年） 15.0（6年）

1人の学生が経験した症例数：61.1（5年） 38.3（6年）

- ・教育プログラム評価委員会が令和5年の選択制臨床実習終了時に、6年生に自分が5, 6年で経験した症例・症候（主治医とは限らない）について調査しました。

(追加資料 B.6.2.1_01 B.6.2.1_02)

- この結果は、第3回教育プログラム評価委員会医学部部会（令和5年10月24日）で検討しました。

(領域1 提示要求資料03 B.1.4.1_03)

- 第3回カリキュラム専門部会（医学部委員会）では、『5年生での経験例をもとに選択制臨床実習での診療科を選択したい』との学生意見もあり、臨床WGで検討することになった。

(領域1 提示要求資料03 B.1.4.1_04)

卒業時コンピテンシー一覧表

コンピテンシー	コンピテンシー
1 基盤的資質	①問題解決型能力を身につけている。 ②情報技術を有し活用できる。 ③外国語を理解し、活用できる。 ④社会人としての一般教養を有している。
2 医師としての基本的資質	①医師としての倫理観を有している。 ②チーム医療を理解し、多職種とコミュニケーションが取れる。 ③自己啓発ができる。
3 コミュニケーション能力	①良好な人間関係が構築できる。 ②他者への思いやりを有する。 ③他者との情報交換ができる。
4 医学的知識	①細胞の構造と機能を理解し、説明できる。 ②人体の構造と機能を理解し、説明できる。 ③人体の発達、成長、加齢、死について理解し、説明できる。 ④疾病の機序と病態について理解し、説明できる。 ⑤検査・画像診断技術についての基本的な知識を有し、談話できる。 ⑥基本的診察方法の知識を有し、実践できる。 ⑦疾病の診断・治療方法についての知識を有し、応用できる。 ⑧EBMを理解し、利用できる。 ⑨生物統計を利用でき、疫学的手法を理解できる。 ⑩医療行動や医療経済についての実践できる基礎知識を有する。 ⑪法令、研究倫理について理解し、実践・活用できる能力を有する。

B.3.2.1

コンピテンシー到達レベル表（R5年改定）

B.3.2.1

R4年までのレベル設定
R5年度からレベル(到達度)

	レベル 3 Advanced	レベル 2 Applied	レベル 1 Basic	レベル 1 Basic		
	A	B	C	D	E	F
1. 基盤的資質	高度医療人としての態度、技能を現場で実践できることが単位認定の要件である	高度医療人としての態度、技能を模擬的に示せることが単位認定の要件である	基盤となる態度、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
2. 医師としての基本的資質	高度医療人としての態度、技能を現場で実践できることが単位認定の要件である	高度医療人としての態度、技能を模擬的に示せることが単位認定の要件である	基盤となる態度、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	習得する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
3. コミュニケーション能力	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
4. 医学的知識	実践の場で問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である	模擬的な問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
5. 医学の実践	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療できることが単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
6. 医学的(科学的)探求	実践できることが単位認定の要件である	研究計画の立案、研究の見学、参加が単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
7. 社会貢献	実践できることが単位認定の要件である	模擬的に実践できることが単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない

R4年までのレベル

レベル3：

研究現場・臨床現場で実践できる

レベル2：

応用できる知識を有する・模擬患者で実践できる

レベル1：

基盤となる知識・態度・技能がある。

(資料 B.1.3.1_05再掲)

[illegible]

(医学概論)

醫學概論 I

B.3.2.1

P-01-43-1

オーガナイザー

教育研究開発センター	教授	村田	順也
地域医療支援センター	教授	上野	雅巳
教育研究開発センター	講師	佐々木	洋子

教授	村田	顯也
教授	上野	巳子
講師	佐々木	洋子

I 授業の目的

医学國1では、世帯の中心に集約する居住と地域生活・文化とに関連する考察で著者の医師の役割を論じている。本学では、1年の夏休みに黒石町で早期臨床体験実習（Early exposure）（E）を行っている。Eでは、医師などの医療関係者のみならず、患者さんから直接医師の現状を学ぶことが多い。そのため、本書で取り扱う医師の現状と現実に基づいて事例を書く。また地域住民を観察し、患者の文化や行動様式を取り扱うエスノグラフィの手続きを実践する。Eでは、単に単一の医師と接触するだけでなく、これらの臨床手法ともにと患者と社会の観点からとらえる態度を得られる。さらに、和歌山医科大学の役割を再確認し、地域社会および国際社会で活躍するための医師の人間性育成を目指す。

II 到達目標

1. 和歌山県の歴史・文化が概説できる。
2. 和歌山県の農史・産業・食文化との関連について概説ができる。
3. 和歌山県の各医療圏の現状と課題が概説できる。
4. 和歌山県の医療の現場を知る事ができる。
5. エスグラフィター（行動観察）手法について理解し実践できる。
6. 参与観察の手法を実践できる。
7. 本県の災害医療と救急医療について概説することができる。
8. 本学の歴史・伝統について概説できる。
9. 本学の現状と課題について概説できる。
10. 本学の研究について概説できる。
11. 黒潮医療人養成プロジェクトが概説できる。

III 教育内容

上記の内容を本学教員および外部講師によるオムニバス形式で行う。

IV 学習および教育方法

講義を中心とし、事例検討やグループワーク演習も取り入れる。

V 評価の方法

各課題のレポート（30％）と授業態度（30％）、グループワークの発表内容（40％）により評価する。

序号	课程名称	学时	学分	开课学期	备注
1	大学英语	160	10	1-4	
2	高等数学	128	8	1-2	
3	大学物理	128	8	1-2	
4	大学化学	128	8	1-2	
5	大学计算机	64	4	1-2	
6	大学体育	64	4	1-4	
7	大学音乐	64	4	1-4	
8	大学美术	64	4	1-4	
9	大学心理	64	4	1-4	
10	大学历史	64	4	1-4	
11	大学地理	64	4	1-4	
12	大学政治	64	4	1-4	
13	大学法律	64	4	1-4	
14	大学经济	64	4	1-4	
15	大学管理	64	4	1-4	
16	大学教育	64	4	1-4	
17	大学文学	64	4	1-4	
18	大学艺术	64	4	1-4	
19	大学哲学	64	4	1-4	
20	大学宗教	64	4	1-4	
21	大学伦理	64	4	1-4	
22	大学逻辑	64	4	1-4	
23	大学科学	64	4	1-4	
24	大学技术	64	4	1-4	
25	大学工程	64	4	1-4	
26	大学医学	64	4	1-4	
27	大学农业	64	4	1-4	
28	大学林业	64	4	1-4	
29	大学牧业	64	4	1-4	
30	大学渔业	64	4	1-4	
31	大学工业	64	4	1-4	
32	大学商业	64	4	1-4	
33	大学服务业	64	4	1-4	
34	大学公共事业	64	4	1-4	
35	大学其他	64	4	1-4	

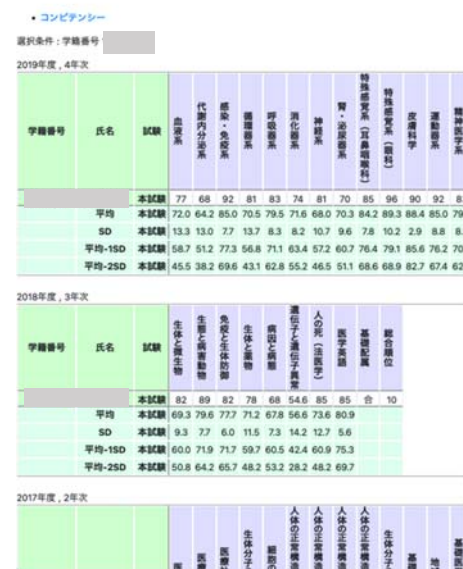
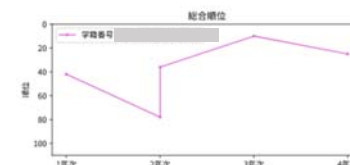
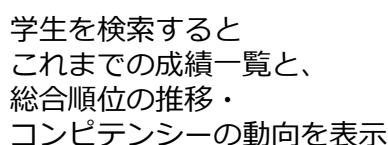
(資料 B.1.1.2 04 再掲)

コンピテンシー到達率
(B.3.2.1, B.7.1.3_01)

領域7 質問事項 6

実施主体	教育研究開発センター（令和3年度まで）
対象学生	1-4年生
算出方法	各コンピテンシーを構成している教科の試験成績の平均値をコンピテンシー到達率と定義し、学年毎に算出する。
結果	教育研究開発センターで、学生の成績のデータベースを作成し、1人の学生の成績を経時的に検討することが可能となった。 コンピテンシー到達率は、単に試験成績（得点率）を反映しているに過ぎず、解析を中止した。

B.3.2.1



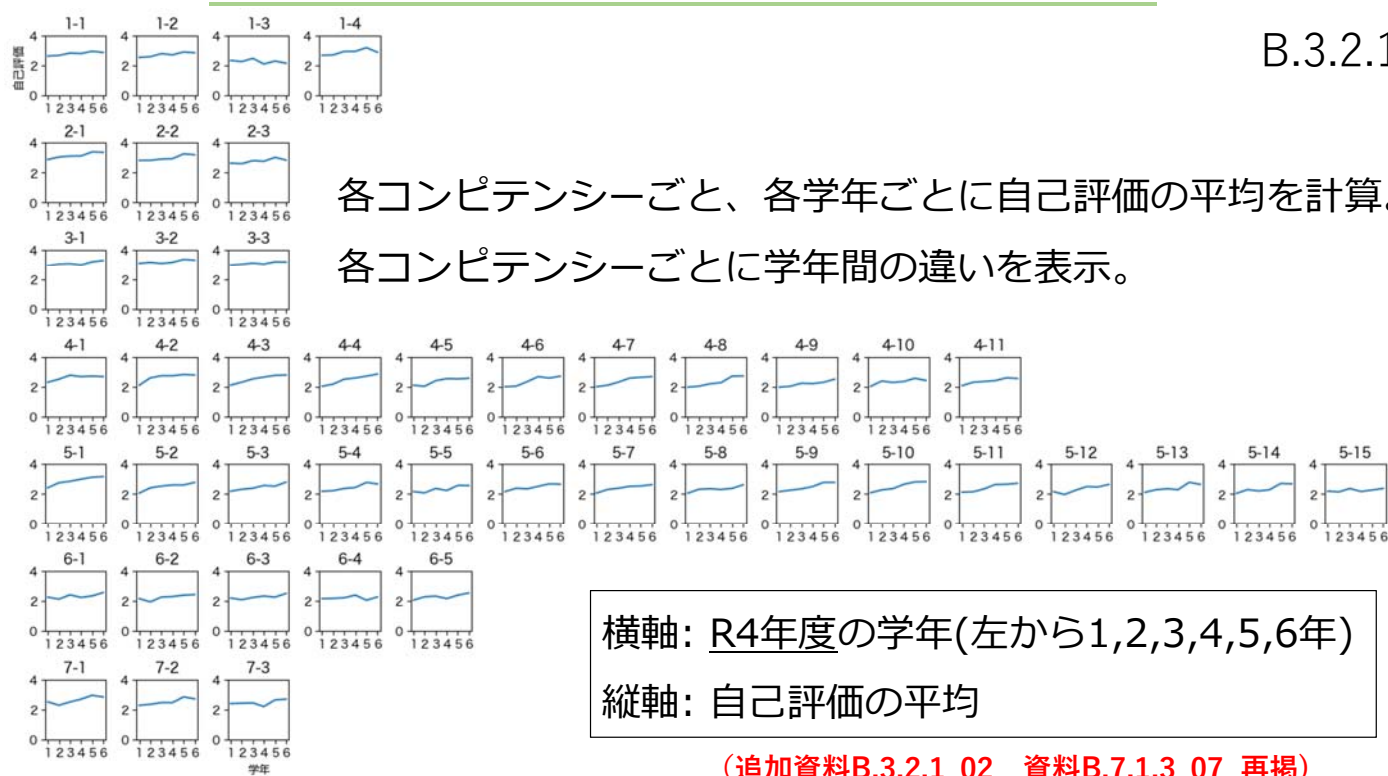
(資料 B.7.1.3 01 再掲)

領域7 質問事項 6

実施主体	教育プログラム評価委員会（令和4年度から）
学生による自己評価	1-6年生
教員による学生評価	3年生（基礎配属学生を担当教室の教員が評価） 5年生（臨床実習最終週に配属された学生を担当診療科の教員が評価）
実施方法	Microsoft Forms
結果	学生の自己評価 ● コンピテンシー到達度の各項目の平均点は学年を経る毎に上昇する。 ● 平均値が変化しない項目：3-③ 他者との情報交換 1－③外国語を理解し活用できる 教員評価と学生の自己評価の関係 ● 「5.医学の実践」や「6.医学の探究」は、3年生の自己評価は教員による同一学生の評価より低いが、5年生では学生と教員の評価は同じになる。

各コンピテンシーにおける学生の自己評価の学年間の違い（資料B.7.1.3_07）

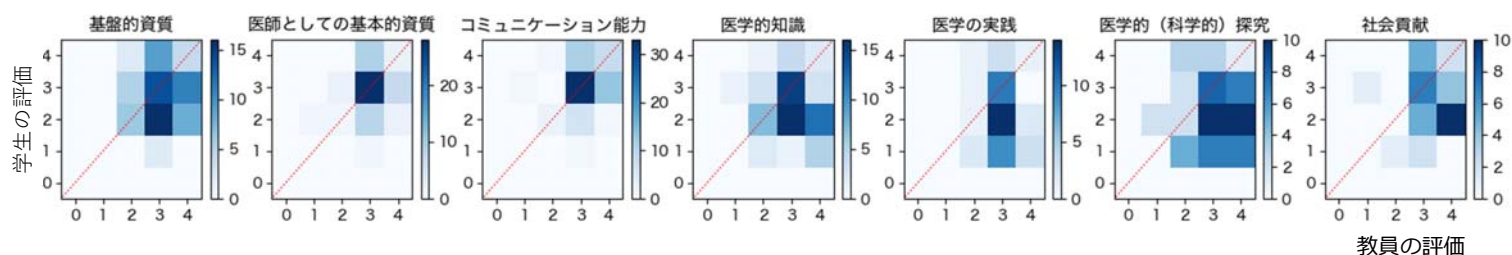
B.3.2.1



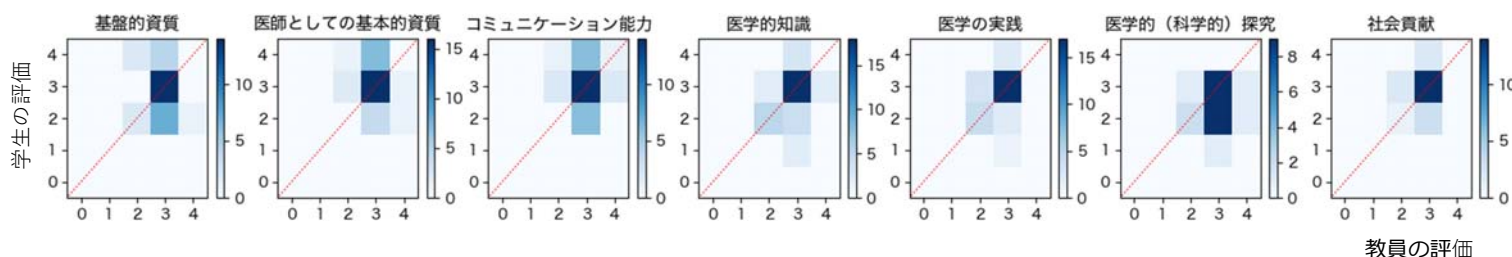
Microsoft Formsを用いたコンピテンシーの評価（資料B.7.1.3_07）

基礎配属

B.3.2.1



臨床実習



(追加資料B.3.2.1_02 資料B.7.1.3_07 再掲)

共通実習評価表（技能・態度評価） （B.3.1.2）

基礎配属 （3年生）	簡易型研究能力評価（mini-REX）	資料 B.7.3.1_02
	教養・基礎医学実習評価表（アウトカムベース）（*）	資料 B.7.1.4_09
臨床実習 （5-6年生）	Mini-CEX（令和3年まで）	資料 Q.3.1.2_01
	臨床実習評価表（アウトカムベース）（令和4年から）（*）	資料 B.3.1.2_03
	臨床実習ポートフォリオ	資料 B.7.3.1_04

（*） 本学の卒業時コンピテンス、コンピテンシーに準拠して作成

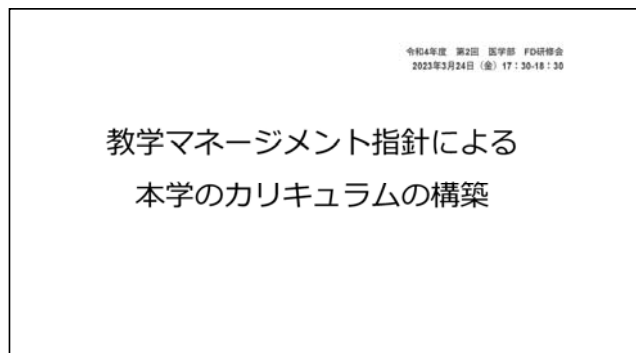
教育研究開発センター IR レポート

和歌山県立医科大学
教育研究開発センター IR部門

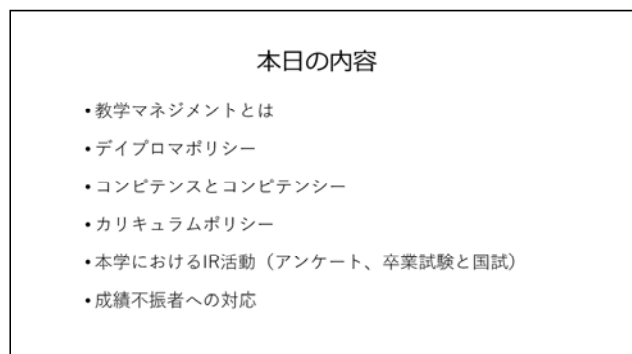
本日配付しています。

教員からの教育関連のフィードバック(B.7.2.1)

- ・令和5年3月、4月に教員対象に下記のFDを実施。
- ・FD終了後に、次ページの1)-8)のアンケートを実施しました。



(資料 Q.7.1.4.1_03 再掲)



(資料 Q.7.1.4.1_03 再掲)

和歌山県立医科大学 中期計画(平成30年度から令和5年度)

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(追加資料 Q.8.2.1_01)

> 取組方針

「医療系総合大学」として医・薬・看護の3学部体制による高度医療人の育成、今後の社会情勢の変化に対応した質の高い人材の育成

近年、医療の多様化・複合化や高齢化の急速な進展、健康に対する社会的ニーズの高まりにより、あらゆる状況で医療人の活躍が求められています。

本学では、令和3年4月に薬学部を開設し、医・薬・看護の3学部体制となる中、「医療系総合大学」としての特長を活かし、今後の社会情勢の変化に対応した高度で専門的かつ総合的な人材を育成していきます。 **医学部の使命に一致**

医学部では、アウトカム基盤型教育を通じ、豊かな人間性と高邁な倫理観に富み、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を備え、地域医療と国際社会に貢献できる人材を育成します。薬学部では、医療人としての総合的な知識、技能、態度を備えた指導的役割を果たす薬剤師及び薬学の専門的知識を活かし医学と連携した研究を行う薬剤師を育成します。

保健看護学部では、看護職の活躍の場が、医療機関だけでなく地域へと広がる中、高度で専門的な教育の質を保障しつつ、社会の多様な変化に対応でき、かつ指導的役割を果たすことができる人材を育成します。

また、大学院では、研究能力の養成や支援を行うとともに、高度な専門的知識や技術を活かし、学内外に貢献できる医療人及び地域医療における指導的人材を育成します。

助産学専攻科では、助産師として必要な知識・技能・態度を有し、安全で質の高い助産ケアを通して、母子のライフステージにおける健康の保持増進に貢献できる人材を育成します。

そのほか、よりよい教育環境を提供するため、図書館においては、3キャンパスそれぞれの特徴を活かし、学内外に貢献できる学術情報基盤としての医療系総合大学図書館を構築します。また、学生への支援として、学習に対するモチベーションと学習効果を高めるため、組織的なサポートを充実させ、多様な学生のニーズに応じた効果的な学習支援及び生活支援体制を構築します。

<学部教育>

ア【倫理等のマインド教育】

カリキュラムポリシーに則り、他学部との多職種連携教育、ケアマインド教育及び早期からの参加型実習を通して、社会人として必要な教養を涵養し、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力及びケアマインドを育成する。

イ【専門知識・技術の教授】

総合的・専門的な知識及び技術を備え、それらを有効に活用できる高度医療人の育成を図る。

医学部では、国際基準を満たす教育を実践するとともに、地域医療を担う意欲・使命感をもった医学研究者や医療人を育成し、本県の医療ニーズに応える。

ウ【カリキュラム】

ディプロマポリシーに合致した医療人を輩出するため、モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育に加え、多方面で活躍できる質の高い医療人を養成するための独自のカリキュラムを構築する。

エ【成績評価】

厳正かつ公正な成績評価を行うため、教員の共通認識を持たせる研修等を実施する。

オ【国家試験】

新卒者の国家試験合格者を向上させるため、学習支援を充実させるほか、医学部において、学生に対する卒業試験後の個別支援を行うとともに、卒業試験問題の検証・改善を図り、全国上位の合格率を目指す。

カ【多職種連携教育】

チーム医療を円滑に行う能力を育成するため、3学部の共通講義、準備教育、実習における臨床参加型チーム医療など、多職種連携教育の充実を図る。

キ【実習】

医療人として求められる総合的な能力を育成するため、学内外の実習教育体制を整備するとともに、早期から地域医療に対する関心と理解を深めるため、地域実習を実施する。

医学部においては、卒前・卒後を有機的に結合した診療参加型臨床実習を実施する。

令和4年度における業務実績報告 (Q.8.2.1)

(追加資料 Q.8.2.1_02)

(1) 教育の内容及び成果に関する目標を達成するための措置

中期計画 (総括評価の場合：中期目標)		年度計画 (総括評価の場合：中期計画)	年度計画の実施状況 (総括評価の場合：中期計画の達成状況)	自己 評価	委員会 評価	備考
共通						
イ	【専門知識・技術の教授】 総合的・専門的な知識及び技術を備え、それらを有効に活用できる高度医療人の育成を図る。 医学部では、国際基準を満たす教育を実施するとともに、地域医療を担う意欲・使命感をもった医学研究者や医療人を育成し、本県の医療ニーズに応える。	a 1年次では教養セミナー（FBL形式）、4年次では臨床FBLと講義をハイブリッド形式で行い、臨床実習中においては、問題解決能力をつけるため、学生カルテの記載の充実を図る。3年次の基礎配属実習及び6年次の選択実習については、学外、海外の施設から選択を可能にする。 また、地域医療の現状を理	1年次の教養セミナーでは、教養科目と関連した内容について能動的な教育を体験し、その後の修学方法の基礎が養われた。 4年次の臨床FBLでは、症例について疾患の診断の手順や考え方を学ぶとともに、疾患の理解から臨床推論に至る過程を体験し、臨床実習への準備教育となるとともに、臨床実習中に問題解決能力をつけるため、学生カルテの記載の直接指導を行った。 基礎配属実習については、3年ぶりに海外施設での実習を再開し5名が参加した。選択制臨床実習については、海外施設への実習を中止したが、学外施設への実習についてはコロナ禍以前と同程度に行った。	III	III	III:年度計画を達成している。
ウ	【カリキュラム】 ディプロマポリシーに合致した医療人を輩出するため、モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育に加え、多方面で活躍できる質の高い医療人を養成するための独自のカリキュラムを構築する。	a ディプロマポリシーの検証を行うため、医学教育モデル・コア・コンピテンシーでのコンピテンシーと本学の卒業時コンピテンシーの整合性について検証し、本学独自のカリキュラムの構築を検討する。（医学部） b 令和2年度改訂済みの新カリキュラムにおける学生の目標到達度を検証する。（保健看護学部） c 医学部や保健看護学部と連携した講義を行い、ディプロマポリシーに合致した医療人の育成に努める。（薬学部）	医学部で実施しているすべての講義について医学教育モデル・コア・カリキュラムのどの項目に該当するのかを各オーガナイザーに対して調査し、医学教育モデル・コア・コンピテンシーでのコンピテンシーと本学の卒業時コンピテンシーの整合性について検証し、カリキュラム構築の検討を進めた。その結果、令和5年度からの新カリキュラムでは、①地域マインド教育I-IV（地域枠、県民医療枠の1-4年生を対象）②データサイエンス③IT医療④臨床英語⑤ガンゲノム⑥キャリア教育⑦研究倫理⑧臨床英語を開講する。 上記に加え、令和5年度のカリキュラムについて、共用試	III	III	
			験（OSCE及びCBT）公的化への対応や教育カリキュラム評価委員会等の提言を踏まえた改善を実施するため、各学年の講義を前倒しにした新しいカリキュラムを策定した。 検証の結果を踏まえ、カリキュラムの見直しを再度行った。 令和4年度からシラバスに各科目の到達目標を明記することとした。	III	III	
			医学部、保健看護学部との合同講義であるケア・マインド教育を設定し、医療人の他職種連携について学び、高い倫理観を持った薬剤師を養成するという薬学部のディプロマポリシーに合致した教育を行った。	III	III	

学生の進歩 (B.7.1.3)

知識	各種試験	学科試験、実習成績、共用試験CBT、OSCE 卒業試験、国家試験	
態度	コンピテンシー到達度評価 (教育プログラム評価委員会)	自己評価（1-6年生） 客観評価 3年（基礎配属時） 5年（臨床実習終了時）	資料 B.7.1.3_07
技能	基礎配属（3年）	簡易型研究能力評価（mini-REX） 教養・基礎医学実習評価表 (アウトカムベース)	資料 B.7.3.1_02 資料 B.7.1.4_09
	臨床実習（5-6年）	Mini-CEX 臨床実習評価表（アウトカムベース） 臨床実習ポートフォリオ 臨床実習各科独自評価	資料 Q.3.1.2_01 資料 B.3.1.2_03 資料 B.7.3.1_04 資料 B.7.3.1_05

令和3年までは、コンピテンシー到達率を算出し、全学年データベース化していました。（資料B.7.1.3_01）

課題の特定と対応 (B.7.1.4)

第1回教育プログラム評価委員会 (令和5年4月24日)	教務学生委員会	教授会
教養・基礎医学を学修する意義が伝わっていない。 (6年生アンケート資料 B.7.1.4_01) (教務学生委員会への提言事項 B.7.1.4_03)	● 教育要項に教育の目標と到達目標を記載しているので、教員から再度シラバスの説明を講義の中で行う。(第1回 令和5年5月15日) (必須34)	
医学的探究心のコンピテンス到達度の自己評価が低い(3年次) (資料B.7.1.4_02) (教務学生委員会への提言事項 B.7.1.4_03)	● 教養・基礎医学実習評価表(アウトカムベース)を策定し、令和5年の基礎配属で試験運用する。 (第1回 令和5年5月15日) (必須34)	6月教授会で審議後承認 (資料 Q.8.1.3_07)
学期末試験の成績と問題の開示	● 試験問題開示(試験問題の持ち帰り許可) ➢ 令和5年7月からマークシート形式の試験は正答と解説を試験終了後に開示、記述式はキーワードを開示(1-4年、卒業試験) (第2回 令和5年6月13日) (必須34)	6月教授会で審議後承認 (資料 Q.8.1.3_07)

(新規作成スライド 報告書250-3ページをまとめた)

課題の特定と対応 (B.7.1.4)

第3回教育プログラム評価委員会 (令和5年10月12日)	第6回教務学生委員会 (令和5年10月16日)	第3回カリキュラム専門部会 (令和5年10月24日)
医学部の3ポリシーには、『国際的な視野』の文言がある。 ①本学の教育理念の『人類の健康と福祉』がこれに該当するか ②卒業時コンピテンシーに該当する部分があるか	①本学の理念についてはカリキュラム専門部会で議論する。 ②「卒業時コンピテンシーの『社会貢献』に国際的視野を意味する項目を追加する。」ことをカリキュラム専門部会に指示した。	①原案を作りながら継続的に検討し、3学部で調整する。 ②コンピテンシーを策定する。
現6年生の調査で、臨床実習でコアカリの37症候の半数以上は経験できている。	選択制臨床実習のあり方をカリキュラム専門部会で議論する。	臨床ワーキンググループを設置して議論する。
追加資料B.1.4.1_06	追加資料B. 1.4.1_07	追加資料B. 1.4.1_08

(領域1 質問事項 1, 3の解説)

医学部の使命・卒業時コンピテンス策定 (改訂) に関係した委員会 (領域 1 質問事項 2, 4のまとめ)

日時	会議名	教職員	外部委員	学生委員	資料
令和5年4月24日	第1回教育プログラム評価委員会 (医学部部会)	7名	2名	4名 (5年 : 1名, 4年 : 2名, 3年 : 1名)	追加資料 B.1.4.1_02
令和5年5月15日	第1回教務学生委員会	14名	0名	4名 (5年 : 1名、4年 : 2名、2年 : 1名) (オブザーバー参加)	追加資料 B.1.4.1_03
令和5年10月12日	第3回教育プログラム評価委員会 (医学部部会)	5名	4名	2名 (5年 : 1名、3年1名)	追加資料 B.1.4.1_06
令和5年10月16日	第6回教務学生委員会	14名	0名	0名	追加資料 B.1.4.1_07
令和5年10月24日	第3回カリキュラム専門部会 (医学部委員会)	9名	0名	4名 (6年 : 1名、5年 : 1名、3年 : 1名、2年 : 1名)	追加資料 B.1.4.1_08

医学教育分野別評価 実地調査（令和5年11月14日から11月17日）



開催したFD 一覧

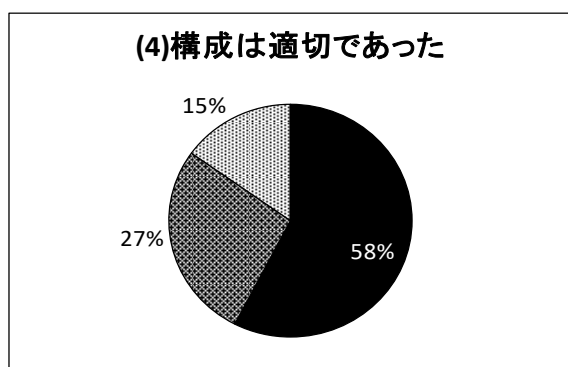
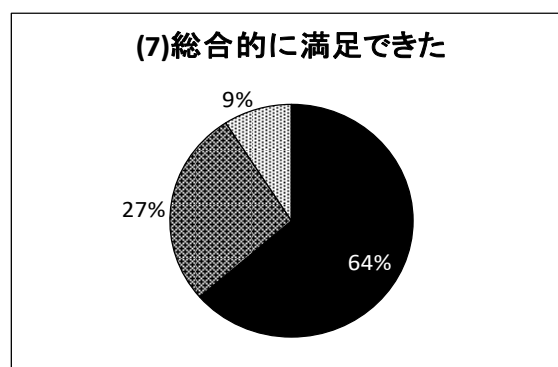
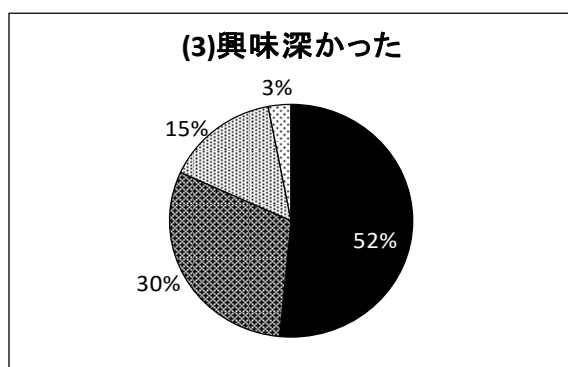
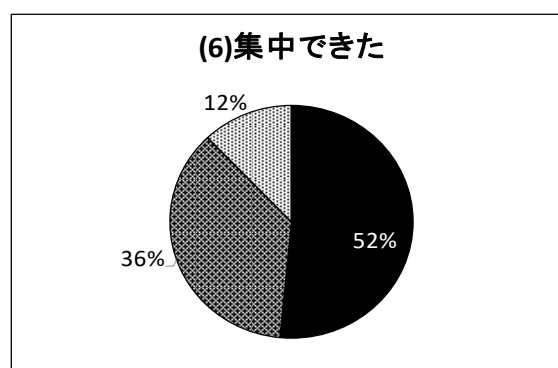
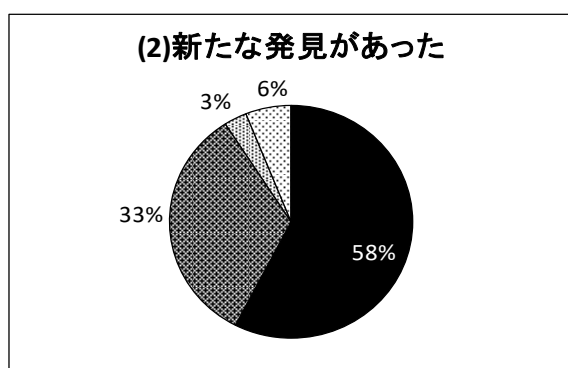
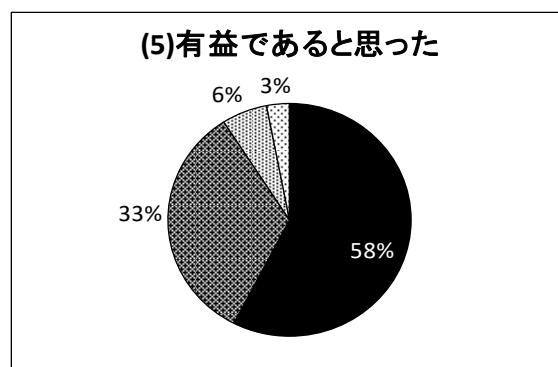
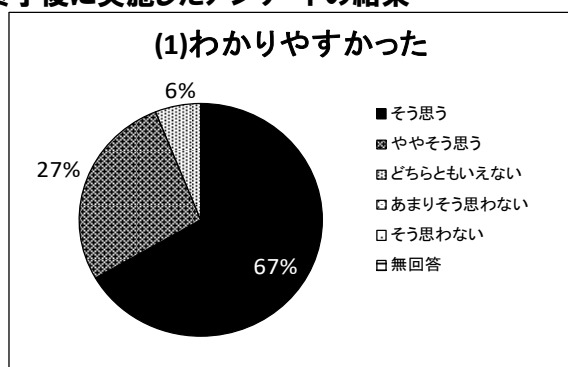
開催日時：令和5年4月26日(水)

演 題：教学マネジメント指針による本学のカリキュラムの構築

講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 先生

参加者数：教員 32 名 学生 1 名

FD 終了後に実施したアンケートの結果



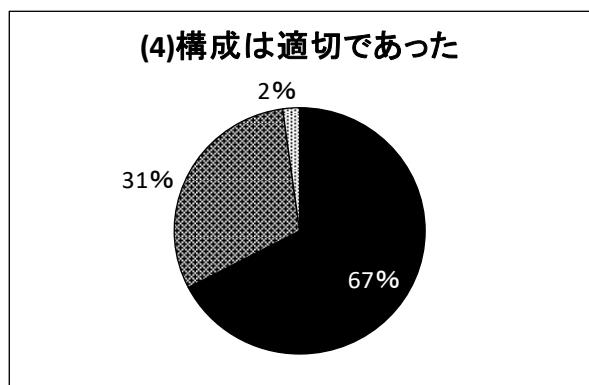
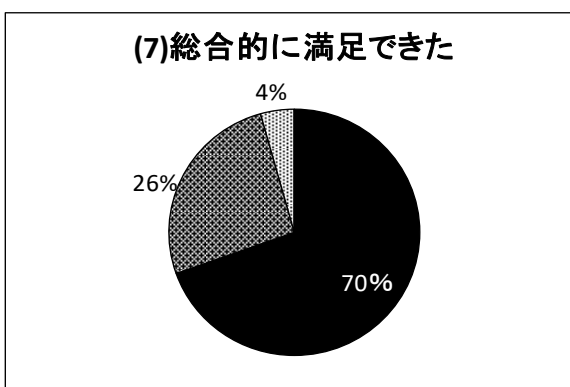
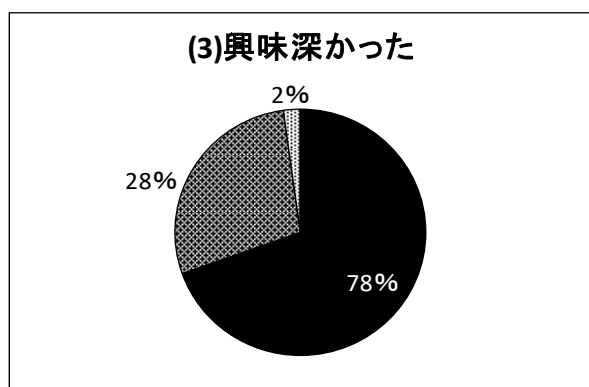
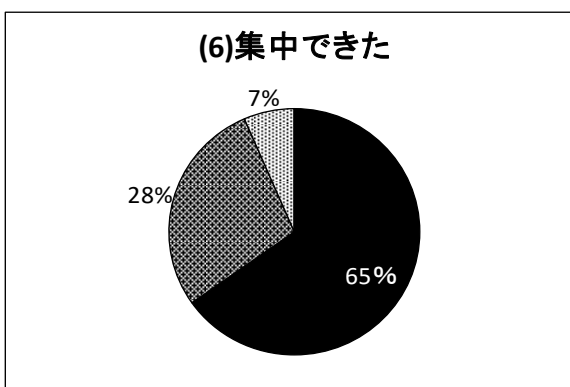
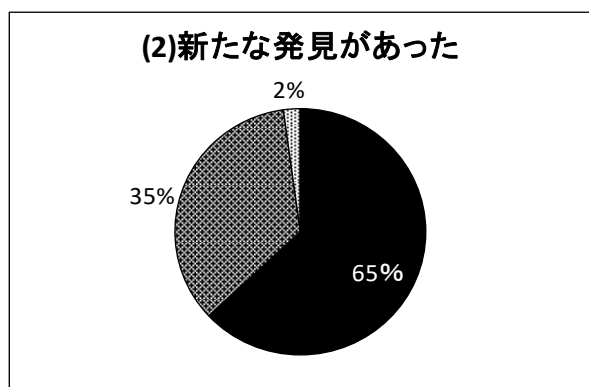
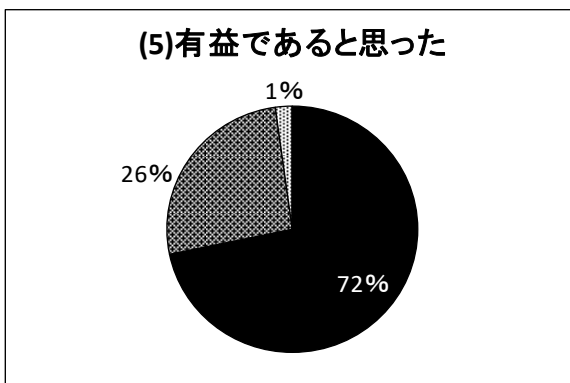
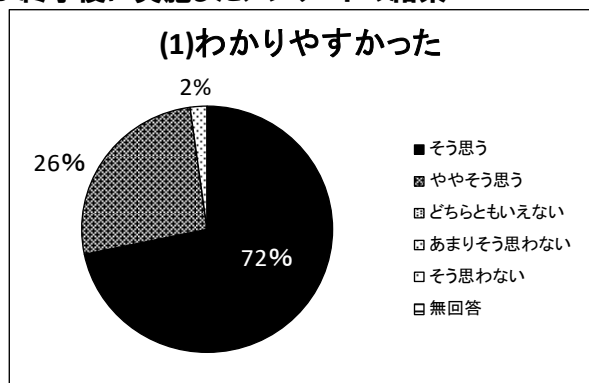
開催日時：令和 5 年 12 月 20 日(水)

演 題：仮想現実(VR)を活用した医学教育の実践

講 師：教育研究開発センター 谷本 貴志 先生

参加者数：教員 47 名 学生 1 名

FD 終了後に実施したアンケートの結果



【意見・感想】

・環境保健分野では環境測定(大気・水質・土壌・居住空間等)で、産業保険分野では職場巡視でVR技術を使用できるかもしれません。問題は、企業秘密等の理由で教材作成に困難が伴うことです。

・VRゴーグルを体験しました。360度に視界が広がる経験は衝撃的でした。ただ、首への負担が大きく、VRゴーグル使用後の「3D酔い」が思いのほか大きかったです。

・ぜひ教材と一緒に作成したいです。

・VR技術は教育には良い効果があることが分かった。3Dを長時間見たりすると、気分が悪くなるのが個人的にはあるのですが、学生さんでもそのような人がいないのが気になりました。

・大変興味深かったです。

開催日時：令和6年3月22日(金)

演 題：ベストティーチャー賞・ベストクリニカルティーチング賞

受賞者に学ぶ授業づくり

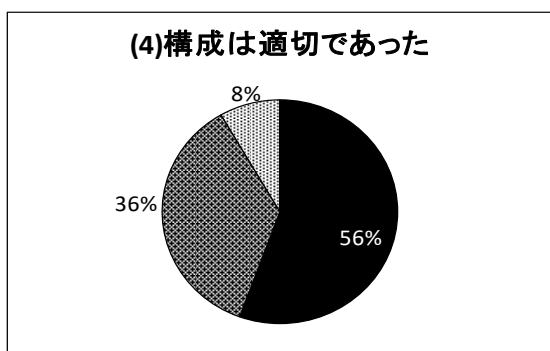
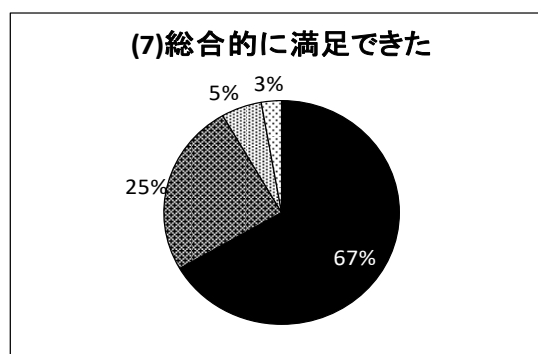
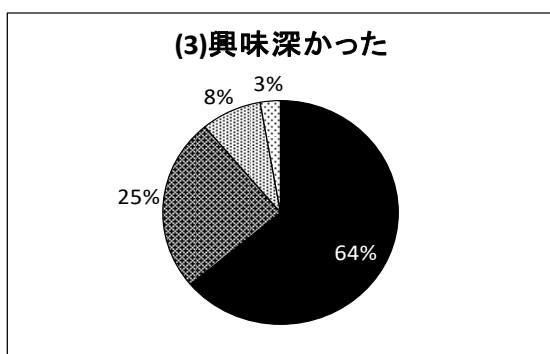
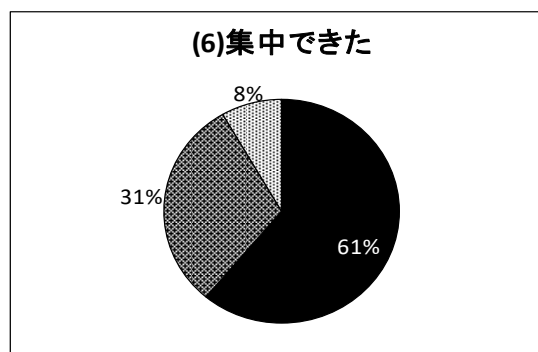
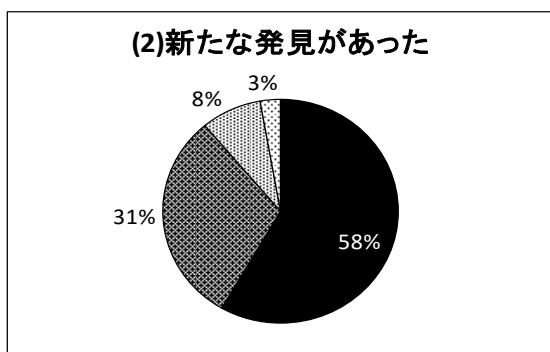
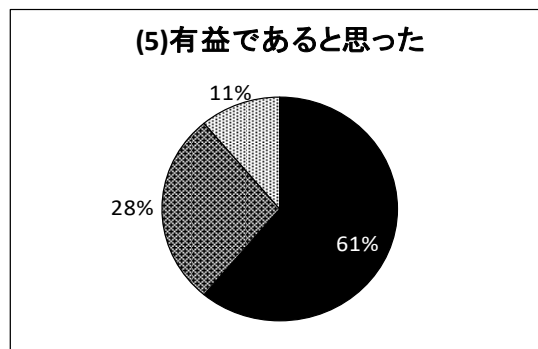
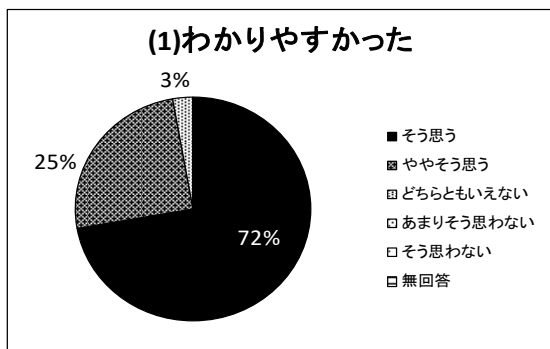
講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 先生

病理学講座 講師 中西 雅子 先生

腎臓内科学講座 講師 山本 脩人 先生

参加者数：教員 38 名

FD 終了後に実施したアンケートの結果



【意見・感想】

・講義資料の作成方法、講義のコツ、ミニテストの運用などとても参考になりました。臨床実習でいかに学生に気づき、知識を使うことを身について楽しいと思ってもらえる実習にするかを意識して行きたいと思いました。

・今後もこのような研修を継続頂けたらと思います。

・途中で音声が届かなくなったが、担当者が気付いていなかったのか対応が遅かった。次回は、もう少し早く対応してほしい。(同様の意見他3件)

・基礎の講義と臨床実習について、どちらも講義するポイントを聞くことができ大変有意義なFDでした。もし可能であれば、教養－基礎－臨床の講義を相互に聞く機会があれば講義を行う際の工夫に活かせるのではないかと思います。

・医師国家試験が年々大変になっていることは理解できた。講義方法に関しては、既に行っていることも多々あった。

・FDに参加しない教員へ、録画を提供してください。

・グループワークの時間が確保できるよう、研修会の中の時間を調整していただけると幸いです。しかしながら、グループワークの分を補うだけの質疑応答があったと考えます。

開催日時：令和6年3月28日(水)

演 題：(1) ベストティーチャー賞受賞者に学ぶ授業づくり

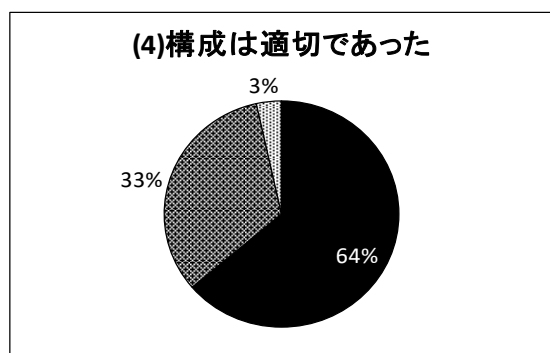
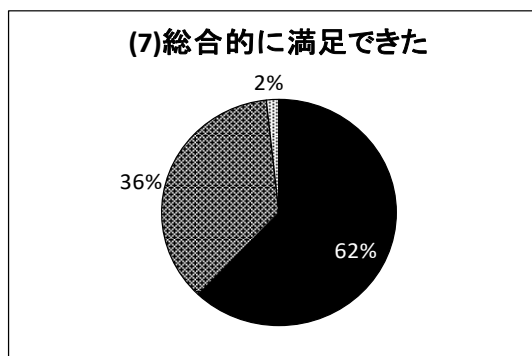
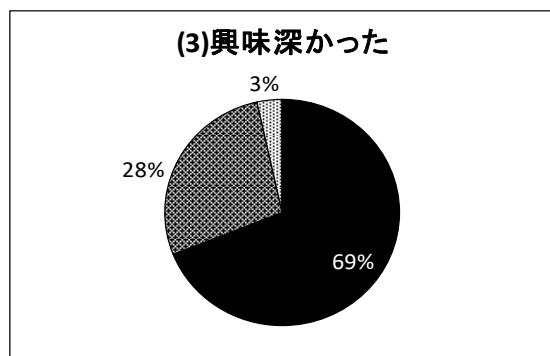
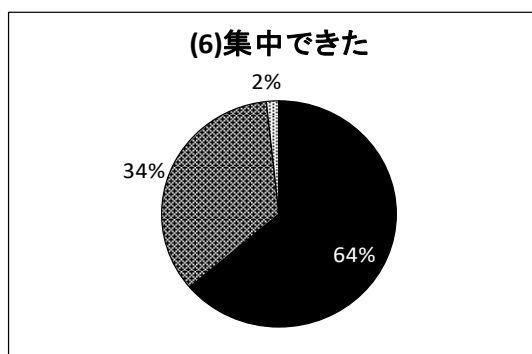
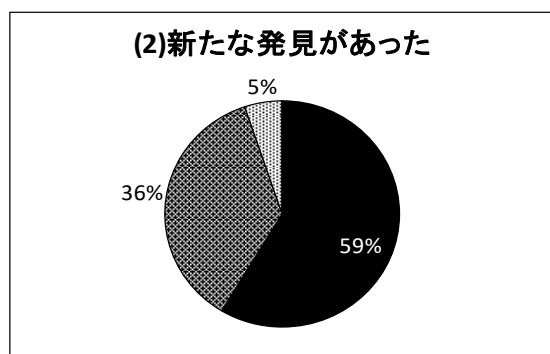
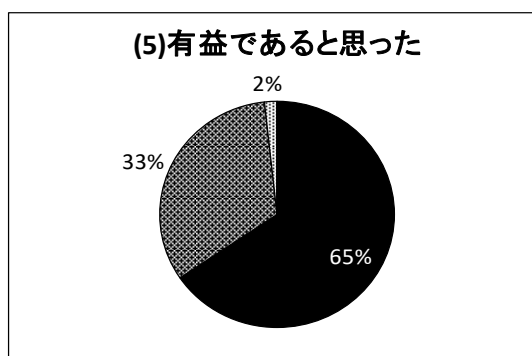
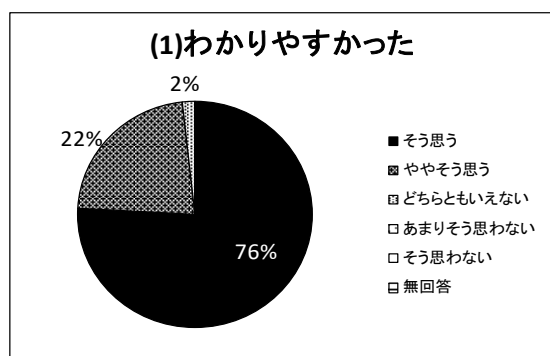
(2) 令和5年度卒業生の成績について

講 師：(1) 教養・医学教育大講座 准教授 森田 強 先生

(2) 教育研究開発センター センター長 村田 顕也 先生

参加者数：教員 59 名

FD 終了後に実施したアンケートの結果



【意見・感想】

- Teams上でのミニッツペーパーの回答、授業中の回答という工夫は参考に使って頂きたいと思いました。用語を与えて説明させるoutput型の試験が非常に有意義だと思いました。
- 国試の過去問を早い段階で見ておく(解いてみる)機会をもつことを強く推奨しておいた方がよいのではないかと思います。
- 受講者の属性を考慮した専門分野のおもしろさを伝えられる授業をすすめてゆきたく思います。そのような取り組みを地道にすすめることで学生たちが留年なく進級し、医師国家試験に合格するにいたるでしょうし、その先の学修にも役立つのではないかと考えます。
- 森田先生の授業づくり、学生に対する教員としての姿勢が大変参考になりました。ありがとうございました。
- 昨年度留年者6名を全員卒業とした判断が正しかったのか悩ましいと感じた。本当に国試をパスできる学生なのか見極めるのは非常に難しいと感じた。
- 国家試験の合格率のお話よくわかりました。村田先生、ご苦労様です。
- 国家試験不合格者の特性分析結果は貴重でした。今後、入試や進級を考える際の参考になりました。有難うございました。
- 留年生の対応は難しいですね。留年生カリキュラムのような大学に来る習慣が必要な様な気がします。
- 森田先生の講演が大変参考になりました。国家試験の合格率を上げるためにも、講義内容を工夫しようと思います。
- 現在の国家試験への取り組みについて考えさせられた
- 森田先生の授業づくりが素晴らしいと思いました。私も自分の好奇心で担当分野の面白さを学生たちに伝えられるように取り組まねばと思いました。

令和4年度ベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞

和歌山県立医科大学医学部の教育活動に貢献した教員及び診療科に対して
それぞれベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞を授与し、
もって本学医学教育の向上に資することを目的とする。

令和4年度ベストティーチャー賞

教養部門	教養・医学教育大講座 生物学 A	森田 強 准教授
基礎部門Ⅱ	病理学講座 病因と病態	中西 雅子 講師

令和4年度ベストクリニカルティーチング賞

個人部門	腎臓内科学講座	山本 脩人 講師
------	---------	----------



教育研究開発センター担当講義

1 年生		
ケアマインド	令和 5 年 4 月～11 月	※表 1
医学概論 I	令和 5 年 6 月～7 月	
医学概論 II	令和 5 年 11 月～12 月	
医療社会科学 I	令和 5 年 4 月～7 月	
社会学	令和 5 年 9 月～12 月	
医学入門	令和 5 年 4 月～令和 6 年 2 月	
地域福祉体験実習		
事前説明会	令和 6 年 2 月 21 日	
エスコート実習・事前講習	令和 6 年 2 月 21 日	
実習	令和 6 年 3 月 18 日～22 日	
実習報告会	令和 6 年 3 月 25 日	
2 年生		
医療社会科学 II	令和 5 年 4 月～6 月	
地域実習		
事前説明会	令和 5 年 6 月 14 日	
実習	令和 5 年 9 月 4 日～9 月 15 日	
実習報告会	令和 5 年 9 月 25 日	
病棟実習		
事前説明会	令和 5 年 10 月 10 日	
実習	令和 5 年 10 月 10 日～13 日	
3 年生		
病棟実習		
事前説明会	令和 6 年 2 月 26 日	
実習	令和 6 年 2 月 26 日～29 日	
4 年生		
東洋医学	令和 5 年 11 月～12 月	
臨床実習入門	令和 5 年 10 月 23 日～11 月 2 日	※表 2
臨床実習入門 教員説明会	令和 5 年 10 月 12 日、16 日、20 日	
看護体験実習		
事前説明会	令和 6 年 1 月 29 日	
実習	令和 6 年 1 月 30 日～2 月 2 日	

表1 ケアマインド 講義日程表

講 義 日 程 表

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R5.4.25	(火)	4・5	オリエンテーション・GW	3 学部合同	
2	R5.5.9	(火)	4	セルフメディケーション(講義)	薬学部	須野
3	R5.5.16	(火)	4	セルフメディケーション(GW)	薬学部	須野
4	R5.5.23	(火)	4	セルフメディケーション(発表)	薬学部	須野
5	R5.5.30	(火)	4	薬害 B 型肝炎(講義)	医学部	村田・谷本・ 佐々木・森
6	R5.6.6	(火)	4	薬害 B 型肝炎(GW)	医学部	村田・谷本・ 佐々木・森
7	R5.6.13	(火)	4	薬害 B 型肝炎(学生による発表1)	医学部	村田・谷本・ 佐々木・森
8	R5.6.20	(火)	4	薬害 B 型肝炎(学生による発表2)	医学部	村田・谷本・ 佐々木・森
9	R5.6.27	(火)	4	小児薬物療法ケア(講義)	薬学部	須野
10	R5.7.4	(火)	4	違法薬物(講義)	薬学部	須野
11	R5.10.10	(火)	4	ダウン症(講義)	医学部	村田・谷本・ 佐々木・森
12	R5.10.17	(火)	4	臓器移植について(講義)	保健看護学部	橋爪
13	R5.10.24	(火)	4	視覚障害者の世界(講義)	保健看護学部	岩村
14	R5.10.31	(火)	4	臓器移植について(GW) 視覚障害者の世界(GW)	保健看護学部	岩村・橋爪
15	R5.11.7	(火)	4	がん:患者や家族が求める安心感(講義)	保健看護学部	岩村
16	R5.11.14	(火)	4	がん:患者や家族が求める安心感(GW・発表)	保健看護学部	岩村

◆ 令和5年度「ケアマインド教育」3学部合同オーガナイザー打ち合わせ

第1回

日時：令和5年12月5日(月) 17:00-17:50

内容：令和6年度「ケアマインド教育」の運営について

表 2 臨床実習入門時間割

令和 5 年度臨床実習入門時間割表

※受付開始時間は集合時間の 30 分前から。

	10月23日(月)	10月24日(火)	10月25日(水)	10月26日(木)	10月27日(金)
1眼	医療面接法Ⅰ 8:50～10:00 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	医療安全 8:50～10:00 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	感染対策(N95マスク装着・鼻咽頭ぬぐい液採取練習) 8:50～12:00	医療面接法(ロールプレイ) 8:50～12:00	小児身体診察 8:50～10:00 対面講義(臨床講堂Ⅰ)
	教育研究開発センター	医療安全推進部	実技指導 (高度医療人材育成センター) 2階・5階	実技指導 (高度医療人材育成センター) 2階・5階	小児科
	共用試験について 10:10～11:20 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	院内感染 10:10～11:20 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	教育研究開発センター	教育研究開発センター、リハビリテーション医学、麻酔科学、放射線医学、神経精神医学	行動科学 10:10～11:20 対面講義(臨床講堂Ⅰ)
2眼	教育研究開発センター	臨床感染制御部			教育研究開発センター
	守秘義務・診療録記載義務 11:30～12:40 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	救急 13:20～16:30 ※時間注意	頭頸部 13:00～16:20	胸部 13:00～16:20	腹部 13:00～16:20
	法学				
4眼	カルテの書き方と臨床倫理 13:40～14:50 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	実技指導 (高度医療人材育成センター) 2階・5階	シミュレーター指導 (高度医療人材育成センター2階) 身体診察指導 (高度医療人材育成センター5階)	シミュレーター指導 (高度医療人材育成センター2階) 身体診察指導 (高度医療人材育成センター5階)	シミュレーター指導 (高度医療人材育成センター2階) 身体診察指導 (高度医療医療人材育成センター5階)
	医療情報部				
	処方箋の書き方 15:00～16:10 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	救急部、看護師、消防	シミュレーター指導: 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、眼科学、内科学第1 身体診察指導: 教育研究開発センター、内科学第3	シミュレーター指導: 内科学第4、内科学第3、外科学第1 身体診察指導: 内科学第2、内科学第1	シミュレーター指導: 泌尿器科学、内科学第2、産科・婦人科学 身体診察指導: 腎臓内科学、外科学第2
5眼	薬剤部				

	10月30日(月)	10月31日(火)	11月1日(水)	11月2日(木)
1眼	SPとの医療面接法 (ロールプレイ) 8:50～12:00	医学研究に関する 倫理指針・臨床研究法 8:50～10:00 対面講義(臨床講堂Ⅰ)	動画にて自習 (自宅学習)	SPとの医療面接法 (ロールプレイ) 8:50～12:00
	実技指導 (高度医療人材育成センター) 2階・5階	臨床研究センター		実技指導 (高度医療人材育成センター) 2階・5階
	教育研究開発センター、神経精神医学、リウマチ・膠原病科学、皮膚科学	臨床講堂Ⅰ および 高度医療人材育成センター5階 での自習を可とする	動画にて自習 (自宅学習)	教育研究開発センター、放射線医学、小児科学、血液内科学
3眼	神経・四肢と脊柱 13:00～16:20	バイタル 13:00～16:20	基本的手技Ⅰ (採血・縫合・手指消毒・衛生的手洗い) 13:00～16:20	基本的手技Ⅱ (採血・手術手洗い・手袋・ガウン) 13:00～16:20
	シミュレーター指導 (高度医療人材育成センター2階) 身体診察指導 (高度医療人材育成センター5階)	シミュレーター指導 (高度医療人材育成センター2階) 身体診察指導 (高度医療人材育成センター5階)	シミュレーター指導 (高度医療人材育成センター2階)	シミュレーター指導 (高度医療人材育成センター2階)
	シミュレーター指導: 泌尿器科学、教育研究開発センター 身体診察指導: 整形外科科学、リハビリテーション医学、教育研究開発センター、脳神経内科学	シミュレーター指導: 腎臓内科学、内科学第4、脳神経内科学 身体診察指導: 血液内科学、麻酔科学	教育研究開発センター、外科学第1、歯科口腔外科学、形成外科学、皮膚科学、脳神経外科学	教育研究開発センター、外科学第2、脳神経外科学、整形外科科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科・婦人科学

教育研究開発センター担当 試験関連業務

共用試験 (CBT、Pre-CC OSCE)	令和5年10月～11月	4年生
学生説明会	令和5年6月22日 令和5年10月23日	
CBT		
事前体験テスト	令和5年9月7日	
本試験	令和5年10月13日	
再試験	令和5年11月13日	
Pre-CC OSCE		
本試験	令和5年11月8日、9日、10日	
再試験	令和5年12月4日	
評価者(教員)説明会	令和5年10月27日、30日	
身体模擬患者(事務職員)説明会	令和5年10月23日、25日	
Post-CC OSCE		6年生
本試験	令和5年7月27日、28日	
再試験	令和5年8月10日	
学生説明会	令和5年7月18日	
評価者(教員)説明会	令和5年7月18日、19日、20日、21日	
卒業試験		6年生
1回目(学内試験)	令和5年9月13日、15日	
2回目(関西公立私立共通試験)	令和5年10月18日、19日	
再試験	令和5年11月20日	

令和 5 年度 教育研究開発センターにおける 6 年次留年生に対する学習支援 (実績報告)

・対象者

令和 5 年度留年となった 6 年生 6 名を対象とした。

・卒業試験対策勉強会の開催

以下の日程で、令和 2 年度から令和 4 年度までの本学卒業試験について、各科別に教員による勉強会を開催した。

【講義日時・科・教員氏名（敬称略）】

4 月 10 日	脳神経内科	森めぐみ
4 月 24 日	循環器内科	谷本貴志
5 月 1 日	神経精神科	池田奈津子
5 月 11 日	人体病理	岩本竜太
5 月 16 日	外科学 1	平井慶充
5 月 18 日	内科学 3	早田敦志
5 月 26 日	放射線医学 画像診断・IVR	佐藤大樹 放射線治療 稲垣貴也
5 月 31 日	臨床検査医学	古田眞智
6 月 1 日	内科学 1	西伸幸
6 月 5 日	麻酔科	谷奥匡
6 月 7 日	内科学 2	清水遼
6 月 13 日	外科学 2	清水敦史 松田健司
6 月 20 日	リウマチ膠原病科	藤井隆夫
6 月 20 日	皮膚科	稲葉豊
6 月 26 日	腎臓内科	大矢昌樹
6 月 26 日	泌尿器科	原勲
7 月 3 日	産婦人科	太田菜美
7 月 14 日	小児科	末永智浩
7 月 19 日	血液内科	園木孝志
8 月 2 日	耳鼻咽喉科	平岡政信
8 月 3 日	歯科口腔外科	鈴木滋
8 月 7 日	整形外科	岩崎博
8 月 24 日	救急・集中治療	小山史恭
8 月 28 日	リハビリテーション	幸田剣
8 月 31 日	眼科	安田慎吾：1 名発熱のため欠席

各勉強会に対し、事前に学生が質問事項をまとめ、TEAMS にアップロードすることで各科指導教員に質問内容を共有した。各科 1 時間程度で、卒業試験の質問事項に対する回答、及び重要事項の講義等が行われた。

講義中は相互の活発な質疑応答が行われた。

・MEC 模試受験(春合同実施・夏個別オンライン実施)・振り返り(個別)

春 MEC 模試は、4 月 13 日に本学教育棟講義室にて集団受験した。

6 月下旬から 7 月初旬にかけて、春 MEC 模試の中で誤答した問題や解法のわからなかった問題について、教育研究開発センター(CERD)教員が個別に面談を行い、知識や問題の解き方等の整理を行った。

夏 MEC 模試は、9 月の第 1 回卒業試験後に 6 名全員が受験していることを確認した。受験後、個別面談にて結果や学習の進捗状況について CERD 教員が確認しフィードバックを行った。

・ゼミ室 8 の開放について

基礎教育棟 3 階ゼミ室 8 を自習室として開放した(24 時間)。不定期に数名の学生が利用していた。自習に来た際は、教育研究開発センターの教員が適宜見回りを行い、学習の進捗状況や体調を確認しながら、助言をおこなった。

・個別面談について

令和 5 年 5 月、6 月に、対象学生に対して CERD 教員により個別面談を行い、個人の特性や心身の健康状態、学習の悩みなどを確認し助言した。

令和 5 年 9 月 28 日、29 日に CERD 教員により個別面談を行った。第 1 回卒業試験の振り返り、及び第 2 回卒業試験に向けた学習計画について個別に確認し助言した。

・学習外の支援について

対象学生間また、学生と教員間の親睦を深めること、心身の健康状態を保つ工夫として、運動の機会を設けた。5 月 13 日テニス、6 月 11 日室内球技。

- ・ 6 年生 6 名は、同年度に全員が本学を卒業した。

学 生 実 習 に つ い て

令和5年度1年生早期臨床体験実習

目 的：医療人を志すものとして知識・技能の習得のみならず、病める人の視点で考えられる人間形成を目指す。また、行政・司法を含めた社会制度を知ることにより、個々の患者の社会的背景、支援の状況についての理解を深める。本講義は、医学部・保健看護学部・薬学部の共通講義である。多職種連携教育を通して相互理解を深め、患者中心の医療を行うための各自の役割を学ぶ。

実習内容：和歌山県下の医療施設で現場の医療を体験し、その内容を報告会で発表する。

実施期間：令和5年7月25日（火）～9月1日（金）
（実習先、グループによって期間は異なる）

実習施設：琴の浦リハビリテーションセンター・済生会和歌山病院・和歌山ろうさい病院・橋本市民病院・ひだか病院・国立病院機構和歌山病院・南和歌山医療センター・紀北分院・済生会有田病院・公立那賀病院・新宮市立医療センター・国保すさみ病院・那智勝浦町立温泉病院

令和5年度1年生地域福祉施設体験実習

目 的：ケア・マインドやコミュニケーション・スキルを身につける。介助体験等によって医師となる自覚、厳しさを身につける。入居者・利用者を中心とした各スタッフの協調性の重要性を理解する。老人福祉施設の現場を介助体験等に通じて理解し、老人医療の現場を体験する。早期体験実習に続いて、地域医療の実態等を学ぶ。

実習内容：老人福祉施設の指導者や職員の指示に従い、入居者・利用者周辺における各種サービスの見学と体験を実施する。各実習施設の具体的な実習内容については、別紙実習施設調査票を参照とすること。また、各実習施設における、オリエンテーションにおいても明らかにされる。

実習期間：令和6年3月18日（月）～3月23日（土）（左記期間の2泊3日）

実習施設：竹の里園・紀伊松風苑・紀伊てまり苑・わかうら園・喜成会・紀三井寺苑・

第二親和園・第五親和園・グランリーブ・大日山荘・ときわ寮川辺園・
カルフル・ド・ル ポ印南・白浜日置の郷・にしき園・愛光園・さくら苑

令和5年度2年生地域実習

目 的：(保育園) 医療人としての豊かな人間性涵養を育むため、乳幼児とふれあい、乳幼児の特長を理解し、乳幼児とのコミュニケーション能力を身につける。また、実習を通じて、育児を支援する保育園の現状を学ぶ

(障害者福祉関係施設) 大学病院ではほとんど経験することの出来ない障害者福祉関係施設での実習を行うことにより、ケアマインドを育成し、障害者への医療・福祉の現状について理解を深めることにより、医療人としての資質の向上に努める。

実習内容：(保育園) 各施設のオリエンテーション（初日）にて詳細な説明がある。

(障害者福祉関係施設) 各施設のオリエンテーション（初日）にて詳細な説明がある。
(主として患者さんの介護・支援)

実習期間：令和5年9月4日（月）～9月15日（金）

(実習先、グループによって期間は異なる)

実習施設：(保育園)

さつきこども園・みちる保育園・しょうぶこども園・ようすい子ども園

(障害者福祉関係施設)

愛徳医療福祉センター・南紀医療福祉センター・牟婁あゆみ園・牟婁さくら園
・国立和歌山病院・リハビリ橋本・社会福祉法人つわぶき会綜愛苑

令和5年度2生病棟実習

目 的：① 医学部附属病院や県内外の地域医療人材養成拠点病院などの医療現場の体験を通して、コメディカル役割、チーム医療について理解を深める。

② 医療の専門職としての役割と責任を学び、医師となる自覚、モラル・人間性を身につける。

実習内容：外来あるいは病棟において、指導医と行動を共にし、医療を体験する。

実習中は指導者の指示に従い、決して単独行動をしてはならない。

数名ずつのグループに分かれ、配属先の科で実習する。

実習期間：令和5年10月10日（火）～10月13日（金）

実習施設：本学附属病院各病棟

令和5年度3年生病棟実習

目 的：① 医学部附属病院や県内外の地域医療人材養成拠点病院などの医療現場の体験を通して、コメディカルの役割、チーム医療について理解を深める。
② 医療の専門職としての役割と責任を学び、医師となる自覚、モラル・人間性を身につける。

実習内容：外来あるいは病棟において、指導医と行動を共にし、医療を体験する。
実習中は指導者の指示に従い、決して単独行動をしてはならない。
数名ずつのグループに分かれ、配属先の科で実習する。

実習期間：令和6年2月26日（月）～2月29日（木）

実習施設：本学附属病院各病棟

令和5年度4年生看護体験実習

目 的：① 看護体験を通じて医療現場を理解し、チーム医療のあり方を理解する。
② 看護体験によって医師となる自覚、モラル・人間性を身につける。

実習内容：病棟看護職員の指示に従い、患者周辺における看護サービスの見学と体験。

実習期間：令和6年1月30日（火）～2月2日（金）

実習施設：本学附属病院各病棟

VR を活用した医学教育 令和 5 年度報告

令和 4 年度に作成した「現場体験型 VR (ファスト VR)」と「3D-CT VR (Holoeyes)」の教材を、令和 5 年 2 月から循環器内科臨床実習で定期使用した。

令和 5 年 4 月 2 日テレビ和歌山【わかやま医療ナビ】にて『VR を使った新しい医学教育 ～和歌山県立医科大学 教育研究開発センター長 村田 顕也教授に聞く～』が放送された。



【放送日】2023年04月02日（日）



「VRを使った新しい医学教育」～和歌山県立医科大学 教育研究開発センター長 村田 顕也教授に聞く～



VRを使った新しい医学教育

- 医療現場の疑似体験
- 人体解剖学習(3次元空間)
- 展 望



VR 教材を用いた実習の教育効果や学生の感想は学会で報告した。

1. コンピュータグラフィックス VR 教材を活用した医学教育の実践

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

谷本 貴志 平野 隆則 中津川 洋平 森 めぐみ 佐々木 洋子 村田 顕也

第 91 回和歌山医学会総会 2023 年 7 月 2 日、和歌山市

2. 実写 VR 教材を活用した医学教育の実践

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

谷本 貴志 平野 隆則 中津川 洋平 森 めぐみ 佐々木 洋子 村田 顕也

第 91 回和歌山医学会総会 2023 年 7 月 2 日、和歌山市

3. 臨床実習における実写 VR 教材を用いた心血管カテーテル手技の体験

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

谷本 貴志 平野 隆則 中津川 洋平 森 めぐみ 佐々木 洋子 村田 顕也

第 55 回日本医学教育学会大会 2023 年 7 月 29 日、長崎市

上記をまとめて令和 5 年 9 月 7 日に記者会見を行った。

「VR を使った新しい医学教育の実践～臨床実習における教育効果～」



発表日時	令和5年9月7日（木）15:00～15:45		
場所	スキルスラボ（高度医療人育成センター 2 階）		
発表者	教育研究開発センター 内科学第 4 講座	准教授・副センター長 教授・センター長 教授	谷本貴志 村田顕也 田中 篤

令和5年12月20日 令和5年度第2回FD講習会にて「仮想現実(VR)を活用した医学教育の実践」を取り上げた。

令和6年1月 病院広報誌 まんだらげ にVR教育が取り上げられた。

VRを用いた新しい医学教育の実践、臨床実習における教育効果について

本学医学部の臨床実習では、新型コロナウイルス感染症の流行中、学生は病院の検査室や手術室に立ち入ることができず、臨床実習が十分に行えない事態に追い込まれました。そこで本学はデジタル医療教育用の仮想現実(VR)システムを導入し、教育研究開発センターが中心となって教材の作成に取り組み、令和5年4月から全国の医学部でも導入が進んでいないVRを使った新しい医学教育を開始しました。

医学生は、VRを用いて心臓カテーテル検査や血管内治療をバーチャル体験するとともに、いろいろな疾患の3DモデルをVR空間内で自由に操作し、各種疾患の理解を深めています。また、教育効果を検証したところ、VRを用いた実習は従来の実習よりも理解度が向上したことが確認されました。

本学は今後も最新の技術を用いた教育を展開し、優れた医療人を育成していきます。



▲【現場体験型VR】



▲【3D-CT VR】



▲【VRを用いた臨床実習】

和歌山SPの会

SP（Simulated Patient：模擬患者）は、医療従事者の研修などで患者さんの役をします。医療現場でのコミュニケーションを改善するために重要性が高まっており、ケアマインドを併せもった医療人教育を進めるためにも必要です。和歌山 SP の会は、平成 18 年度に設立され、臨床技能教育の効果を高めるよう研修を重ねています。

令和 5 年度の開催内容

	開催日時	内容
第 231 回研修会	令和 5 年 4 月 13 日(木)	・「膠原病について」の講演: 演者 森めぐみ助教 ・「シナリオ理解のためのタイムラインシートとライフスタイルワークシートづくり」の講演: 演者 佐々木洋子講師
第 232 回研修会	令和 5 年 5 月 18 日(木)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE について
第 233 回研修会	令和 5 年 6 月 1 日(木)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 234 回研修会	令和 5 年 6 月 15 日(木)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 235 回研修会	令和 5 年 7 月 6 日(木)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 236 回研修会	令和 5 年 7 月 19 日(水)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 237 回研修会	令和 5 年 7 月 20 日(木)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 238 回研修会	令和 5 年 7 月 21 日(金)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 239 回研修会	令和 5 年 7 月 28 日(金)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接
第 240 回研修会	令和 5 年 9 月 21 日(木)	令和 5 年度 Post-CC-OSCE 医療面接 振り返り 令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接について
第 241 回研修会	令和 5 年 10 月 5 日(木)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 242 回研修会	令和 5 年 10 月 12 日(木)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 243 回研修会	令和 5 年 10 月 26 日(木)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 244 回研修会	令和 5 年 10 月 30 日(月)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 直医療面接
第 245 回研修会	令和 5 年 11 月 2 日(木)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 医療面接の練習
第 246 回研修会	令和 5 年 11 月 6 日(月)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 医療面接の練習

第 247 回研修会	令和 5 年 11 月 8 日(水)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 医療面接
第 248 回研修会	令和 5 年 12 月 14 日(木)	令和 5 年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接 振り返り
第 249 回研修会	令和 6 年 1 月 18 日(木)	1 年生授業「医学入門(コミュニケーション入門)」についての事前説明会
第 250 回研修会	令和 6 年 2 月 5 日(月)	1 年生授業「医学入門(コミュニケーション入門)」
第 251 回研修会	令和 6 年 2 月 29 日(木)	今後の SP の会の運営について
第 252 回研修会	令和 6 年 3 月 21 日(木)	今後の SP の会の運営について「OSCE 模擬患者に関する説明会」の報告

◆ 1 年生「医学入門」(コミュニケーション入門)(2024 年 2 月 5 日(月))

2024 年 2 月 5 日に、1 年生の授業において模擬患者さんに対するインタビューを行う実習を行った。

本学では、医療コミュニケーションを学ぶ機会として、4 年生「臨床実習入門」において医療面接の授業を実施している。本授業は、模擬患者さんにご協力いただき、Pre-CC OSCE の医療面接試験に向けた練習の機会となっている。この成果として、OSCE の医療面接試験では、すべての学生が合格できている。しかしながら、もう少し相手の目を見て話をしたり、相手のペースに合わせて話をしたりすることができれば、よりよい医師-患者関係が築けるのに、と感じられる学生も多数見受けられる。より早い段階でのコミュニケーション教育を取り入れることを目指し、R4 年度には、試験的に「医療社会科学Ⅰ」(1 年生必修)の授業内でその機会を設けた。試験ではない安心できる空間での初対面の方とのコミュニケーション機会は、学生にとって貴重な機会であると好評であり、今後もこのような機会が欲しいとの声もあった。

そこで、2024 (R5) 年度には「医学入門」(1 年生必修)において、「コミュニケーション入門」という授業を行うこととした。前年度に比べ、実習時間を増やし、学生 1 人あたりのインタビュー回数や模擬患者さんからのフィードバックの時間を長く取ることとした。

本授業では、自由な会話形式で模擬患者さんと対話する中で関係性を築き、自分の聞きたい情報を引き出すことを目標としている。本年のインタビューテーマは、「模擬患者の 1 日の生活」(インタビューⅠ)と「模擬患者になった理由」(インタビューⅡ)であった。インタビューⅠでは、学生は 2 人 1 組のペアとなり、1 人が聞き手役、もう 1 人はメモ役(観察)とした。インタビューⅡでは、学生は 1 人でインタビューを行った。いずれも終了後には、模擬患者さんからコミュニケーション等についての 3 分間のフィードバックをしてもらった。

学生の感想では、「難しかった」「緊張した」「うまくできた」などといった実践を経験しての実感とともに、「貴重な経験であった」「よい経験だった」という肯定的な感想が多数見

られた。また、「模擬患者さんがうまく雰囲気作りをしてくれたので緊張がほぐれた」など、模擬患者さんをはじめとする医療者教育への協力者に対する感謝の気持ちを記す学生も多数見られた。

2024年度は、16名の模擬患者さんにご協力いただくことができた。1年生にとって大変貴重な実践的な学習機会となっているため、今後も継続していきたい。学生の感想にある通り、模擬患者さんの協力なしには成立しえない授業である。本授業のみならず日ごろからのご協力に感謝し、この場を借りてお礼申し上げます。

- ◆ 和歌山 SP の会が標準模擬患者養成団体（第 2023-A0050 号）として認定されました。
（認定日 2024 年 1 月 23 日、正式認定日 2024 年 8 月 8 日、認定期間 令和 11 年 3 月 31 日まで）
- ◆ 教育研究開発センターの村田顕也センター長、谷本貴志副センター長、佐々木洋子講師、森めぐみ助教、池田奈津子助教が標準模擬患者養成担当者として認定されました。
（認定日 令和 5 年 6 月 27 日、認定期間 認定日より令和 10 年 3 月 31 日まで）



令和5年度事業実績

保健看護学部

開催した委員会一覧

入試制度検討委員会

第1回

開催日時：令和5年4月12日（水）18：00

- 議 事：1 副委員長の推薦について
2 令和6年度入学試験日程について
3 入学者選抜の基本方針（案）について
4 一般選抜における第1段階選抜の予告倍率について
5 成績開示について
6 その他
・ネット出願について
・情報の配点について

第2回

開催日時：令和5年9月11日（月）11：00

- 議 事：1 入試判定に対する疑義申し立て制度について
2 令和7年度入試における「情報Ⅰ」の配点について

書面開催

決 裁 日：令和5年8月22日（火）

- 議 事：令和6年度大学院保健看護学研究科博士前期課程入学試験（第2次募集）日程について

書面開催

決 裁 日：令和5年12月21日（木）

- 議 事：令和7年度大学入学共通テスト利用科目等における公表資料の改訂について

FD委員会

第1回

開催日時：令和5年4月26日（水）15：00

- 議 事：1 副委員長の選出について
2 令和5年度計画について

第2回

開催日時：令和5年6月14日（水）17：00

- 議 事：FD活動に関するアンケート結果について

第3回

開催日時：令和5年10月25日（水）17:00

- 議 事：1 FDカンファレンスについて
2 その他

第4回

開催日時：令和6年3月4日（月） 16：30

- 議 事：1 教員による相互授業参観の集計結果について
2 令和5年度FD活動に関するアンケート結果について
3 職位別意見交換会の記録について
4 令和5年度FD開催実績について
5 来年度に向けての申し送り事項について

FD委員会名簿

委 員 長—森岡 郁晴

副委員長—橋爪 洋

委 員—岡本 恭子、前馬 理恵、池田 敬子、上田 伊津代、徳山 悠起子、
野々口 陽子、矢出 装子、田尻 雅也

開催したFD一覧

第1回

開催日時：令和5年5月17日（水）13：00

演 題：新任教員による研究テーマ等の紹介

演 者：保健看護学部 准教授 伊藤良子

第2回

開催日時：令和5年6月7日（水）13：00

演 題：令和5年度科研費助成事業等の執行に関する説明会

第3回

開催日時：令和5年7月5日（水）13：00

演 題：若手研究者のための科研費セミナー

講 師：URA 学長特命教授 倉石 泰

第4回

開催日時：令和5年7月12日（水）15：00

演 題：How to get 科研費セミナー

講 師：保健看護学部 教授 井上みゆき、助教 森下美佳
URA 学長特命教授 倉石 泰

第5回

開催日時：令和5年8月17日（木）15：00

演 題：地域における災害への備え

講 師：医療法人大植会葛城病院 救急科部長 那須 亨

第6回

開催日時：令和5年9月6日（水）13：00

演 題：和歌山大学の実践的なAI教育と生活習慣改善アプリの紹介

講 師：和歌山大学システム工学部 教授 吉野 孝

第7回

開催日時：令和5年10月4日（水）13：00

演 題：これからの学生支援を考える

講 師：千葉大学教育学部 准教授 三森寧子

第8回

開催日時：令和5年11月15日（水）13：00

演 題：だれもがキラボシ 笑顔あふれるテーマパークの秘密

講 師：株式会社アワーズ 代表取締役 山本雅史

第9回

開催日時：令和5年12月6日（水）13：00

演 題：職位別意見交換会（テーマ：学生支援）

第10回

開催日時：令和6年2月7日（水）13：00

演 題：実習施設との共同研究助成採択者の研究成果発表及び教授退職記念講演会

演 者：保健看護学部 教授 井上みゆき

第11回

開催日時：令和6年3月6日（水）13：00

演 題：共同研究助成採択者の研究成果発表：

演 者：保健看護学研究科博士後期課程 中井あい

看護統計セミナー

開催日時：第1回 令和4年 8月25日（金）17：00

第2回 令和4年 9月 8日（金）17：00

第3回 令和4年10月 6日（金）17：00

第4回 令和4年10月20日（金）17：00

講 師：臨床研究センター 教授 下川敏雄

発 行 し た 冊 子

保健看護学部では、令和５年度に以下の１冊の冊子（ＣＤ）を発行しました。

令和５年度保健看護研究Ⅱ報告書

令和５年度４年生による保健看護研究Ⅱの報告書（２２編）です。

発行年月：令和６年３月

編 集：和歌山県立医科大学保健看護学部

発 行 者：和歌山県立医科大学保健看護学部

保健看護研究Ⅱ報告書は、平成１６年の４年制大学への移行以来、毎年刊行されています。

令和５年度報告書は、保健看護学部第１７期生がほぼ１年間かけて取り組んだ報告書・論文を取りまとめたものであります。研究の過程において、自ら感じた疑問や問題をこれまで学んだ知識を活かして論理的な思考で解決方法を考えること、あるいは自ら主体的に取り組んでいることがわかる報告書です。（令和元年度から紙媒体でなくＣＤでの発行となりました。）

令和5年度事業実績

薬学部

開催した委員会一覧

第1回

開催日時：令和5年5月11日（木）16：00

- 議 事：1. 令和5年度FD委員会委員及びスケジュールについて
2. 教室配属に向けたFDについて
3. 令和4年度教員授業法アンケートの結果について
4. 令和4年度担任アンケート結果について
5. 令和5年度新入生アンケート結果について

第2回

開催日時：令和5年6月8日（木）16：00

- 議 事：1. 教室配属に向けたFDについて

第3回

開催日時：令和5年7月13日（木）16：00

- 議 事：1. 前期授業評価アンケートの実施について
2. 前期教員授業評価アンケートの実施について
3. 9月28日FD講師について

第4回

開催日時：令和5年9月14日（木）メール会議

- 議 事：1. 令和6年度FD関係予算について
2. 9月28日（木）FD研修について
3. 授業評価アンケートについて

第5回

開催日時：令和5年10月12日（木）16：00

- 議 事：1. 教員授業評価アンケートの結果について
2. FD講演会（9月28日）について
3. 前期学生授業評価アンケート結果について

第6回

開催日時：令和5年11月9日（木）16：00

- 議 事：1. 授業評価アンケート実施状況調査について
2. 授業評価アンケート結果とGPAについて
3. FD講演会フォローアップアンケートについて

第7回

開催日時：令和5年12月12日（火）メール審議

議 事：1. FD講演会フォローアップアンケート（学生配属に係るアンケート）について

第8回

開催日時：令和6年1月11日（木）16：00

議 事：1. 令和5年度後期授業評価アンケート（学生）について
2. 令和5年度後期授業評価アンケート（教員）について
3. 令和5年度担任アンケートについて
4. FD講演会フォローアップアンケートについて

第9回

開催日時：令和6年3月12日（火）メール会議

議 事：1. 講演会フォローアップアンケートについて
2. 学生オリエンテーションでのFD連絡事項について
3. 新任教職員へのFD連絡事項について

FD委員会名簿

委員長一須野 学

副委員長一赤池 昭紀

委員一赤池 昭紀、田中 千晶、難波 寿明、岩田 圭子、福田 達也、清水 幸

R5年度FD研修

★令和5年7月27日（木）

「配慮が必要な学生への理解と対応」（カウンセラー 深谷先生）

★令和5年9月28日（木）

「研究室配属学生を受け入れるにあたって」（和歌山大学 森先生）

臨床技能研修センター

和歌山県立医科大学臨床技能研修センター設置及び管理・運営規程

制 定 平成18年11月14日和医大規程第 313 号

最終改正 平成 26 年 3 月 28 日和医大規程第 76 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学内に設置する臨床技能研修センターの使用に関して、必要な事項を定めるもので、施設・備品の円滑かつ良好な管理・運営を図ることにある。

(設置)

第 2 条 和歌山県立医科大学内に臨床技能研修センターを設置する。

2 臨床技能研修センターには、次の研修室を設置する。

- (1) 基本的手技研修室
- (2) 外科的手技研修室
- (3) B L S ・ A C L S 研修室
- (4) 模擬病室

(目的)

第 3 条 臨床技能研修センターは、和歌山県立医科大学の学生、同附属病院の研修医をはじめとする教職員、さらには地域医療支援のため、地域医療機関等の医療従事者の臨床技能の習得・向上及び安全管理の確立を図ることを目的に設置するものである。

(審議)

第 4 条 臨床技能研修センターの管理・運営に関する重要事項については、教育研究開発センターの臨床技能教育部会で審議する。

(管理者の設置)

第 5 条 臨床技能研修センターの管理・運営及び教育支援を行う管理者をおく。

- 2 管理者は、教育研究開発センター長をもって充てる。
- 3 臨床技能研修センターに関する事務は、教育研究開発センターが所管する。

(管理者の業務)

第 6 条 臨床技能研修センターの管理者の業務は、次のとおりとする。

- (1) 臨床技能研修センターの使用の管理
- (2) 臨床技能研修センターの施設・備品の管理
- (3) 使用者への技術指導
- (4) 使用対象者への広報活動
- (5) 教育研究開発センター臨床技能教育部会への管理・運営報告
- (6) その他、臨床技能研修センターの管理・運営に必要な業務

(使用対象者)

第7条 臨床技能研修センターを使用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 和歌山県立医科大学に在籍する学生、大学院生、研究生、研修生、大学院研究生及び博士研究員
- (2) 和歌山県立医科大学及び同附属病院に所属する研修医及び教職員
- (3) 教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催講習会に参加する者
- (4) 地域医療機関の医療従事者
- (5) その他、管理者が適当と認めた者

(使用内容)

第8条 臨床技能研修センターの使用内容は、次のとおりとする。

- (1) 学生対象の臨床実習準備教育
- (2) 学生対象の臨床実習中の臨床技能教育
- (3) 研修医対象の卒後研修中の臨床技能研修
- (4) 院内・外の医療従事者等対象の臨床技能講習
- (5) 学生、研修医、医師、看護師、救命救急士、市民等対象のBLS・ACLS講習
- (6) 院内の研修医及び教職員対象の安全管理教育
- (7) 第1号から第3号に係る予習・復習等の自己訓練
- (8) その他、管理者が必要と認めた場合

(使用日時)

第9条 臨床技能研修センターを使用できる日は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）及び本学創立記念日を除く日とする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

- 2 臨床技能研修センターを使用できる時間は、原則として午前9時から午後5時までとする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

(使用申込)

第10条 臨床技能研修センターを使用するときは、使用予定日の1か月前から前日までに、臨床技能研修センター使用承認申請書（別紙様式1又は別紙様式2）を管理者に提出し、承認を得なければならない。

- 2 使用の承認を受けた者が、承認された使用日時等を変更するときは、事前に管理者の承認を得なければならない。
- 3 使用の承認を受けた者が、使用を中止しようとするときは、速やかに管理者に届け出なければならない。

(使用承認)

第11条 使用の承認は原則として予約先着順とする。ただし、第8条第1号から第6号までに規定するものについては、優先して使用させることができる。

- 2 予約の重複については、教育研究開発センターにて調整を実施し、管理者が決定を行う。

(使用承認の取り消し等)

第12条 使用の承認を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、使用承認を取り消すことがある。

- (1) 使用承認の目的に反したとき。
- (2) 目的以外の使用又は又貸しをしたとき。
- (3) 本規程の取り決めに違反したとき。
- (4) 管理・運営上の支障が生じたとき。

- 2 大学において実習の実施等緊急に必要が生じたときは、使用承認の取り消し、又は使用の条件変更を行うことがある。

(使用方法)

第13条 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間内のときは、使用時間直前に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで使用すること。

- 2 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間外のときは、事務取扱時間内に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで、鍵（カード）の貸し出しを受け、使用者が解錠すること。
- 3 事務取扱時間外に臨床技能研修センターを使用した者は、使用を終え次第、戸締まりの確認をしたうえで、鍵を閉めて、速やかに鍵（カード）を教育研究開発センターに返却するものとする。

(自己責任)

第14条 臨床技能研修センターの使用にあたっては、実習指導教員の指導のもとに行うよう努めるものとする。

- 2 臨床技能研修センターの備品を使用する者は、事前に使用方法を理解・習熟していなければならない。なお、使用方法については、教育研究開発センターが適宜、講習会、ビデオ、説明書などを用いて研修を実施するものとする。
- 3 臨床技能研修センターの使用者に、万が一事故が生じたときの責任は、使用者本人が負うものとする。

(遵守事項)

第15条 臨床技能研修センターの使用者は、次の事項を遵守するとともに、管理者及び教育研究開発センター係員の指示に従わなければならない。

- (1) 常に良識ある行動をとり、秩序・風紀の維持及び設備・備品の保全に努めること。
- (2) 使用目的以外の用途には使用しないこと。
- (3) 設備・備品を断りなく改変しないこと。
- (4) 設備・備品を断りなく室外に移動しないこと。

- (5) 常に整理整頓に努めること。
- (6) 使用を終了したときは、設備・備品を使用前の状態に戻すこと。
- (7) 使用済みの注射針等の医療系廃棄物は、所定の容器に廃棄すること。
- (8) 設備・備品を損傷、汚損、紛失しないこと。
- (9) ごみは各自持ち帰ること。
- (10) 飲食・喫煙をしないこと。
- (11) 火気を使用しないこと。
- (12) 使用時間を厳守すること。
- (13) 使用を終えたときは、消灯、空調機器の停止、窓の戸締まりを行うこと。
- (14) 金銭等の貴重品は各自が責任をもって管理すること。
- (15) 設備・備品の取扱いは、各自が責任をもって行うこと。

(備品の使用と報告)

第16条 臨床技能研修センターの備品のうち、保管している消耗品等の使用を予定している者は、使用承認申請書にその旨を記載し、承認を得たうえで、教育研究開発センターの事務取扱時間中に同センター係員に申し出て、立ち会いのうえ、借り受けるものとする。また、使用後も同センター係員立ち会いのうえ、消耗品等の使用済数及び残数を確認のうえで、使用済分は破棄し、未使用分を返却するものとする。なお、使用終了が教育研究開発センターの事務取扱時間外のときは、日を改めて、事務取扱時間中に同センター係員に残数の確認を受け、未使用分を返却するものとする。

- 2 備品のうち、注射針等については、原則として教育研究開発センターの事務取扱時間外には、使用することができない。ただし、実習指導教員の指導のもとで使用するときは、この限りではない。

(貸し出し)

第17条 臨床技能研修センター外で備品の使用を希望する者は、事前に教育研究開発センターに申し出て、所定の手続きを行うものとする。ただし、同センター外で備品を使用できるのは、教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催または共催する講習会等を実施するときに限る。

(費用負担)

第18条 臨床技能研修センターを使用するときは、使用料の費用負担を求めるものとする。ただし、第7条第1号から第3号に掲げる者は除く。

- 2 臨床技能研修センターにおいて使用した消耗品及び施設・備品の使用料は、公立大学法人和歌山県立医科大学諸料金規程（和医大規程第31号平成18年4月1日制定）及び別表によるものとする。

(損傷等の措置)

第19条 臨床技能研修センターの利用者が故意又は重大な過失によって、施設又は設備・備品等を損傷又は紛失したときは、直ちに教育研究開発センターに届け出て、その指示

を受けなければならない。また、これによって生じた損害又はその原状回復に必要な経費を弁償しなければならない。

- 2 臨床技能研修センターの利用者は、利用した備品等に不具合があったときは、直ちに教育研究開発センターに届け出るものとする。

(雑則)

第20条 この規程に定めるもののほか、管理・運営に関して必要な事項は、管理者が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成18年11月14日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

臨床技能研修センターの利用方法

原則として月曜～金曜（祝日を除く）の午前9時から午後5時にご利用いただけます。
（上記以外でご利用される場合は、教育研究開発センターにご連絡ください。）

<予約方法>

使用予定日の1か月前から前日までに、使用を申請してください。ご使用には管理者の承認が必要です。

※予約方法は主催者が学内者である場合と、学外者である場合とで異なります。

◆ 学内の方

(1)利用予約フォームからオンライン上での申し込みが出来ます。

または、使用承認申請書をダウンロードしていただき、

(2)スキルスラボ事務室へ直接提出

(3)学内便で教育研究開発センターへ提出

(4)FAX で送信

(5)メールに添付いただき送付（mail：cerd@wakayama-med.ac.jp）

◆ 学外の方

学外者の方は使用料金をいただきます。

また、申請内容について、電話にて事前に打ち合わせをさせていただきます。

使用承認申請書をダウンロードしていただき、

申請内容をご記入の上、下記のいずれかの方法で提出ください。

(1)スキルスラボ事務室へ直接提出

(2)郵送

(3)FAX で送信

(4)メールに添付いただき送付（mail：cerd@wakayama-med.ac.jp）



臨床技能研修センターHP 利用予約フォーム画像

臨床技能研修センター使用承認申請書

年 月 日

和歌山県立医科大学臨床技能研修センター管理者
教育研究開発センター長 様

所属部署 または 学年
申請者（使用責任者）氏名
連絡先（電話番号）

以下のとおり、使用の承認を申請いたします。

1. 使用の目的

2. 使用室名 使用を希望する部屋名にチェック☑をして下さい。

☐BLS・ACLS 研修室① ☐BLS・ACLS 研修室②

☐基本的手技研修室 ☐外科的手技研修室 ☐模擬病室

3. 使用物品

4. 期間 年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分まで

5. 利用者数：約 人

利用者の内訳

団体名	学外者	学内者
	人	人
	人	人
	人	人

6. 使用する消耗品

物品名	数量
	個
	個
	個

7. 物品を施設外に持ち出して使用する場合

持ち出し場所	
返却責任者	

臨床技能研修センター使用承認申請書

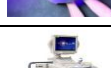
<予約状況の確認>

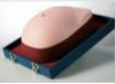
予約日程表（<http://www.wakayama-med.ac.jp/clinical/schedule/index.php>）で予約状況を確認してから申請してください。

申請後2～3日で承認作業を行います。予約が確定したことを予約日程表で確認してください（原則として予約先着順となります）。

臨床技能研修センター 備品一覧

項目	写真	シミュレータ名	メーカー	数量	用途	備考
【COVID-19下でのOSCE教材】						
・全身状態とバイタルサイン		血圧測定シミュレータⅡ	BT(日本ラ イトサービ ス)	7	聴診、触診、聴診+触診の3パターンでの血圧測定	
・頭頸部		頭部リンパ節・甲状腺触診モデル	京都科学	5	・腫大したリンパ節や耳下腺、正常な顎舌腺、疾患を持つ甲状腺を表現 ・触診や視診時に求められるツバを飲み込む嚥下動作の再現	
・胸部		心臓病診療シミュレータ イチローⅡA	京都科学	2	頸動脈の視診/心尖拍動の触診/動脈の触診/心音の聴診 呼吸音・腹部の動き/心電図・心音図・脈波の表示	
・胸部		呼吸音聴診シミュレータ ラングⅡ	京都科学	4	胸部・背部からの呼吸音聴診	
・腹部		腹部アセスメントモデル	京都科学	5	腹部診察(触診/聴診/打診/視診)	
【COVID-19下での臨床実習代替教材】						
<一般手技>						
・静脈採血手技・抹消静脈の血管確保		採血・静注シミュレータ シンジョーⅢ	京都科学	5	解剖理解(神経/血管の走行)/真空管採血/血管の触知 静脈内注射/逆血の確認/点滴静脈注射/シリンジ採血	
・中心静脈カテーテル挿入		CVC穿刺挿入シミュレータ・シュミレータⅡ	京都科学	5	鎖骨下静脈/経鎖骨上鎖骨下静脈/内頸静脈でのCVC穿刺挿入	
・中心静脈カテーテル挿入		末梢挿入中心静脈カテーテル PICCシミュレータ	京都科学	3	手技時のポジショニング/穿刺部位の選定/超音波ガイド下での穿刺 ガイドワイヤー・ダイレーターの挿入 シース・イントロデューサーの挿入/カテーテル挿入	
・動脈血採血		動脈採血シミュレータ	京都科学	3	橈骨動脈の穿刺・動脈採血/動脈ラインの留置	
・注射(皮内)		皮内注射シミュレータ	京都科学	3	皮内注射	
・注射(筋肉)		装着式上腕筋肉注射シミュレータ	京都科学	3	上腕筋肉注射実習/触診(三角筋/肩峰突起の感触による部位の確認)	
<検査手技>						
・12誘導心電図		フィジカルアセスメントモデル フィジコ	京都科学	5	問診/瞳孔反射:4症例/血圧測定/心音聴診:17症例 脈診(頸動脈/橈骨動脈)/呼吸音聴診:8症例/腸音聴診:5症例 心電図の字修:10症例	
<救急処置>						
・二次救命処置		レサシアンシミュレータPLUS+SimPad PLUS	レールダル	1	声門気道デバイスを使用した気道管理/自発呼吸/血圧の聴診 現場での除細動と同期されたECG/IV挿入/脈拍のモニタリング 呼吸音聴診/心音聴診	

【呼吸ケアソリューション】					
・人工呼吸器対応		ナーシングアン+ASL5000	レールダル	1	人工呼吸器管理 / 自発呼吸トライアル / 気管カニューレ吸引、交換 各種聴診(呼吸音、心音、血圧、腹部音/導尿/中心静脈カテーテル管理 薬剤投与管理 / 胃管挿入、胃ろう管理 / 瞳孔観察 / 人工肛門管理
【感染症対策教材】					
・PCR検査		鼻腔・咽頭拭い液採取モデル	京都科学	5	鼻腔・咽頭への挿入・検体採取の技術習得(PCR検査など)
・輪状甲状間膜切開		輪状甲状間膜切開モデル	京都科学	1	輪状甲状靱帯の穿孔・切開
・手技		小児の手背静脈穿刺シミュレーター	京都科学	1	小児の手背部静脈内持続点滴における固定法(乳児・幼児)
・手技		採血静注シミュレーター“シンジョー”(1セットに腕2本)	京都科学	6	静脈採血手技 / 静脈内点滴手技 / 静脈内注射手技
・手技		点滴静注シミュレーター “Vライン”	京都科学	3	静脈留置針を使用した末梢静脈路確保手技 / 前腕正中皮静脈、手背静脈(背側中手静脈)の2か所の部位から行うことができる
◎硬膜外麻酔 ◎腰椎麻酔		腰椎穿刺シミュレーター	京都科学	1	腰椎・硬膜外穿刺 / 腰椎穿刺(髄液採取・髄圧測定)
胸部		胸腔ドレナージ・胸腔穿刺シミュレーター	京都科学	1	胸腔ドレナージのトレーニング / 胸腔穿刺のトレーニング
ダヴィンチトレーナー(dV-Trainer)		ダヴィンチトレーナー(dV-Trainer)		1	内視鏡手術支援ロボット“da Vinci”(ダヴィンチ)のトレーニング用シミュレーター
腹部		消化器内視鏡シミュレーター“アキュタッチ”		1	3D 画像での上部・下部内視鏡のシミュレーションでのトレーニング
手洗い		手洗いチェッカー“グリッター・バグ”	京都科学	4	専用のクリームで正しく手洗いができているかをチェックできる
エコー		エコー		1	エコー手技
超音波診断		超音波診断ファントムー上腹部病変付モデル“ABDFAN”		1	上腹部にエコー値の異なる病変を表現した超音波診断モデル / 臓器内病変の腹部スクリーニング
胸部		胸部診察トレーニングシステム“イチロー & Lung”	京都科学	1	胸部診察 / 心音・肺音聴取
頭頸部		眼底診察シミュレーター	京都科学	5	正常眼底・単純型糖尿病網膜症・急性乳頭浮腫・網膜静脈・分枝閉塞症の新鮮例・トキシプラズマ網脈絡膜炎・高血圧性眼・慢性乳頭浮腫・緑内障性視神経萎縮・網膜静脈分枝閉塞症の網膜光凝固後陳旧例・加齢黄斑変性の網膜下出血
頭頸部		耳の診察シミュレーター	京都科学	5	症例一覧・正常鼓膜・正常鼓膜(外耳道が太い)・中耳炎(漿液性)・中耳炎(粘性)・中耳炎(急性化膿性)・真珠腫・鼓室硬化症・外傷性鼓膜穿孔・耳垢閉塞
腹部		直腸診シミュレーター	京都科学	4	正常×1、がん(大)×1、がん(小)×1、ポリープ×1(有茎・無茎ポリープ)、男性 指診用前立腺×1 個(正常)、女性 指診用子宮頸部×1 個(正常)
導尿・浣腸		男性導尿・浣腸シミュレーター	京都科学	4	導尿・浣腸

導尿・浣腸		女性導尿・浣腸シミュレーター	京都科学	1	導尿・浣腸	
腹部		前立腺触診シミュレーター	京都科学	5	症例ユニット：正常、肥大症、前立腺炎、局所的がん、全体的がん	
胸部		乳癌検診モデル	京都科学	4	症例：えくぼ症候を伴う癌、皮膚陥凹を伴う癌、線維腺腫、乳腺症	
腹部		婦人科診察トレーナー	高研	4	基礎的な婦人科診察の実技指導が可能なモデル ① 正常子宮② 妊娠初期子宮③ 子宮筋腫Ⅰ（筋層内）④ 子宮筋腫Ⅱ（膜下）⑤ 卵巣嚢腫Ⅰ（ピンポン玉大）⑥ 卵巣嚢腫Ⅱ（テニスボール大）⑦ 卵管嚢水腫⑧ エアーポンプ	
腹部		産科シミュレーター“ソフィー”	日本ライトサービス	1	正常分娩、骨盤位分娩、肩甲難産等のシミュレーション	
救急		レサシアン(半身タイプ)	レールダル	17	人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用	
救急		レサシアン(全身タイプ)	レールダル	1	人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用	
救急		ベビーアン	レールダル	30	乳児の人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用・異物除去	
救急		Ambu BABY	レールダル	1	乳児の人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用・異物除去	
救急		バックバルブマスク(成人用)	レールダル	34	BLS練習	
看護		看護シミュレーター“ナーシングアン”	レールダル	5	患者ケアトレーニングが可能です。(産後ケア・呼吸管理・輸液管理・栄養管理・排泄管理・創傷ケア・術後管理・乳房触診等)	
看護		万能型成人実習モデル さくらⅡ “SAKURA”	京都科学	1	経鼻胃カテーテル挿入・胃ろうケア・導尿・摘便・清拭部分浴・中心静脈栄養ケア・直腸と薬・皮下・筋肉注射	
救急		人工呼吸器		1		
救急		新生児蘇生装置(レサシフロー)		1		
救急		生体情報モニタ		1	救急ケアシミュレーター、SimMan3G、ナーシングアン、SimNewBに使用可能	
救急		CPS実習ユニット		1	病室のベッドサイドを模した移動式パネル	
救急		輸液ポンプ		4		
救急		シリンジポンプ		1		
救急		大型吸引器		2		
救急		救急カート		3		

救急		SimMan3G	レールダル	1	シナリオ作成可能。挿管・BLS可。
救急		レサシアン シミュレータ SimPad版	レールダル	3	トレーニング内容:人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用方法、気道管理、血圧測定、心音・肺音の聴診など
救急		除細動器	日本光電	4	
救急		除細動器 (ベーシング機能なし)	日本光電	1	
救急		レサシアン with QCPR	レールダル	9	トレーニング内容:人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用方法
救急		リトルジュニア	レールダル	7	トレーニング内容:人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用方法
救急		チョーキングチャーリー	レールダル	5	誤嚥時対応練習/ハイムリッヒ法、突き上げ法
救急		AEDトレーナー (レールダル)	レールダル	27	
救急		AEDトレーナー (メドトロニック)	メドトロニック	5	
救急		AEDトレーナー (日本光電)	日本光電	5	
救急		バックバルブマスク (小児用)	レールダル	10	
救急		バックバルブマスク (新生児用)	レールダル	3	
救急		挿管セット (成人)		5	挿管セット 成人、JPG喉頭鏡 ハンドル、喉頭鏡 ブレード、挿管チューブ、スタイレット、バイトブロック、カフ用シリンジ、マギール鉗子、救急用はさみ、止血鉗子、固定テープ
救急		挿管セット (新生児)		2	挿管セット 小児、JPG喉頭鏡 ハンドル、喉頭鏡 ブレード、挿管チューブ、スタイレット、バイトブロック、カフ用シリンジ、マギール鉗子、救急用はさみ、止血鉗子、固定テープ
救急		ビデオ喉頭鏡		1	専用ブレード付きビデオ喉頭鏡
救急		気道管理トレーナー	レールダル	2	気管挿管
救急		DAMシミュレーター	レールダル	1	気管挿管
救急		エアウェイトトレーニングシステム	日本ライトサービス	2	気管挿管
救急		新生児気道管理トレーナー	レールダル	4	新生児の気管挿管
救急		新生児挿管モデル	高研	1	新生児の気管挿管

救急		Neonatal Resuscitation Baby	レールダル	3	新生児蘇生トレーニング用マネキンです。臍動脈カテーテルと臍静脈カテーテル挿入の練習ができます。気管、食道、胃を備えており、気管内挿管、吸引が可能です。胃チューブの挿入・拔去ができます。	
救急		New Born Anne	レールダル	1	マニュアル操作で臍帯拍動の再現が可能です。臍帯は交換可能で、臍帯動脈/臍帯静脈へのアクセス、および薬剤投与が可能です。解剖学的に正確な気道構造を持ち、挿管、各種エアウェイの使用、片肺換気、バッグバルブマスク換気、セリック法、吸引、胃チューブの挿入など、様々な気道管理トレーニングに対応します。胸腔穿刺のトレーニングが行えます。両足で骨髄穿刺トレーニングが行えます。	
救急		バイタルサインベビーⅡ	京都科学	1		
救急		吸引シミュレーター“Qちゃん”	京都科学	2	吸引器を用いての吸引の手法練習が可能です。付属の模擬痰を使用	
救急		吸引モデルⅡ型	京都科学	2	看護・介護分野での鼻腔内、口腔内、気管切開部の吸引カテーテル挿入と吸引の手法ができます。食道まで経鼻胃チューブを挿入する手法の演習が行えます。顔面部を正中で2つに分割することができ、実際の吸引カテーテル及び経鼻胃チューブの挿入状態が確認できる構造になっています。また鼻腔、口腔、頸部の解剖学的な面も学ぶことができるモデルです。	
救急		携帯用小型吸引器		2	吸引シミュレーター-Q ちゃん、ナースングアンなどに使用可能	
救急		口腔ケアモデル“セイケツくん”	京都科学	5	口腔内清潔手技	
救急		血圧測定シミュレーター	日本ライトサービス	3	血圧測定の練習ができます。触診法／聴診法／触診法→聴診法の3パターン設定できます。(旧タイプ)	
救急		ポケットマスク(成人用)	レールダル	20		
救急		ポケットマスク(小児用)	レールダル	40		
診察		浮腫触診モデル	京都科学	1	正常な状態と圧痕の深さによる4段階の症状を再現	

2023年度スキルスラボ使用実績

使用開始日時	使用終了日時	使用団体名	使用目的	使用物品	使用者数・内訳		合計	使用者職種	使用室・使用場所名								備考
					学内	学外			4部屋 (外・基・ 模・BLS)	3部屋 (外・基・ 模)	外科的手 技研修室	基本的手 技研修室	BLS室	病棟	学内	学外(持ち 出し)	
4月3日(月) 9:00	4月3日(月)16:00	8東	練習	Vライン①	5		5	看護師						1			
4月3日(月) 13:00	4月3日(月)15:00	医学部6年生	エコー大会に向けての練習	エコー	5		5	学生			1						
4月4日(火) 13:00	4月4日(火)15:00	医学部 6 年生	エコー大会に向けての練習	エコー	5		5	学生			1						
4月4日(火) 15:00	4月4日(火)16:30	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5	学生				1					
4月6日(木) 8:00	4月6日(木)18:00	卒後臨床研修センター	研修医新人研修	シンジョー 3	30		30	医師	1								
4月7日(金) 14:00	4月7日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	6		6	学生			1						
4月10日(月) 13:30	4月10日(月)15:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シミュレーター	5		5	医師			1						
4月10日(月) 15:00	4月10日(月)16:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生			1						
				"採血静注シュミレーター 4セット 支柱台 8本 針捨て容器 8個 テーブルタップ 10"													
4月11日(火) 10:00	4月13日(木)19:00	看護部	看護技術研修		68		68	看護師		1							
4月13日(木) 12:15	4月13日(木)12:30	卒後臨床研修センター	練習	血圧計	1		1	医師			1						
4月18日(火) 11:00	4月18日(火)12:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5	学生				1					
4月20日(木) 13:00	4月20日(木)15:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シミュレーター	4		4	医師			1						
4月21日(金) 14:00	4月21日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5		5	学生			1						
4月22日(土) 7:00	4月22日(土)20:00	麻酔科	講義		50		50	医師	1								
				ナースングアンシミュレーター さくら レサシアン													
4月24日(月) 8:00	4月24日(月)16:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修		6	6	12	看護師		1							
4月24日(月) 15:00	4月24日(月)16:00	泌尿器科	ポリクリセミナー	ダヴィンチ	6		6	学生			1						
4月28日(金) 0:00	5月19日(金)16:00	11東	練習	Vライン①	5		5	看護師						1			
4月28日(金) 19:00	4月28日(金)21:00	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター① エコー	5		5	医師			1						
				CV穿刺シミュレーター① エコー									1				
5月5日(金) 13:00	5月5日(金)16:00	血液内科	練習		3		3	医師					1				
				エコー													
5月8日(月) 0:00	5月12日(金)17:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修		10		10	看護師	1								
5月9日(火) 15:00	5月9日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5	学生						1			
5月11日(木) 12:00	5月11日(木)16:30	和医大助産学専攻科	講義、演習	プロンプト	12		12	学生			1		1				
5月12日(金) 14:00	5月12日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5		5	学生					1				
				レサシアンSimPad 3体 CV 4セット 挿管セット 4セット エアウェイトレーニングシステム 2個 DAMシミュレーター													
5月13日(土) 7:00	5月13日(土)20:00	麻酔科	講演		50		50	医師	1								
				CV穿刺シミュレーター① エコー								1					
5月15日(月) 10:00	5月15日(月)13:00	循環器内科	練習		3		3	医師				1					
5月15日(月) 15:00	5月15日(月)16:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5	学生					1				
5月16日(火) 15:00	5月16日(火)17:00	産科婦人科	練習	プロンプト	5		5	医師			1						
5月17日(水) 13:00	5月17日(水)17:00	医学部6年生	エコー大会に向けての練習	エコー	8	1	9	学生	1								
5月17日(水) 12:00	5月24日(水)16:00	9西	練習	Vライン①	5		5	看護師						1			
5月17日(水) 15:00	5月30日(火)16:00	法医学教室	講義	ホワイトボード	10		10	学生								1	
5月18日(木) 13:00	5月18日(木)17:30	助産学専攻科	授業	縫合セット	11		11	学生			1						
5月19日(金) 8:00	5月19日(金)15:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修		6		6	看護師	1								
				マット 2枚 リトルアンwithQCPR 2体 AED 2個 BVM（成人用）2個 心マインジゲーターの見方 3枚													
5月19日(金) 16:00	5月19日(金)19:30	看護部	練習		8		8	看護師	1								

5月20日(土) 7:00	5月21日(日)19:00	南和歌山医療センター	練習	レサシアン 3体 モニター用PC 3台 除細動器 レサシアンQ CPR 2体 AED 2台 マット 2枚 支柱台 BVM (成人用) 2個 スクリーン プロジェクター テレビモニター HDMIケーブル ホワイトボード 3枚	30	30	医師	1
5月22日(月) 8:00	5月26日(金)18:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修		8	8	看護師	1
5月22日(月) 11:00	5月23日(火)15:00	7東	練習	女性導尿・洗腸シミュレーター	3	3	看護師	1
5月23日(火) 15:00	5月23日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5	学生	1
5月26日(金) 14:00	5月26日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生	1
5月27日(土) 9:00	5月27日(土)20:00	麻酔科	初期研修医セミナー	挿管セット 4個 CV穿刺シミュレーター 4セット PICC穿刺シミュレーター 3セット	20	30	50 医師	1
5月27日(土) 7:00	5月27日(土)20:00	麻酔科	研修	エアウェイ 2個 DAM レサシアンSimPad 3体 挿管セット 8個 PICC穿刺シミュレーター 3セット CV穿刺シミュレーター 4セット 模擬血液 針 CV用パッド	50	50	医師	1
5月29日(月) 14:00	5月29日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ 吸引シミュレーター-Oちゃん 2体 吸引モデルII型 気管カニューレ 吸引器 2台 上腕筋肉シミュレーター 針捨て容器 2個	6	6	学生	1
5月29日(月) 15:00	5月29日(月)19:00	看護部	練習	シンジョー 縫合セット Vライン①	10	10	看護師	1
5月29日(月) 9:00	6月12日(月)17:00	新宮市国民健康保険 直営熊野川診療所	児童向けの医療体験	吸引シミュレーター-Oちゃん 2体 吸引モデルII型 気管カニューレ 吸引器 2台 上腕筋肉シミュレーター 針捨て容器 2個 導尿・洗腸シミュレーター	2	50	52 医師	1
5月29日(月) 12:00	6月12日(月)16:00	8東	練習	マイクセット スクリーン Vライン①	5	5	看護師	1
5月30日(火) 15:00	5月30日(火)19:00	看護部	練習	ナーシングアシシミュレーター 4体 ストレッチャー 4台 男性導尿・洗腸シミュレーター 2台 吸引シミュレーター-Qちゃん 2台 吸引モデルII型 気管カニューレ 吸引器 2台 レサシアンwithQ CPR レサシアンSimPad BVM AED	10	10	看護師	1
5月31日(水) 12:00	5月31日(水)18:00	助産学専攻科	講義		10	10	学生	1
5月31日(水) 14:00	6月9日(金)16:00	6東	練習		5	5	看護師	1
6月1日(木) 15:30	6月2日(金)19:00	看護部	練習		10	10	看護師	1
6月5日(月) 11:00	6月16日(金)16:30	救急科	学生BLS大会の練習		5	5	学生	1

6月5日(月) 15:00	6月23日(金)16:30	CCU	練習	レサシアンSimPad タブレット 挿管セット AED 吸引シミュレーター 聴診器 8本 血圧計 3個 BVM 2個 人工呼吸器 実習ユニット 酸素流量計 ベッドサイドモニター 救急カート ベッド 2台	10	10	看護師	1
6月5日(月) 9:00	6月5日(月)17:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修	吸引シミュレーター 聴診器 8本 血圧計 3個 BVM 2個 人工呼吸器 実習ユニット 酸素流量計 ベッドサイドモニター 救急カート ベッド 2台	4	8	12 看護師	1
6月8日(木) 8:00	6月8日(木)18:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修	吸引シミュレーター 聴診器 8本 血圧計 3個 BVM 2個 人工呼吸器 実習ユニット 酸素流量計 ベッドサイドモニター 救急カート ベッド 2台	4	8	12 看護師	1
6月9日(金) 13:00	6月9日(金)14:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6	6	学生	1
6月9日(金) 14:00	6月9日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生	1
6月10日(土) 7:00	6月10日(土)19:00	和医大JMECC	JMECC講習会	リトルアンwithQCPR 6体 BVM 12個 救急カート 2台 レサシアンSimPad 2台 除細動器 2台 AED 2台 気道管理トレーナー 2台 長テーブル 4台 キャスター付き丸椅子 24個 ホワイトボード 4枚 プロジェクター 2台 スクリーン 2台 点滴用支柱台 2本 点滴棒 2本 マット6枚 ワゴン 2台 聴診器 2個 挿管セット(成人) 2セット ストップウォッチ 2個 メトロノーム 2個	16	8	24 医師、看護師	1
6月11日(日) 8:00	6月11日(日)18:00	救急科	PEMEC	ホワイトボード	18	18	36 医師	1
6月12日(月) 9:00	6月26日(月)16:00	5西	練習	CV穿刺シミュレーター①	5	0	5 看護師	1
6月13日(火) 9:00	6月14日(水)16:30	救急科	医学部5年生BLS大会練習	レサシアンSimPad	10	10	学生	1
6月14日(水) 9:00	6月22日(木)16:00	6西	練習	ソフィー	5		5 看護師	1
6月15日(木) 9:00	6月26日(月)16:00	和医大保健看護学部	練習	ベビーアン 2体	5	5	看護師	1
6月16日(金) 13:00	6月16日(金)19:00	和医大助産学専攻科	NCPR講習会	新生児蘇生法人形 新生児挿管人形 レサシフロー 吸引器 PC プロジェクター	2	6	8 医師	1
6月16日(金) 11:00	6月16日(金)15:00	7東	2年目看護師の急変対応	成人挿管セット BVM	7	7	看護師	1

6月18日(日) 12:00	6月18日(日)19:00	NICU	新生児蘇生法講習会	新生児蘇生法人形 4体 新生児起動管理トレーナー 4体 新生児組成モデルアドバンス 大型・小型吸引器 各2個 レサシフロー プロジェクター スクリーン ワゴン 4個	10	10	医師	1		
6月20日(火) 9:00	6月21日(水)16:30	救急科	練習	レサシアンSimPad	10	10	医師	1		
6月20日(火) 15:00	6月20日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5	学生		1	
6月21日(水) 11:00	6月22日(木)16:30	麻酔科	練習	CV穿刺シミュレーター	5	5	医師		1	
				吸引シミュレーターOちゃん 2体 吸引モデルII型 気管カニューレ 吸引器 2台 上腕筋肉シミュレーター 針捨て容器 2個 導尿・洗腸シミュレーター 男女各1体 車いす ベッド 支柱棒						
6月21日(水) 15:30	6月21日(水)19:00	看護部	看護技術研修		8	8	看護師	1		
6月22日(木) 9:00	6月25日(日)17:00	救急科	練習	レサシアンSimPad	10	10	医師	1		
6月22日(木) 10:00	7月10日(月)16:30	6東	練習	ハートンム Vライン①	5	5	看護師		1	
6月22日(木) 12:30	6月22日(木)18:00	和医大助産学専攻科	講義、演習	新生児蘇生アドバンス レサシフロー 大型吸引器 プロジェクター スクリーン	13	13	看護師		1	1
6月23日(金) 14:00	6月23日(金)15:00	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生		1	
6月24日(土) 7:00	6月24日(土)20:00	麻酔科	講義、演習	エアウェイ 2個 DAM レサシアンSimPad 3体 挿管セット 8個 ハートンム レサシアンシミュレーター 3体 除細動器 2個 レサシアンQ CPR 6体 AED 6個 マット 6枚 支柱台 2台 BVM (成人用) 4個 スクリーン プロジェクター テレビモニター 2台 HDMIケーブル 2本 ホワイトボード 6枚	50	50	医師	1		
6月25日(日) 8:00	6月25日(日)18:00	救急集中医療講座	ACLS研修		12	12	24	医師	1	
6月26日(月) 9:00	6月26日(月)13:00	消化器内科	講義研修	内視鏡シミュレーター	10	10	学生		1	
6月26日(月) 14:00	6月26日(月)15:00	泌尿器科	練習	ダヴィンチ	5	5	学生		1	
6月26日(月) 13:00	6月26日(月)16:30	医学部6年生	練習		3	3	学生		1	
6月27日(火) 15:30	6月27日(火)19:00	看護部	研修	車椅子 支柱台 2本 ベッド 導尿・洗腸シミュレーター 男女各2体	7	7	看護師		1	
6月28日(水) 13:00	6月28日(水)16:30	医学部6年生	練習		3	3	学生		1	
6月29日(木) 9:00	6月29日(木)13:00	和医大助産学専攻科	研修		5	5	学生		1	
6月30日(金) 13:00	6月30日(金)16:30	医学部6年生	練習		3	3	学生		1	

6月30日(金) 9:00	7月3日(月)16:00	10西	研修	レサシアンSimPad 2体 レッツノート 2台 リトルアンQCPR 6体 除細動器 AED 6個 BVM 6個 気道管理トレーナー	20	20	看護師	1
7月1日(土) 9:00	7月1日(土)15:00	循環器内科	練習	プロジェクター スクリーン 診察台 3台	5	5	医師	1
7月2日(日) 13:00	7月2日(日)16:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シミュレーター	3	3	医師	1
7月3日(月) 15:00	7月3日(月)16:00	卒後臨床研修センター	練習	エコー	2	2	医師	1
7月3日(月) 13:00	7月6日(木)16:30	医学部6年生	練習	イチロー ラング	6	6	学生	1
7月4日(火) 15:00	7月4日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5	学生	1
7月4日(火) 15:00	7月4日(火)16:00	卒後臨床研修センター	練習	エコー	2	2	医師	1
7月4日(火) 13:00	7月4日(火)15:00	医学部6年生	練習	エコー	3	3	学生	1
7月7日(金) 10:00	7月7日(金)18:00	看護部	看護技術研修 フィジカルアセスメントⅡ	レサシアンSimPad ベッド 3体 床頭台 3台 中央配管酸素 2 CPS実習ユニット 大型吸引器 2台 生体情報モニター 救急カート 3台 支柱台 3台 ホワイトボード 4枚 聴診器 6本 血圧計 3 ワゴン 3台 AED 3個	30	30	看護師	1
7月7日(金) 14:00	7月7日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフイー	5	5	学生	1
7月7日(金) 19:00	7月9日(日)18:00	救急集中治療部	ACLS研修	レサシアンシミュレーター 2体 除細動器 1個 レサシアンQCPR 2体 AED 2個 マット 2枚 支柱台 2台 BVM (成人用) 2個 スクリーン プロジェクター テレビモニター HDMIケーブル ホワイトボード 3枚	8	2	10 医師	1
7月10日(月) 9:00	7月18日(火)16:30	6東	練習	レサシアンQCPR	10	10	看護師	1
7月10日(月) 10:00	7月11日(火)20:00	卒後臨床研修センター	BLS講習会		18	18	36 医師	1
7月10日(月) 16:00	8月1日(火)16:00	5西	練習	CV穿刺シミュレーター	20	20	看護師	1
7月11日(火) 20:00	7月11日(火)22:00	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター エコー	2	2		1
7月12日(水) 14:00	7月12日(水)15:30	信愛高校	学内見学	イチロー ラング 4体 SimPad シンジョー 除細動器 生体モニター 救急カート 耳の診察シミュレーター 眼底診察シミュレーター 鼻腔咽頭拭い液採取モデル	45	45	学生	1
7月12日(水) 20:00	7月12日(水)22:00	医学部6年生	エコー大会に向けての練習	エコー	3	3	学生	1
7月13日(木) 17:00	7月13日(木)19:00	卒後臨床研修センター	練習	エコー	6	6	医師	1

7月13日(木) 19:00	7月13日(木)21:00	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター エコー	2	2	医師	1
7月12日(水) 13:00	7月14日(金)16:30	医学部6年生	練習	イチロー ラング 血圧測定シミュレーター 新生児蘇生人形 4体 新生児起動管理トレーナー 4体 新生児蘇生モデルアドバンス	5	5	学生	1
7月17日(月) 12:00	7月17日(月)20:00	周産期医療センターNICU	講習会	大型・小型吸引器 各2台 レサシフロー スクリーン プロジェクター ワゴン 4個	5	15	20 医師	1
7月18日(火) 15:00	7月18日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5	学生	1
7月19日(水) 9:00	7月31日(月)16:00	CCU	練習	レサシアンSimPad 挿管セット(成人) AED	10	10	看護師	1
7月20日(木) 9:00	7月20日(木)15:00	循環器内科	練習	AED	5	5	医師	1
7月21日(金) 14:00	7月21日(金)15:00	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生	1
7月21日(日) 9:00	7月24日(水)0:00	6年生	OSCE事前練習	イチロー2、ラング2、フィジコ、鼻腔咽喉頭診察シミュレーター、目の診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、縫合セット4、身体診察セット6、診察台、血圧測定シミュレーター4、血圧計、シンジョー6 レサシアンSimPad 2体	100	100	学生	1
7月24日(月) 19:00	7月24日(月)21:00	10西	練習	AED 5個 BVM 5個 挿管セット 2個 除細動器 2台 気道管理トレーナー	5	5	看護師	1 1
7月28日(金) 18:00	7月31日(月)9:00	経理課	講習会	ホワイトボード	5	5	事務員	1
7月25日(火) 9:00	8月4日(金)16:00	12西	練習	Vライン①	3	3	看護師	1
7月24日(月) 9:00	8月4日(金)16:00	リハビリテーション科	練習	吸引モデルII型 2体	10	10	理学療法士	1
8月3日(土) 0:00	8月8日(木)0:00	6年生	OSCE事前練習再試験練習	イチロー2、ラング2、フィジコ、鼻腔咽喉頭診察シミュレーター、目の診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、縫合セット4、身体診察セット6、診察台、血圧測定シミュレーター4、血圧計、シンジョー6	10	10	学生	1
8月7日(月) 9:00	8月28日(月)16:00	7東	練習	Vライン①	5	5	看護師	1
8月8日(火) 12:00	8月16日(水)16:00	ICU	練習	Vライン①	4	4	看護師	1
8月9日(水) 10:00	8月16日(水)16:00	6西	練習	ソフィー	10	10	看護師	1
8月12日(土) 7:00	8月12日(土)19:00	救急科	医学講座	レサシアンQCPR 6体 リトルジュニア 6体 ベビーアン 6体 チョーキングチャリー 3体 BVM(成人/小児) 6個 ポケットマスク小児用 6個 AED 6個 タオル、BLS用マット 6枚 ワゴン 2台 PC 1台 プロジェクター、スクリーン 3セット HDMIケーブル、分配器、マイク	10	10	20 医師	1
8月15日(火) 10:00	8月15日(火)15:00	看護部	研修	レサシアンSimPad ナーシングアン ベッド 2台 ホワイトボード 2枚 聴診器 4 血圧計 2 ワゴン 2台	5	5	看護師	1
8月16日(水) 13:00	8月16日(水)14:30	消化器内科	練習	内視鏡	5	5	医師	1
8月16日(水) 18:00	8月16日(水)20:00	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター エコー	3	3	医師	1

8月17日(木) 9:00	8月21日(月)16:00	産科婦人科	有田川消防所での講習会	ソフィー プロンプト 新生児蘇生人形 2体	2	20	22 その他	1
8月18日(金) 9:00	9月1日(金)16:00	7西	練習	Vライン①	2		2 看護師	1
8月18日(金) 9:00	9月8日(金)16:00	9西	練習	Vライン①	3		3 看護師	1
8月18日(金) 9:00	8月21日(月)16:00	経理課	講習会	ホワイトボード 9枚	20		20 職員	1
8月21日(月) 19:00	8月21日(月)20:30	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター エコー	1		1 医師	1
8月22日(火) 9:00	9月5日(火)16:00	中央放射線部	練習	レサシアンQ CPR	5		5 看護師	1
8月22日(火) 9:00	8月31日(木)16:00	6西	練習	ソフィー	10		10 看護師	1
8月23日(水) 10:00	8月23日(水)18:00	看護部	研修事前準備	レサシアンSimPad ナースングアン ベッド 2台 ワゴン 血圧計 聴診器 ホワイトボード イチロー ラング レサシアンSimPad SimMan フィジコ ダヴィンチ 血圧測定シミュレーター II シンジョー AED BVM リトルアンQ CPR 耳の診察シミュレーター 目の診察シミュレーター 鼻腔咽喉拭い液採取モデル 縫合セット 聴診器 腹部モデル ベッド	4		4 看護師	1
8月25日(金) 9:00	8月27日(日)21:00	学生課	オープンキャンパス	レサシアンSimPad 2体 ベッド2台 床頭台2台 CPS実習ユニット 救急カート2 生体モニター 流量計2個 支柱台4本 聴診器6 大型吸引器2台 ホワイトボード5枚 血圧計2個 ワゴン2台 丸椅子/長テーブル	5	100	105 学生	1
8月28日(月) 10:00	8月18日(金)15:00	中央放射線部	練習	ソフィー	4		4 看護師	1
8月28日(月) 15:00	8月29日(火)19:00	看護部	研修	ソフィー	50		50 看護師	1
9月1日(金) 14:00	9月1日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5		5 学生	1

				リトルアンwithQCPR 6体 BVM 12個 救急カート 2台 レサシアンSimPad 2台 除細動器 2台 AED 6個 気道管理トレーナー 2台 長テーブル 4台 キャスター付き丸椅子 24個 ホワイトボード 4枚 プロジェクター 2台 スクリーン 2台 点滴用支柱台 2本 点滴棒 2本 マット6枚 ワゴン 2台 聴診器 2個 挿管セット（成人） 2セット ストップウォッチ 2個 メトロノーム 2個					
9月2日(土) 7:00	9月2日(土)19:00	和医大JMECC	講習会		20	20	医師	1	
9月4日(月) 9:00	9月15日(金)16:00	11東	練習	Vライン① スクリーン プロジェクター マイク 長テーブル/椅子 必要数 新生児蘇生人形 4体 新生児気道管理トレーナー 4体 新生児蘇生モデルアドバンス 大型・小型吸引器 各2台	3	3	看護師	1	
9月7日(木) 13:00	9月7日(木)18:00	教育開発研究センター	記者会見		5	10	15	その他	1
9月10日(日) 12:00	9月10日(日)19:00	NICU	新生児蘇生法講習会		10	15	25	医師	1
9月11日(月) 9:00	9月22日(金)16:00	CCU	練習	Vライン①	2	2	看護師	1	
9月11日(月) 9:00	9月15日(金)15:00	看護キャリア開発センター	研修		15	15	看護師	1	
9月15日(金) 14:00	9月15日(金)16:00	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生	1	
9月15日(金) 14:00	9月15日(金)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6	6	学生	1	
9月16日(土) 7:00	9月17日(日)18:00	救急科	救急集中治療医学講座	レサシアンSimPad 3体 レサシアンQCPR 2体 除細動器 AED 2台 BLSマット 2枚 PC 3台 支柱台 BVM（成人用） 2個 スクリーン プロジェクター テレビモニター HDMIケーブル ホワイトボード	20	20	医師	1	
9月19日(火) 8:00	9月19日(火)19:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修		15	15	看護師	1	
9月21日(木) 15:00	9月21日(木)16:00	教育研究開発センター	SPの会	机、椅子、スクリーン、プロジェクター	5	15	20	職員	1
9月20日(水) 11:00	9月27日(水)16:00	11西病棟	練習	Vライン①	5	5	看護師	1	
9月20日(水) 17:00	9月20日(水)20:00	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター エコー	2	2	医師	1	
9月21日(木) 17:30	9月22日(金)21:00	卒後臨床研修センター	練習	エコー	6	6	医師	1	
9月20日(水) 9:00	9月21日(木)21:00	救急科	出張授業	リトルアンQCPR 21体 AED 21個	30	30	その他	1	

9月23日(土) 12:00	9月23日(土)19:00	NICU	講習会	新生児蘇生人形 4体	5	15	20 医師	1	
				新生児気道管理トレーナー 4体					
				新生児蘇生モデルアドバンス					
				大型吸引器 2台					
				小型吸引器 2台					
				レサシフロー					
				ワゴン4台					
				スクリーン・プロジェクター					
				スクリーン 3					
				プロジェクター 3台					
				マイク					
				ナーシングアン 2体					
9月25日(月) 10:00	9月29日(金)13:00	看護部	研修	レサシアンSimPad 3体	60		60 看護師	1	
				ストレッチャー 2台					
				ベッド 3台					
				ワゴン 5個					
				血圧計 5個					
				ホワイトボード 5枚					
9月26日(火) 13:00	9月29日(金)19:00	看護部	研修		60		60 看護師	1	
9月26日(火) 15:00	9月26日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5 学生		1
				床頭台					
				CPS実習ユニット					
				生体モニター					
				救急カート	6		6 看護師	1	
				支柱台					
				ホワイドボード					
				聴診器					
				BLS用マット 6枚	12		12 看護師	1	
				リトルアンQCPR 6体					
				BVM 6個					
				AED 6個					
9月29日(金) 14:00	9月29日(金)15:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5		5 学生		1
9月29日(金) 16:00	10月10日(火)16:00	6西病棟	練習	ソフィー	10		10 看護師		1
				リトルアンQCPR 11体					
				リトルジュニア 11体					
				ベビーアン 11体					
				BVM (成人/小児) 11個					
				AED 11個					
				BLS用マット 11枚	70		70 看護師	1	
				スクリーン					
				プロジェクター					
				マイク・スピーカー					
				HDMIケーブル・分配器					
				ホワイドボード					
10月2日(月) 9:00	10月3日(火)18:00	看護部	研修		20		20 看護師	1	
10月2日(月) 9:00	10月16日(月)16:00	HCU	練習	Vライン①	4		4 看護師		1
10月3日(火) 9:00	10月10日(火)16:00	11東病棟	練習	Vライン①	2		2 看護師		1
10月3日(火) 15:00	10月3日(火)16:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5 学生	1	
				エコー	3		3 医師		1
				内視鏡トレーニングシミュレーター					
				気道管理トレーナー					
				エアウェイトレーニングシステム	5		5 医師	1	
				挿管セット 2個					
				マックグラス					
				イチロー	5		5 学生		1
10月10日(火) 15:00	10月10日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ						
10月10日(火) 18:00	10月10日(火)20:00	卒後臨床研修センター	練習	エコー	3		3 医師	1	

				レサシアンQ CPR 6体 AED 6個 マット 6枚 マイク・スピーカー プロジェクター スクリーン				
10月12日(木) 14:00	10月12日(木)17:00	総務課	BLS研修		20	20 職員	1	
10月12日(木) 9:00	10月24日(火)16:00	12西病棟	練習	リトルアンQ CPR AED BLS用マット ソフィー	15	15 看護師	1	
10月13日(金) 14:00	10月13日(金)15:30	産婦人科	ポリクリ		5	5 学生	1	
10月13日(金) 15:00	10月13日(金)17:00	看護部	研修	車椅子 6台	20	20 看護師	1	
10月13日(金) 17:00	10月13日(金)21:00	循環器内科	研修		5	5 医師	1	
10月15日(日) 7:00	10月15日(日)19:00	PEMEC	研修	ホワイトボード	5	5 医師	1	
10月16日(月) 13:00	10月16日(月)14:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5	5 学生	1	
10月16日(月) 17:00	10月16日(月)19:00	教育研究開発センター	説明会	マイク・スピーカーセット スクリーン プロジェクター	15	15 医師	1	
10月17日(火) 15:00	10月17日(火)17:00	看護部	研修	車椅子6台 SimMan ベッド 床頭台 CPS実習ユニット 救急カート 人工呼吸器 生体モニター 支柱台 2本 輸液ポンプ BVM成人用 尿器 聴診器 3本 ホワイトボード 3台 ワゴン 3台 机、椅子	20	20 看護師	1	
10月17日(火) 17:00	10月17日(火)19:30	看護部	研修		10	10 看護師	1	
10月19日(木) 10:00	10月26日(木)16:00	11階西病棟	練習	Vライン①	3	3 看護師	1	
10月21日(月) 9:00	10月21日(月)17:00	紀要祭委員会	手洗い体験	グリッターバグ3	4	30 その他	1	
10月23日(月) 9:00	10月30日(月)16:00	12階西病棟	練習	Vライン①	3	3 看護師	1	
10月23日(水) 0:00	11月2日(土)0:00	4年生	臨床実習入門	耳の診察シミュレータ4、眼底診察シミュレータ4、男性導尿シミュレータ4、乳房検診モデル4、婦人科診察シミュレータ4、ラング4、イチロー2、フィジコ3、前立腺触診モデル4、直腸診シミュレータ4、レサシアン24、BVM24、AED24、ポケットマスク24、鼻腔咽頭拭い液採取モデル5、頸部リンパ節・甲状腺触診モデル5、腹部アセスメントモデル5、血圧測定シミュレータ10、シンジョー6	90	90 学生	1	
10月27日(金) 14:00	10月27日(金)15:30	産科婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5 学生	1	
10月30日(月) 9:00	11月13日(月)16:00	10階西病棟	練習	Vライン①	3	3 看護師	1	
11月6日(水) 0:00	11月6日(水)0:00	4年生	OSCE事前練習	耳の診察シミュレータ4、眼底診察シミュレータ4、男性導尿シミュレータ4、乳房検診モデル4、婦人科診察シミュレータ4、ラング4、イチロー2、フィジコ3、前立腺触診モデル4、直腸診シミュレータ4、レサシアン24、BVM24、AED24、ポケットマスク24、鼻腔咽頭拭い液採取モデル5、頸部リンパ節・甲状腺触診モデル5、腹部アセスメントモデル5、血圧測定シミュレータ10、シンジョー6	90	90 学生	1	
11月7日(火) 9:00	11月7日(火)16:00	8階東病棟	練習	リトルアン AED	5	5 看護師	1	
11月7日(火) 15:00	11月7日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー SimPad	5	5 学生	1	
11月7日(火) 10:00	11月24日(金)10:00	救急科	学生BLS大会の練習	レサシアンQ CPR リトルジュニア AED SimMan ベッド	4	4 学生	1	
11月8日(水) 9:00	11月8日(水)13:00	看護部	CEとの打ち合わせ		5	5 職員	1	
11月7日(火) 14:00	11月13日(月)16:00	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5 学生	1	

11月14日(火) 18:00	11月16日(木)20:00	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター エコー	3		3 医師	1
11月14日(木) 13:00	11月14日(木)15:00	分野別評価、評価者	分野別評価	耳の診察シミュレータ4、眼底診察シミュレータ4、ラング4、イチロー2、フィジコ3、レサシアン24、BVM24、AED24、鼻腔咽頭拭い液採取モデル5、頸部リンパ節・甲状腺触診モデル5、腹部アセスメントモデル5、血圧測定シミュレータ10、シンジョー6	2	5	7 医師	1
11月16日(木) 14:00	11月20日(月)14:00	那智勝浦町立温泉病院	ICLS研修	SimPad リトルアンQCPR 4体 気道管理トレーナー BVM 6個 AED 6個 BLSマット 6枚 除細動器 挿管セット ストップウォッチ メトロノーム レサシアンSimPad 3体 レサシアンQCPR 2体 除細動器 AED 2台 BLSマット 2枚 PC 3台 支柱台 BVM（成人用） 2個 スクリーン プロジェクター テレビモニター HDMIケーブル ホワイトボード		50	50 その他	1
11月17日(金) 17:00	11月19日(日)19:00	救急科	救急集中治療医学講座	SimMan ベッド 床頭台 CPS実習ユニット 救急カート 生体モニター 支柱台 2本 輸液ポンプ シリンジポンプ ホワイトボード 3台 ワゴン 2台 針捨て容器 AED 4個 イチロー	30		30 医師	1
11月20日(月) 7:00	11月20日(月)18:00	看護部	研修	レサシアンSimPad 除細動器 生体モニター	10		10 看護師	1
11月21日(火) 15:00	11月21日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	ソフィー	5		5 学生	1
11月21日(火) 8:00	11月22日(水)18:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修	動脈穿刺シミュレーター 2台	8		8 看護師	1
11月24日(日) 14:00	11月24日(日)15:00	産婦人科	ポリクリ	レサシアンSimpad 除細動器 生体モニター	5		5 学生	1
11月30日(土) 0:00	12月1日(日)0:00	救急外来	練習	レサシアンSimPad	10		10 看護師	1
11月30日(土) 0:00	12月1日(日)0:00	中央放射線部	練習	レサシアンSimPad レサシアンQCPR 9体 リトルジュニア 7体 ベビーアン 9体 BVM 9個 BVM（小児用） 9個 AED 10台 ポケットマスク（成人/小児） 各9個 メトロノーム マイク/スピーカー プロジェクター スクリーン マット 9枚	10		10 看護師	1
12月1日(日) 0:00	12月3日(火)0:00	医療安全推進部/麻酔科	AHA-BLS研修		4	20	24 医師、看護師	1

12月5日(木) 0:00	12月5日(木)0:00	救急科	研修	リトルアン BVM AED 各12個	10	10	看護師	1
12月6日(金) 13:30	12月6日(金)15:00	救急科	練習	縫合セット 15セット 手袋 針捨てBOX	8	8	医師	1
12月6日(金) 15:00	12月6日(金)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5	学生	1
12月6日(金) 13:00	12月6日(金)17:00	地域医療	医療機器の体験	診察台3台 SimMan ベッド 床頭台 CPS実習ユニット 救急カート 人工呼吸器 生体モニター 支柱台 2本 輸液ポンプ BVM成人用 聴診器 3本 針捨てBOX ホワイトボード 3台 ワゴン 3台 机、椅子 ナースिंगアン レサシアンSimPad ベッド 聴診器 2本 ペンライト 2本 血圧計 2個 トレイ ワゴン ホワイトボード 机 救急カート 支柱台 心電図モニター スクリーン	20	20	医師	1
12月7日(土) 16:00	12月7日(土)19:30	看護部	研修		10	10	看護師	1
12月8日(日) 0:00	12月8日(日)0:00	看護キャリア開発センター	研修		8	8	看護師	1
12月8日(日) 14:00	12月8日(日)15:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生	1
12月11日(水) 13:00	12月11日(水)14:00	救急科	練習	動脈穿刺シミュレーター 2台	8	8	医師	1
12月11日(水) 14:00	12月11日(水)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5	5	学生	1
12月12日(木) 0:00	12月12日(木)0:00	救急科	練習	リトルアン BVM AED 各12セット レサシアンSimPad	10	10	医師、看護師	1
12月13日(金) 12:00	12月20日(金)0:00	6階東病棟	練習	救急カート AED 生体モニター	10	10	看護師	1
12月14日(土) 15:00	12月14日(土)16:00	教育研究開発センター	SPの会	机、椅子、スクリーン、プロジェクター	5	15	20 その他	1
12月14日(土) 9:00	12月19日(木)0:00	10階東病棟	練習	Vライン①	3	3	看護師	1
12月15日(日) 0:00	12月17日(火)0:00	救急科	研修	ベビーアン 4体 シンジョー	2	10	12 医師、看護師	1
12月15日(日) 9:00	12月22日(日)15:00	国保北山村診療所	児童への医療体験会	縫合セット 2セット シリンジ(10ml) 20個	20	20	その他	1
12月20日(金) 9:00	12月20日(金)11:30	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡トレーニングシミュレーター	2	2	医師	1

				SimMan ベッド 床頭台 CPS実習ユニット 救急カート 人工呼吸器 生体モニター 支柱台 輸液ポンプ BVM 聴診器 輸液ポンプ ホワイトボード 机、椅子 ワゴン 針捨てBOX			
12月21日(土) 15:00	12月21日(土)19:00	看護部	研修		5	5 看護師	1
12月21日(土) 16:00	1月4日(木)16:00	NICU	練習	Vライン① SimMan ベッド 床頭台 CPS実習ユニット 救急カート 人工呼吸器 生体モニター 支柱台 輸液ポンプ BVM 聴診器 輸液ポンプ ホワイトボード 机、椅子 ワゴン 針捨てBOX	7	7 看護師	1
12月22日(日) 15:00	12月22日(日)19:30	看護部	研修		5	5 看護師	1
12月22日(日) 16:00	1月11日(木)10:00	6階西病棟	練習	ソフィー レサシアンQCPR 6体 AED 6個 マット 6枚 マイク・スピーカー プロジェクター スクリーン	3	3 看護師	1
12月25日(水) 15:00	12月25日(水)17:00	総務課	BLS研修	SimMan ベッド 床頭台 CPS実習ユニット 救急カート 人工呼吸器 生体モニター 支柱台 輸液ポンプ BVM 聴診器 ホワイトボード 机、椅子 ワゴン 針捨てBOX	15	15 職員	1
12月28日(土) 16:00	12月28日(土)19:30	看護部	研修		10	10 看護師	1
1月9日(火) 9:00	1月15日(月)16:30	5東病棟	練習	Vライン①	3	3 看護師	1
1月9日(火) 9:00	1月31日(水)0:00	8東病棟	練習	エアウェイトレーニングシステム 揮管セット	15	15 看護師	1
1月9日(火) 9:00	1月24日(水)16:30	5西病棟	練習	Vライン②	5	5 看護師	1
1月9日(火) 15:00	1月9日(火)17:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5 学生	1
1月12日(金) 14:00	1月12日(金)15:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5 学生	1
1月12日(金) 13:00	1月12日(金)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5	5 学生	1

1月13日(土) 7:00	1月14日(日)0:00	救急科	救急集中治療医学講座	レサシアンSimPad 3体 レサシアンQCPR 2体 除細動器 AED 2台 BLSマット 2枚 PC 3台 支柱台 BVM (成人用) 2個 スクリーン プロジェクター テレビモニター HDMIケーブル ホワイトボード	30	30 医師	1
1月12日(金) 15:00	1月13日(土)19:00	医療安全推進部/麻酔科	心肺蘇生講習会	レサシアンQCPR 9体 リトルジュニア 7体 ベビーアン 9体 BVM 9個 BVM (小児用) 9個 AED 10台 ポケットマスク (成人/小児) 各9個 メトロノーム マイク/スピーカー プロジェクター スクリーン マット 9枚	30	30 医師	1
1月15日(月) 9:00	1月19日(金)16:30	NICU	練習	Vライン①	3	3 看護師	1
1月15日(月) 13:00	1月15日(月)14:00	救急科	練習	気道管理トレーナー2 BVM 2 挿管セット 2個 マックグラス Qちゃん ベッド ルンパール ワゴン	10	10 学生、医師	1
1月15日(月) 13:00	1月15日(月)14:00	看護キャリア開発センター	研修	SimPad 救急カート 生体モニター	5	5 看護師	1
1月15日(月) 9:00	1月22日(月)16:30	6東病棟	練習	Vライン	10	10 看護師	1
1月15日(月) 9:00	1月31日(水)16:30	7西病棟	練習	Vライン	3	3 看護師	1
1月16日(火) 9:00	1月23日(火)16:30	12西病棟	練習	Vライン	5	5 看護師	1
1月16日(火) 9:00	1月18日(木)17:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修	スクリーン プロジェクター ホワイトボード5 ベッド シミュレーター2 床頭台2 点滴支柱台2	15	15 看護師	1
1月23日(火) 9:00	1月30日(火)17:00	看護キャリア開発センター	特定行為研修/OSCE試験	スクリーン プロジェクター ホワイトボード5 ベッド シミュレーター2 床頭台2 点滴支柱台2 イチロー2 ラング3 血圧計3 聴診器、打腿器、音叉、ペンライト、トレイ9 腹部アセスメントモデル	15	15 看護師	1
1月17日(水) 9:00	1月26日(金)16:00	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5 学生	1
1月18日(木) 15:00	1月19日(金)13:00	看護部	練習	シンジョー	4	4 看護師	1

1月20日(土) 11:00	1月20日(土)18:00	NICU	新生児蘇生講習会	新生児蘇生法人形 4体 新生児起動管理トレーナー 4体 新生児組成モデルアドバンス 大型・小型吸引器 各2個 レサシフロー プロジェクター スクリーン ワゴン 4個	15	1	16 医師	1
1月22日(月) 15:00	1月22日(月)20:00	看護部	研修	DAMシミュレーター 気道管理トレーナー 挿管セット2 BVM、聴診器2	10		10 看護師	1
1月22日(月) 9:00	1月23日(火)16:30	HCU	練習	SimPad、タブレット 生体モニター	10		10 看護師	1
1月22日(月) 9:00	1月29日(月)11:00	中央手術部	練習	Vライン	9		9 看護師	1
1月22日(月) 9:00	1月31日(水)16:30	8東病棟	練習	Vライン	5		5 看護師	1
1月23日(火) 15:00	1月23日(火)17:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5 学生	1
1月24日(水) 12:00	2月6日(火)12:00	ICU	練習	Vライン	4		4 看護師	1
1月26日(金) 12:00	1月26日(金)17:00	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5		5 学生	1
1月26日(金) 14:00	1月26日(金)16:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5 学生	1
1月26日(金) 17:00	1月26日(金)22:00	卒後臨床研修センター	練習	CV穿刺シミュレーター エコー Vライン、針等	2		2 医師	1
1月26日(金) 14:00	1月26日(金)16:00	循環器内科	ポリクリ準備	SimPad2 救急カート、除細動器	3		3 医師	1
1月26日(金) 9:00	1月30日(火)16:30	12西病棟	練習	リトルアンQCPR AED	15		15 看護師	1
1月26日(金) 9:00	1月28日(日)17:00	救急科	喜馬病院での研修	SimPad2 リトルアンQCPR6 除細動器 BVM、AED 6 レッツノート2		30	30 医療従事者	1
1月27日(土) 8:00	1月27日(土)18:00	救急科	救急集中治療医学講座	ホワイトボード2 リトルアンwithQCPR 6体 BVM 12個 救急カート 2台 レサシアンSimPad 2台 除細動器 2台 AED 2台 気道管理トレーナー 2台 長テーブル 4台	10	5	15 医師	1
1月28日(日) 7:00	1月28日(日)19:00	和医大JMECC	研修	キャスター付き丸椅子 24個 ホワイトボード 4枚 プロジェクター 2台 スクリーン 2台 点滴用支柱台 2本 点滴棒 2本 マット6枚 ワゴン 2台 聴診器 2個 挿管セット(成人) 2セット ストップウォッチ 2個 メトロノーム 2個	15	10	25 医師	1
1月29日(月) 14:00	1月29日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5 学生	1
1月29日(月) 15:00	1月29日(月)20:30	看護部	研修	DAMシミュレーター 気道管理トレーナー 挿管セット2 BVM、聴診器2 SimMan ベッド、床頭台、CPSユニット、救急カート 人工呼吸器、生体モニター、AED、支柱台、支柱棒 輸液ポンプ、ホワイトボード、机、椅子	10		10 看護師	1

2月1日(木) 9:00	2月6日(火)16:30	5東病棟	練習	Vライン	3		3 看護師	1
2月2日(金) 9:00	2月14日(水)16:30	5西病棟	練習	エアウェイトトレーニングシステム 排管セット レサシアン レサシアンQCPR 8体 ベビーアーン 8体 BVM 8個 BVM (小児用) 8個 AED 8台	10	10	看護師	1
2月2日(金) 15:00	2月4日(日)19:00	医療安全推進部	和歌山県保険医協会会員 対象心肺蘇生講習会	ポケットマスク (成人/小児) 各8個 メトロノーム マイク/スピーカー プロジェクター スクリーン マット 8枚	5	24	29 医師	1
2月5日(月) 9:00	2月19日(月)16:30	9東病棟	練習	Vライン	3		3 看護師	1
2月6日(火) 15:00	2月6日(火)17:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5 学生	1
2月6日(火) 16:30	2月6日(火)18:30	施設管理課	感染研修	スクリーン	10		10 職員	1
2月7日(水) 9:00	2月7日(水)10:30	循環器内科	ポリクリ	SimPad、タブレット2 救急カート、除細動器2	5		5 学生	1
2月7日(水) 10:30	2月7日(水)11:30	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5 学生	1
2月7日(水) 16:30	2月7日(水)18:30	施設管理課	感染研修	スクリーン	10		10 職員	1
2月8日(木) 9:30	2月8日(木)12:00	看護部	レールダル打ち合わせ	ナーシングアン	1	2	3 看護師	1
2月8日(木) 15:00	2月8日(木)20:00	看護部	研修	ナーシングアン、ベッド 床頭台、CPS実習ユニット、救急カート、呼吸器 生体モニター、支柱台、支柱棒、輸液ポンプ、BVM 尿器、聴診器2、ホワイトボード、机、椅子、ワゴン	5		5 看護師	1
2月9日(金) 0:00	2月11日(日)0:00	学生課	推薦入試		20		20 職員	1
2月9日(金) 14:00	2月9日(金)15:00	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5		5 学生	1
2月13日(火) 9:00	2月20日(火)16:00	8階東病棟	練習	Vライン	3		3 看護師	1
2月13日(火) 16:30	2月13日(火)18:30	施設管理課	清掃業者への研修会	スクリーン、プロジェクター	15		15 職員	1
2月14日(水) 15:00	2月14日(水)16:00	救急救命科	ポリクリ	縫合セット×8	10		10 医師、学生	1
2月14日(水) 9:00	2月28日(水)16:00	HCU	練習	Vライン	5		5 看護師	1
2月14日(水) 16:30	2月14日(水)18:30	施設管理課	清掃業者への研修会	スクリーン、プロジェクター	15		15 職員	1
2月15日(木) 15:00	2月15日(木)19:00	看護部	研修	ナーシングアン、ベッド 床頭台、CPS実習ユニット、救急カート、呼吸器 生体モニター、支柱台、支柱棒、輸液ポンプ、BVM 尿器、聴診器2、ホワイトボード、机、椅子、ワゴン SimPad×3、リトルアンQCPR×6、除細動器2 AED×6、マット6、BVM (成人) ×4、支柱台2 スクリーン、プロジェクター、テレビモニター2 HDMIケーブル2、ホワイトボード6	5		5 看護師	1
2月18日(日) 8:00	2月18日(日)18:00	救急集中治療部	ACLS研修		15	5	20 医師	1
2月19日(月) 9:00	2月19日(月)13:00	看護部	研修	さくら、支柱台	5		5 看護師	1
2月19日(月) 9:00	2月22日(木)10:00	医学部1年生	エスコート実習	車椅子6	100		100 学生	1
2月19日(月) 14:00	2月19日(月)17:00	総務課	BLS研修	レサシアンQCPR×6、AED×6、マット6 マイクスピーカー、プロジェクター、スクリーン	15		15 職員	1
2月20日(火) 15:00	2月20日(火)17:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡トレーニングシミュレーター	2		2 医師	1
2月21日(水) 9:00	2月29日(木)16:00	9階西病棟	練習	排管管理トレーナー、排管セット	10		10 看護師	1
2月21日(水) 9:00	2月21日(水)10:30	循環器内科	ポリクリ	SimPad×2、救急カート2、除細動器2	5		5 学生	1
2月21日(水) 16:30	2月21日(水)18:30	施設管理課	清掃業者への研修会	スクリーン、プロジェクター	10		10 職員	1
2月22日(木) 14:00	2月28日(水)16:00	7階東病棟	新人研修	筋肉注射シミュレーター	1		1 看護師	1
2月22日(木) 9:00	2月26日(月)16:00	8階東病棟	練習	レサシアン、AED、BVM	10		10 看護師	1
2月22日(木) 9:00	2月22日(木)21:00	学生課	一般入試準備		5		5 職員	1
2月25日(日) 7:00	2月26日(月)22:00	学生課	一般入試		15		15 職員	1
2月27日(火) 15:00	2月27日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5 学生	1
2月27日(火) 14:00	2月27日(火)15:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡トレーニングシミュレーター	1		1 医師	1
2月27日(火) 9:00	2月28日(水)16:00	危機対策室	研修	ホワイトボード7	20		20 職員	1
2月28日(水) 10:30	2月28日(水)11:30	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5 学生	1
2月28日(水) 13:00	2月28日(水)14:00	救命科	ポリクリ	胸部外傷トレーナー	10		10 医師、学生	1
2月28日(水) 9:00	3月6日(水)16:00	救急集中治療医学講座	二次救命処置研修	SimPad×2、PC×2	10	10	20 その他	1 和歌山県消防学校
2月29日(木) 16:00	2月29日(木)19:00	看護部	技術研修	DAMシミュレーター、気道管理トレーナー 排管セット2、聴診器2、BVM×2	5		5 看護師	1

3月1日(金) 15:30	3月1日(金)16:00	医学部5年生	student doctor (保護者のスキルスラボ見学)	SimPad、救急カート、除細動器、頭部シミュレーター4種 イチロー 2、ラング3、腹部アセスメントモデル リトルアン、リトルジュニア、ベビーアン、マット BVM (成人/小児)、AED、シンジョー、縫合セット 聴診器、椅子、マイクスピーカー	80	80	その他	1											
3月4日(月) 15:00	3月4日(月)16:00	救急科	ポリクリ	CV穿刺シミュレーター3、CVカテテルキット3、エコー	10	10	医師、学生	1											
3月5日(火) 15:00	3月5日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5	学生	1											
3月6日(水) 9:00	3月6日(水)10:30	循環器内科	ポリクリ	SimPad×2、救急カート2、除細動器2	8	8	医師、学生	1											
3月6日(水) 10:30	3月6日(水)11:30	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5	5	学生	1											
3月6日(水) 9:00	3月21日(木)16:00	12階西病棟	練習	Vライン	3	3	看護師		1										
3月7日(木) 16:00	3月7日(木)19:00	看護部	技術研修	DAMシミュレーター、気道管理トレーナー 挿管セット2、聴診器2、BVM×2	5	5	看護師	1											
3月8日(金) 14:00	3月8日(金)15:00	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生			1									
3月8日(金) 14:00	3月8日(金)17:00	総務課	BLS研修	レサシアンQCPR×6、AED×6、マット6 マイクスピーカー、プロジェクター、スクリーン	15	15	職員	1											
3月11日(月) 10:00	3月11日(月)15:30	看護部	フィジカルアセスメント研修	ナーシングアン、SimPad、ストレッチャー	5	5	看護師			1									
3月11日(月) 9:00	3月15日(金)16:00	9階西病棟	練習	Vライン	4	4	看護師			1									
3月11日(月) 15:00	3月11日(月)16:00	救急科	ポリクリ	動脈穿刺シミュレーター2、Vライン2、サーフロー針	10	10	医師、学生	1											
3月12日(火) 14:00	3月15日(金)14:00	看護部	看護実践報告会	マイクスピーカー	60	60	看護師			1									
3月14日(木) 14:00	3月14日(木)18:30	小児科	練習	内視鏡トレーニングシミュレーター	1	1	医師	1											
3月13日(水) 9:00	3月15日(金)16:00	中央放射線部	練習	SimPad、BVM	5	5	看護師			1									
3月16日(土) 7:00	3月17日(日)19:00	救急集中治療医学講座	ACLS研修	SimPad3、PC2、除細動器、レサシアンQCPR×2 AED×2、マット2、支柱台、BVM×2、スクリーン プロジェクター、テレビモニター、HDMIケーブル ホワイトボード	20	20	医師	1											
3月19日(火) 15:00	3月19日(火)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5	5	学生			1									
3月20日(水) 7:00	3月20日(水)13:00	地域医療支援センター	エコーセミナー	CVC穿刺シミュレーター3、CVキッド3、エコー PICC穿刺シミュレーター3、トレーニング用超音波装置3 超音波穿刺トレーニングパッド6、机、椅子、診察台 プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、衝立 サーフロー針、駆血帯3	20	20	学生	1											
3月21日(木) 15:00	3月21日(木)16:00	教育研究開発センター	SPの会	マイクスピーカー、スクリーン、プロジェクター	5	11	16	その他	1										
3月22日(金) 14:00	3月22日(金)15:00	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	5	5	学生	1											
3月22日(金) 15:00	3月22日(金)16:00	循環器内科	ポリクリ	SimPad、救急カート、除細動器	5	5	学生			1									
3月23日(土) 7:00	3月23日(土)19:00	地域医療支援センター	エコーセミナー	机、椅子、スクリーン、プロジェクター、診察台 新生児蘇生人形4、新生児気道管理トレーナー4 新生児蘇生モデルアドバンス、大型吸引器2 小型吸引器2、レサシフローワゴン4スクリーン プロジェクター	18	2	20	学生	1										
3月24日(日) 10:00	3月24日(日)18:00	周産期医療センターNICU	新生児蘇生講習会		10	3	13	医師	1										
3月27日(水) 10:30	3月27日(水)11:30	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5	5	学生	1											
合計					3124	848	3972	53	56	69	356	2	63	23	12				

職種別使用者総数	
医師	1097
看護師	1267
学生	1019
その他	589

令和 7 年 2 月 発行

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

〒641-8510

和歌山市紀三井寺 811 番地 1

電 話 : 073-441-0815

F A X : 073-441-0814

ホームページ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/develop/index.html>

e - m a i l cerd@wakayama-med.ac.jp



C E R D
Center for Educational Research and Development